

第2次横手市総合計画総括報告書

令和6年11月

秋田県横手市

I 第2次横手市総合計画の総括について

総合計画は、総合的かつ計画的に市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針であり、将来どのようなまちにしていけるのか、そのためにどのような取り組みを行っていくのかを示した市の最上位計画です。

第2次横手市総合計画は、平成28年度から令和7年度を計画期間とし、様々な施策を実施してきました。

近年の地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化のさらなる急速な進行を要因とする人口構造の変化や社会ニーズの多様化等により大きな変化が生じています。また、新型コロナウイルス感染症の流行や急速に進むデジタル技術の活用などにより、ライフスタイルやワークスタイルも大きな転換期を迎えています。

これらの状況を踏まえ、市のこれまでの取り組みや各施策の達成状況を明らかにし、第3次総合計画の策定に活用するため、計画の総括を行いました。

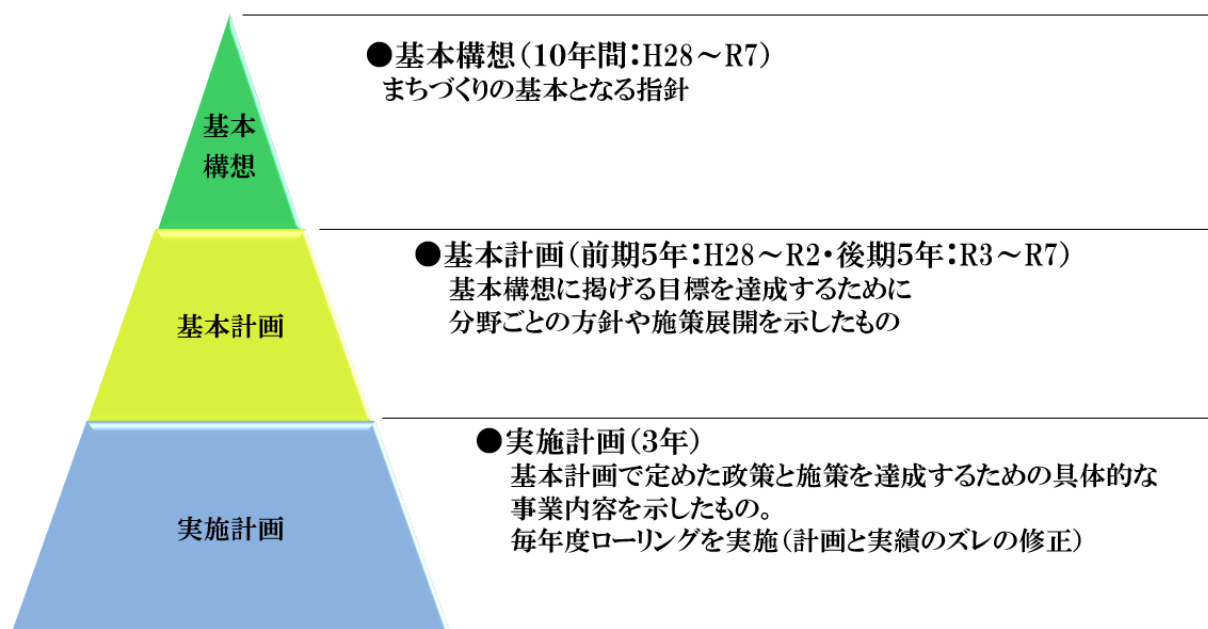
(1) 総合計画の構成と期間

第2次横手市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成しています。

第2次横手市総合計画（平成28年度～令和7年度）

【目指す将来像】

『みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら}く^{かがや}くまち よこて』



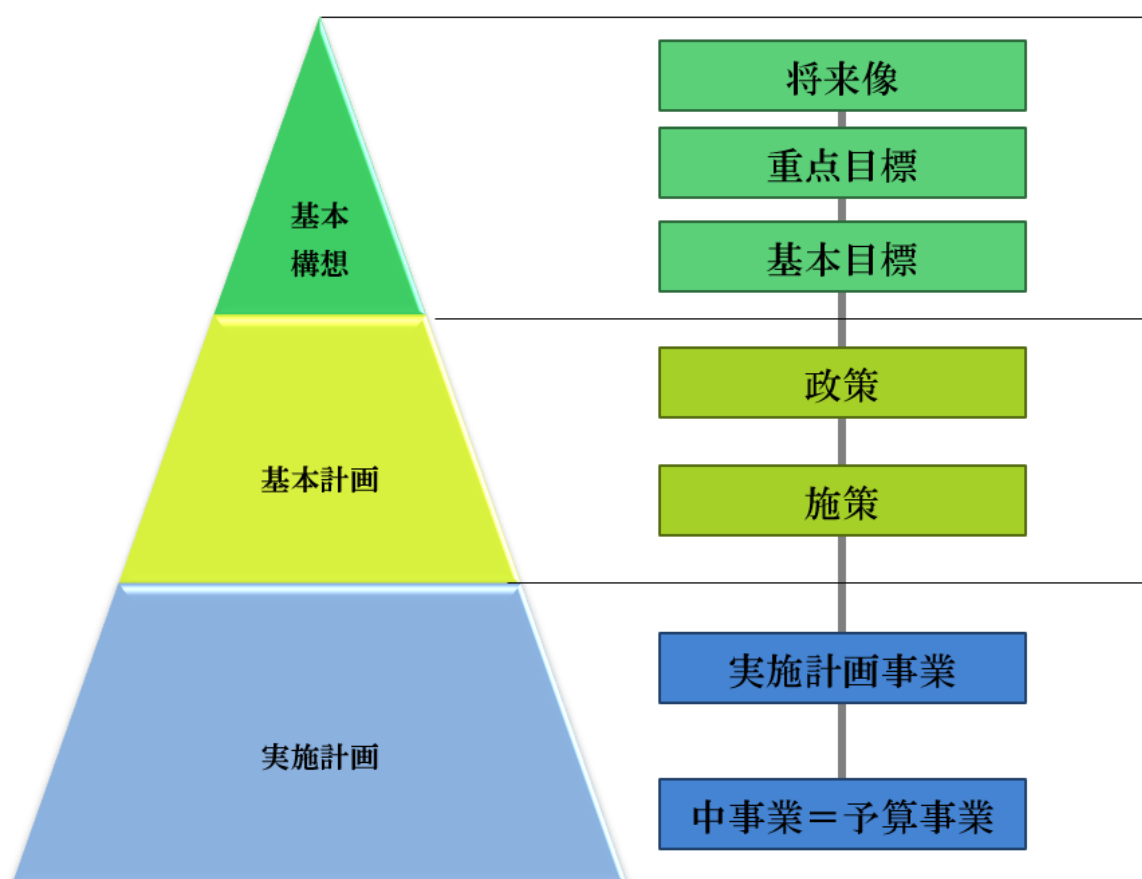
(2) 計画の体系

基本構想は大きく3つの項目で構成され、最上位に横手市が目指す「将来像」を掲げ、今後取り組むべき2つの「重点目標」、さらに7つの「基本目標」を示しているものになります。

また、基本計画は、基本構想を達成するため、取り組み分野である7つの政策、さらに政策を達成するための個別分野ごとの手段として、34の施策を示したものになります。

実施計画は、基本計画に掲げる政策と施策を達成するために、さらに具体的な手段を示したものになります。

総合計画の体系



【将来像】

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が かがや 燦くまち よこて

【重点目標】

働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち

安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔で住み続けられるまち

【基本目標】

計画実現のために

みんなの知恵を持ちよりみんなが輝くまちづくり

安全で快適な住みよいまちづくり

地域資源をいかした活力ある産業のまちづくり

美しい自然と豊かな暮らしを引き継ぐまちづくり

楽しく学び郷土愛あふれるまちづくり

みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくり

前期基本計画

政策・施策

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実 | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実 |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進 | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実 |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-4】 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備 | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見 |
| 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 | |

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進 |
| | 【施策 3-5】 エネルギーの地産地消の推進 |

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信 |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興 | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興 | |

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現 | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現 | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備 |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 | |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 | |

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

- | |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 |

後 期 基 本 計 画

政 策 ・ 施 策

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実 | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実 |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進 | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実 |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

政策2 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備 | 【施策 2-4】 <u>心を豊かにする生涯学習の推進</u> |
| | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見 |

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進 |
| | 【施策 3-5】 <u>地球温暖化対策の推進</u> |

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信 |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興 | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興 | |

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現 | 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現 | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備 |

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

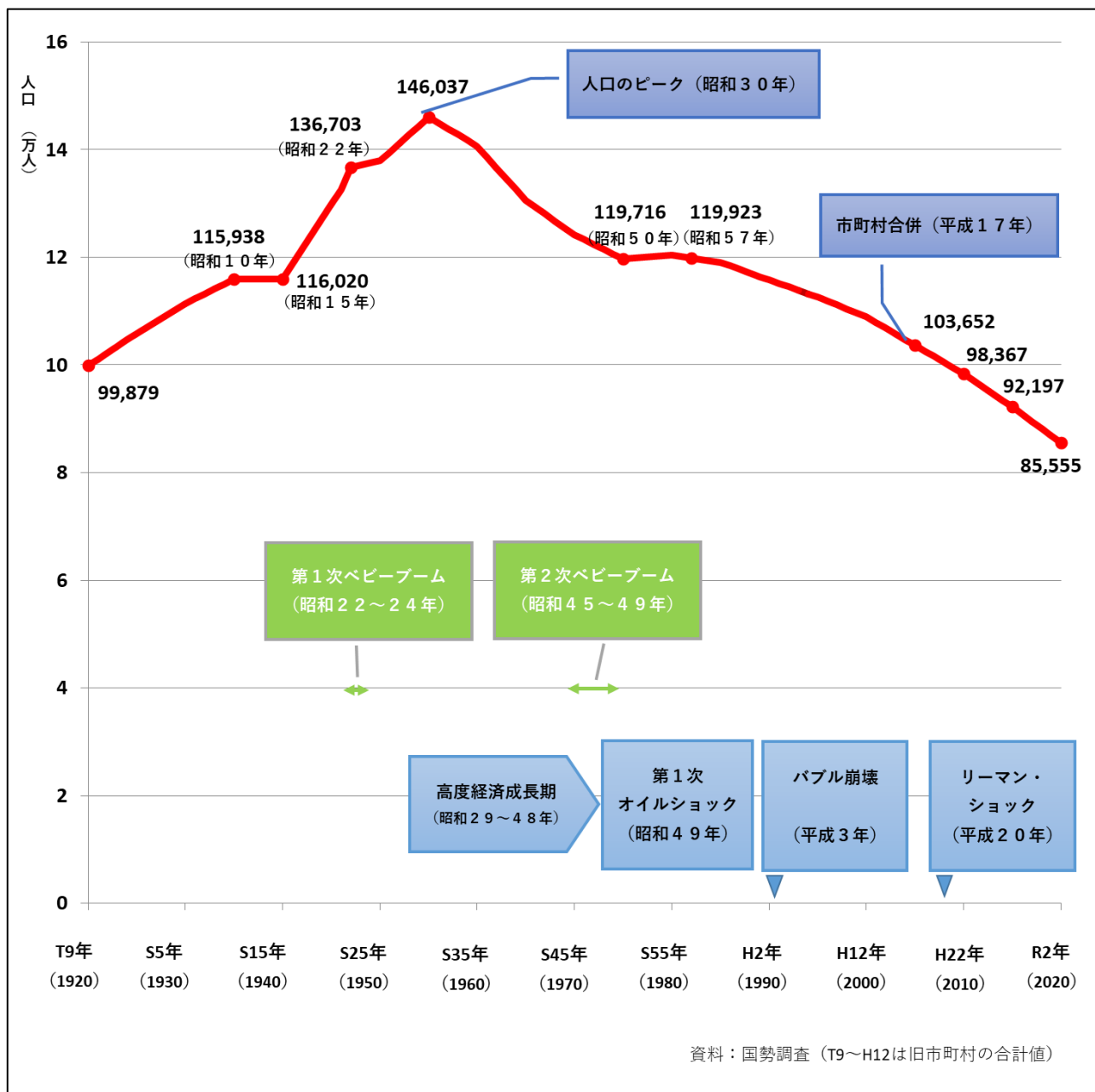
政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます+
【行政経営】

- | |
|---|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の <u>推進</u> |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 |

Ⅱ 横手市の現状

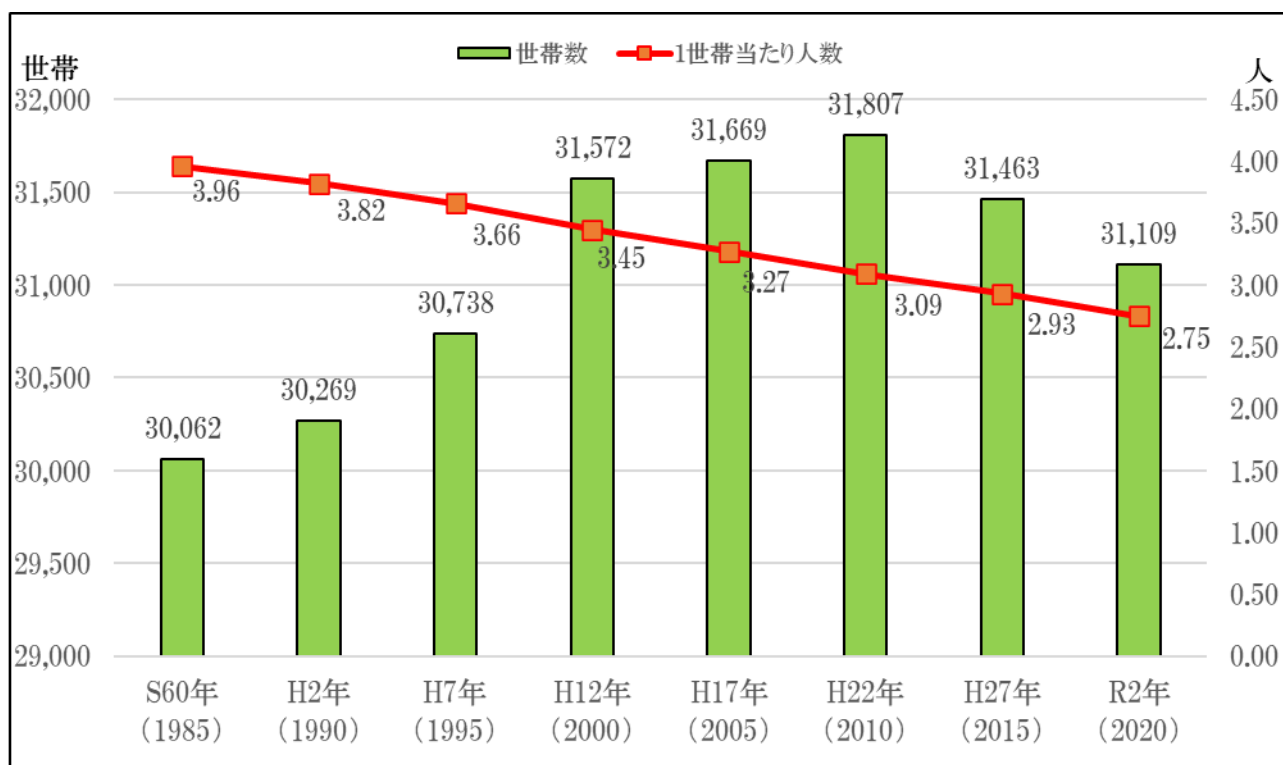
(1) 人口の推移

横手市の人口は、国勢調査の結果によると昭和30年の約14万6千人をピークに減少傾向となっており、令和2年には約8万5千人となっています。



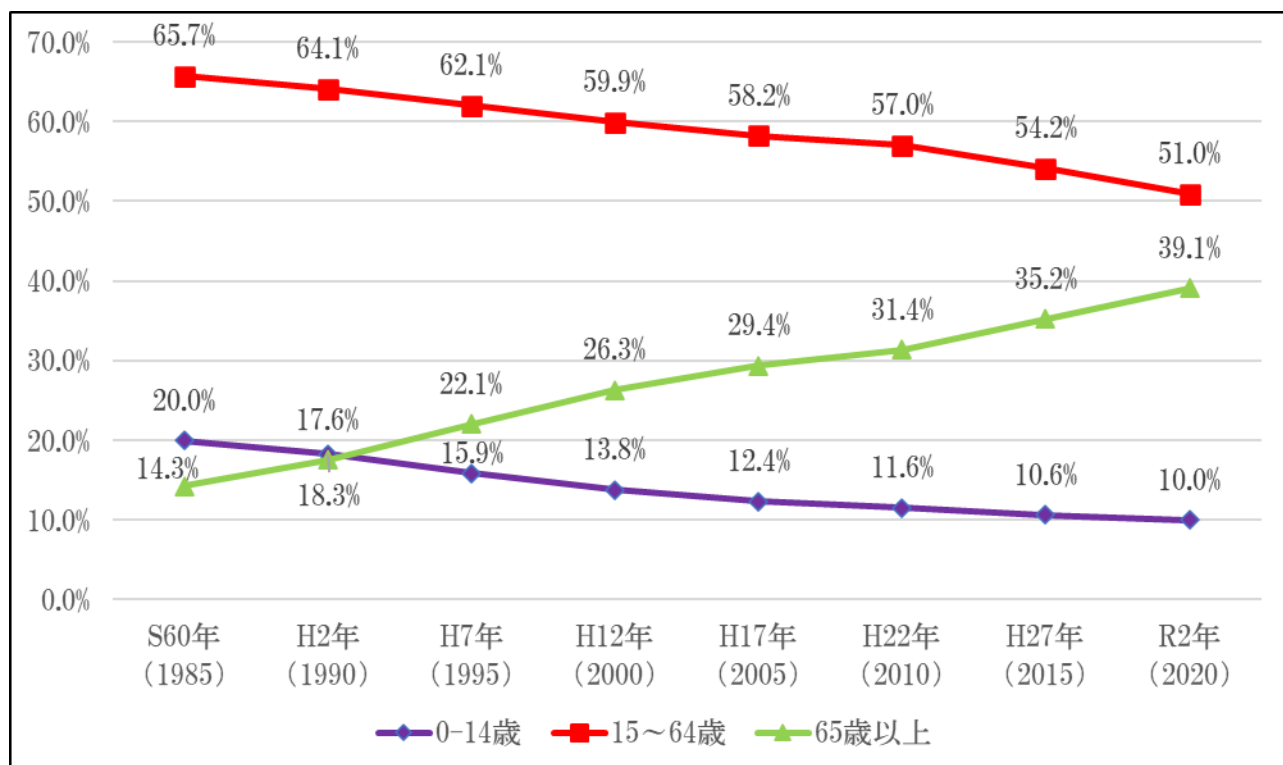
(2) 世帯数・世帯員数人口の推移

世帯数は平成22年まで増加傾向にありましたが、その後は減少に転じています。1世帯当たりの人口も減少しており、世帯の小規模化が進んでいます。



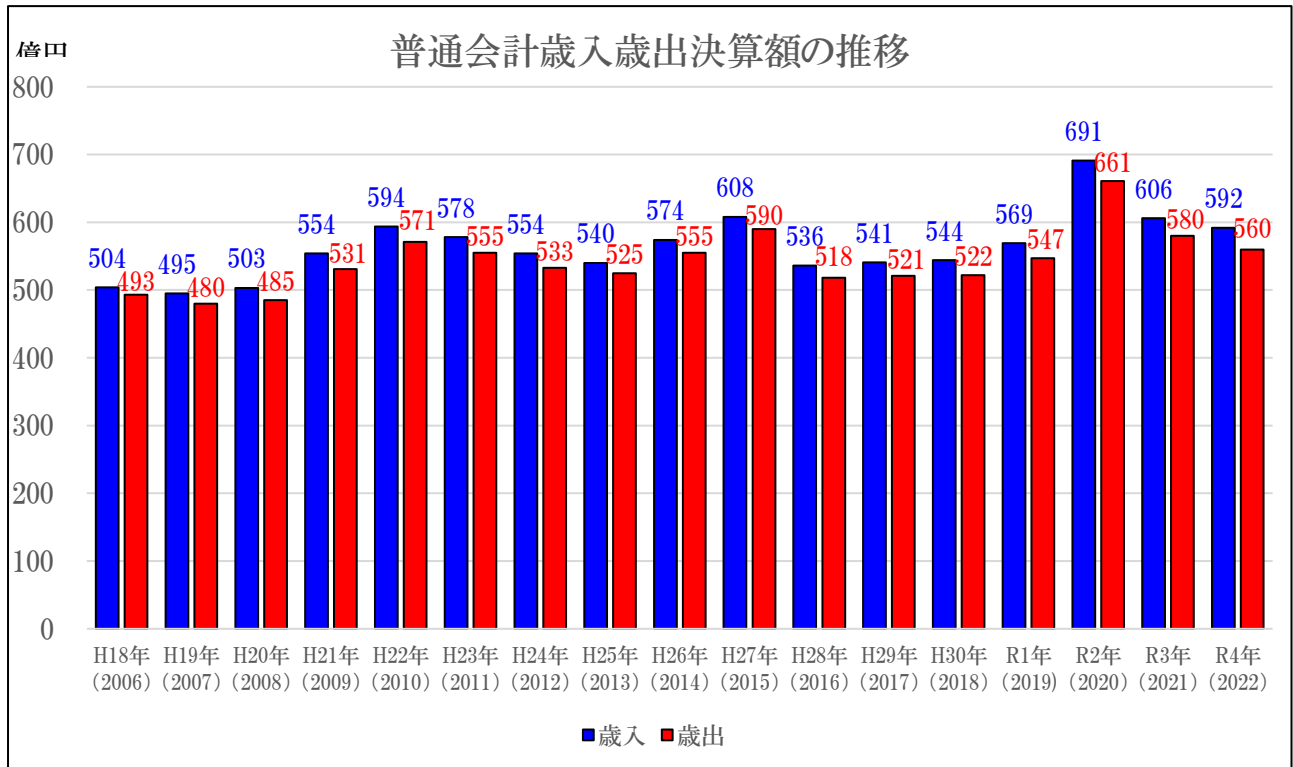
(3) 年齢三区分別人口構成比率

生産年齢人口である15～64歳と、年少人口の0～14歳は減少が続いている一方、65歳以上の老年人口は増加し、少子高齢化が進んでいます。

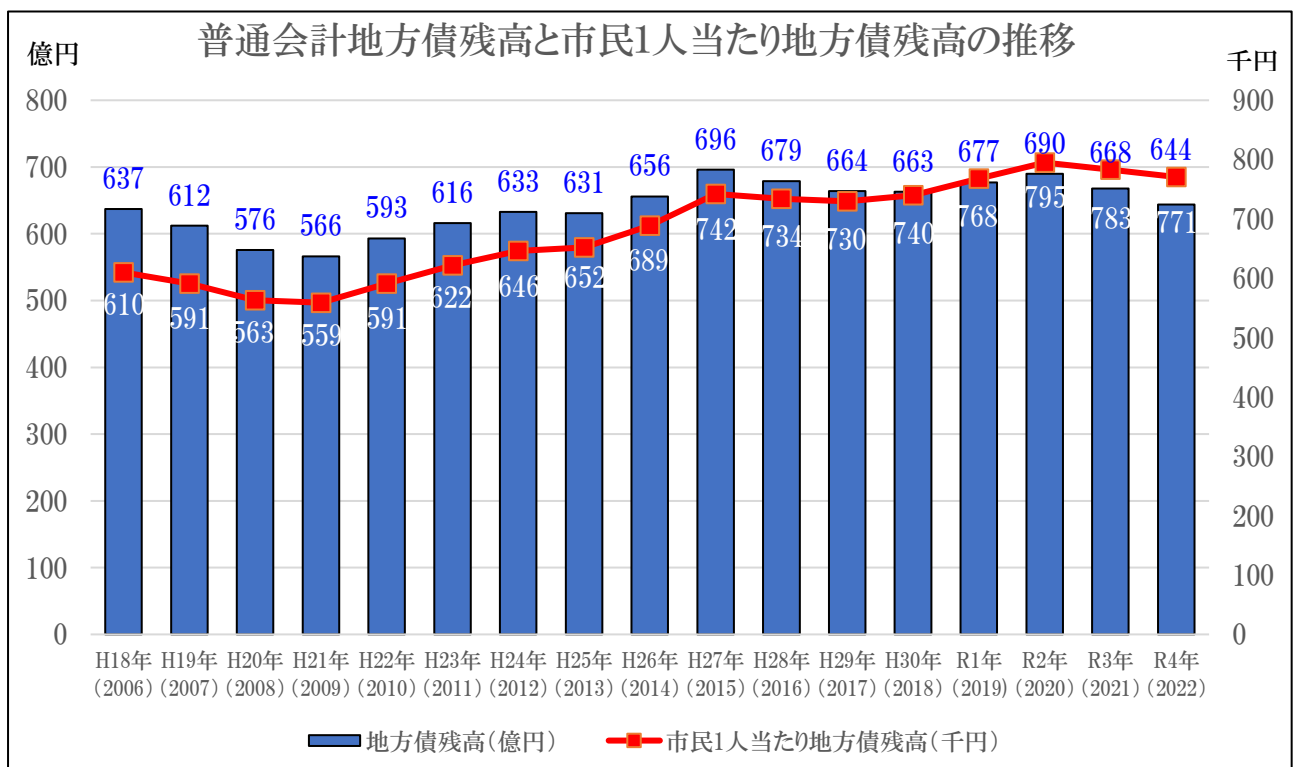


(4) 財政状況

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の発生により、国民一人当たり10万円を給付する特別定額給付金給付事業を実施したため、突出した決算額となっていますが、500億円台の規模で推移しています。



地方債の残高は、平成21年度以降、横手駅前再開発や学校統合などの大型事業が計画的に進められたことから増加傾向となっており、クリーンプラザよこての建設が実施された平成27年度にピークとなりました。その後、一旦は減少したものの、令和2年度は、雄物川、十文字庁舎の建設により再び増加に転じています。



Ⅲ 政策の総括

横手市総合計画審議会委員による政策の総括評価を実施しました。

総括評価結果

政策	評価視点	評価点 (5・4・3・2・1)	意見等
【政策1】 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	取組の方向性	3.6	・保育に関しては、一時的な給付よりも、保育料と副食費の完全無償化を期待する。 ・健康な心と体づくりの推進では、働き盛り(＝ゆらぎ期)にも目を向けてほしい。 ・健診は土日も受診できると良い。また、現状よりも予約健診の種類を増やしてほしい。 ・障がい特性を正しく理解し、社会で支え合える地域づくりにつながるような情報発信を願っている。
【政策2】 学びの充実とスポーツ(・芸術文化)の振興により、生きる力と豊かな心を育みます	取組の方向性	3.3	・不登校支援の拡充やサードプレイスの充実、将来のひきこもりを減らせるのではないかな。 ・スポーツ立市とうたいながらスポーツ施設が不十分である。特に学校施設の改善に配慮してほしい。 ・市のスポーツ大会は若い方の参加が少なく、毎回決まった方が参加している感じがする。 ・スクールバスの運行には満足。
【政策3】 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます	取組の方向性	3.5	・雪害に対し、もっと力を入れてほしい。また、人口減に対し、それを受け入れたうえでの対策を望む。 ・有害鳥獣対策にもっと力を入れてほしい。 ・地域の婦人会が高齢化しており、防災に係る女性の仕組みも進化するべきである。 ・災害時の福祉避難所の設置も必要だと考える。
【政策4】 魅力ある地域資源を活用し、人呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります	取組の方向性	3.4	・近隣市町村と商工業の連携をとる要素がもっとあると良い。 ・起業から伴奏型支援まで手厚い内容で、起業という選択が生まれやすい環境だと思う。 ・新規就農者が長く定着できるような見守り、手助けが必要。 ・新規就農者や工業従事者の増加には、小中高と切れ目のない情報発信や職場見学、体験等の充実と、実業高校との連携が必須と考える。
【政策5】 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます	取組の方向性	3.5	・雪国に暮らす市民にとって重大な関心事である。高齢化や過疎化が進む中、ニーズをくみとったサービスを考える必要がある。 ・人口減少が見込まれるが、インフラ整備は最優先する必要がある。 ・高齢者への公共交通の補助も大事だが、例えば高校生などにも補助してはどうか。遊びに出てもらうのも大事だと思う。 ・地域の環境の維持について、今は共助ではなんとかなっているけど、これからは共助できる人そのものがいなくなる地域も多いと思う。
【政策6】 やささと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます	取組の方向性	3.4	・男女共同参画、ダイバーシティに関する事業も周知、推進されており、今後も連携を図りながら進めてほしい。 ・応援人口を増やす取組を増やしていきたい。 ・Y2ぶらぎに子どもが遊ぶコーナーがあるが、その他の地域には無い。各地区交流センター等にも子どもたちの居場所を作してほしい。 ・移住支援や奨学金支援の中に税の減免を取り入れたほうが移住が多いと考える。
【政策7】 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます	取組の方向性	3.5	・成果重視の方向に沿って努力が続けられていると思うが、まちづくりアンケートの市民満足度はまだ厳しい。引き続き努力をお願いします。 ・ネーミングライツのさらなる活用を期待する。 ・あまり短期で配属換えをしないしてほしい。職員の温度で対応が変わっているように感じる。 ・職員の人材育成の反省と総括は必要と考える。

【評価視点の基準】

- 「5点：特に良好」・・・非常に優れており、引き続きこの方向性で良い。
- 「4点：良好」・・・やや優れており、概ねこの方向性で良い。
- 「3点：妥当」・・・標準的である。
- 「2点：見直し検討」・・・一部において不十分であり、部分的に見直し検討を要する
- 「1点：要改善」・・・多くの点において不十分であり、見直しを要する

取組の方向性・・・各施策の実施状況から、その有効性や手法の妥当性を客観的に評価

Ⅳ 施策の総括

各施策総括シート

政策	施策		頁
【政策1】 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	1-1	子育て支援の充実	11
	1-2	健康な心と体づくりの推進	13
	1-3	健康でいきいきとした高齢社会の推進	15
	1-4	障がい者（児）福祉の充実	17
	1-5	低所得者福祉の充実	19
	1-6	福祉を支える人材の確保と育成	21
【政策2】 学びの充実とスポーツ（・芸術文化）の振興により、生きる力と豊かな心を育みます	2-1	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	23
	2-2	安全で安心して学べる教育環境の整備	25
	2-3	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	27
	2-4	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進（心を豊かにする生涯学習の推進）	29
	2-5	よこての伝統文化の継承と再発見	31
【政策3】 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます	3-1	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	33
	3-2	美しい自然環境と快適な生活環境の保全	35
	3-3	災害に強いまちづくりの推進	37
	3-4	循環型社会の一層の推進	39
	3-5	エネルギーの地産地消の推進（地球温暖化対策の推進）	41
【政策4】 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります	4-1	魅力ある農林業の推進	43
	4-2	活気ある商業の振興	45
	4-3	活力ある工業の振興	47
	4-4	観光・物産資源の発掘と発信	49
	4-5	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	51
【政策5】 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます	5-1	雪国の快適な暮らしの実現	53
	5-2	快適な移動空間の実現	55
	5-3	市民が利用しやすい公共交通の充実	57
	5-4	地域拠点整備による市街地の活性化	59
	5-5	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理	61
	5-6	市民がくつろげる公共空間の整備	63
【政策6】 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます	6-1	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	65
	6-2	男女が尊重し合う社会づくり	67
	6-3	情報を共有する環境の整備	69
	6-4	市内外との交流連携の推進	71
【政策7】 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます	7-1	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立（推進）	73
	7-2	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進	75
	7-3	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	77

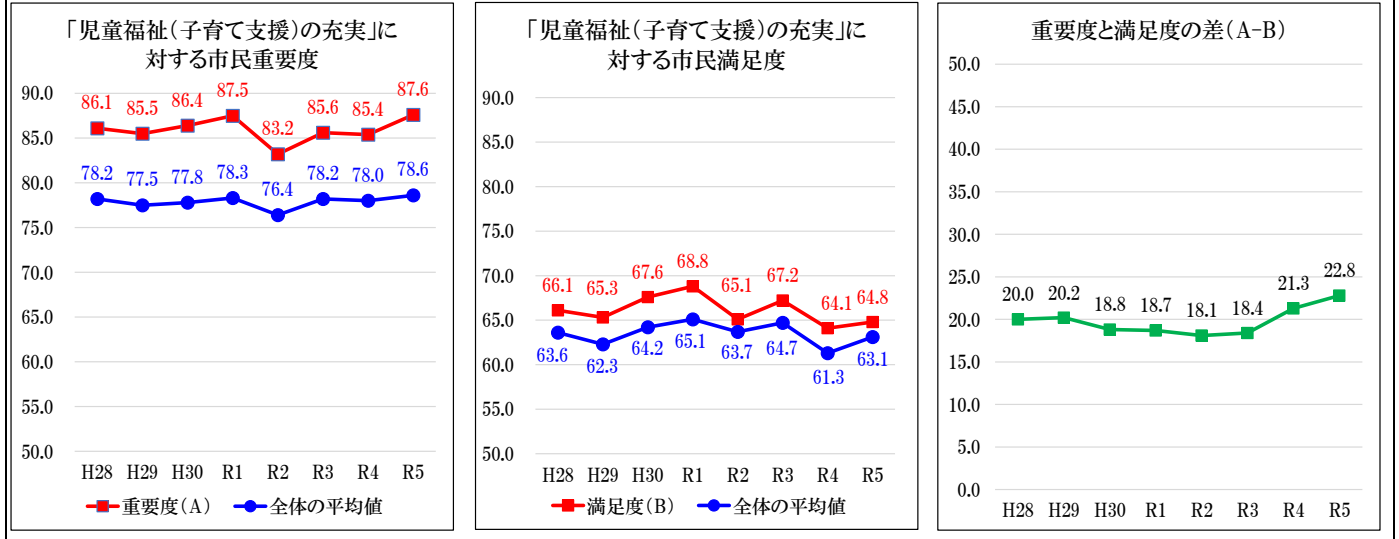
政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	
施策	前期計画(H28～R2)	子育て支援の充実
1-1	後期計画(R3～R7)	子育て支援の充実
目指す将来の姿	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。	
前期取り組み方針	人口減少と少子高齢化が同時に進行する中、市民が安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、家庭はもとより地域など社会全体が幅広い視野に立った子育て支援を推進します。	
後期取り組み方針	人口減少と少子高齢化が同時に進行する中、子どもの健やかな育ちを視点とした支援と、市民が安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図ります。また、地域など社会全体が幅広い視野に立った子育て支援を推進します。	

施策実現のための主要事業等	
保育支援事業(延長保育・病児保育等)	ひとり親家庭支援事業
保育所整備助成事業	各保健(妊産婦・乳幼児・歯科)事業
放課後児童健全育成事業	ワークライフバランス推進事業
公立保育所・地域子育て支援拠点(子育て支援センター等)の運営	若者出会い・結婚生活応援事業
福祉医療費制度	

成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標 値(R2)	前期実績 値(R2)	達成度	成果指標(後期)	現状値 (R1直近値)	後期目標 値(R7)	後期実績 値(R5)	達成度
まちづくり指標	「児童福祉(子育て支援)の充実」に対する市民満足度	35.0%	増加している	22.3%	B	「児童福祉(子育て支援)の充実」に対する市民満足度	68.8点	73.6点	64.8点	B
サブ指標	保育所充足率	100%	100%	100%	A	保育所充足率	100%	100%	100%	A
	学童保育利用定員	988人	1,215人	1,211人	B	放課後児童クラブ利用定員	1,283人	1,429人	1,305人	B
	子育て支援拠点施設の利用者数(子どものみ)	21,244人	22,277人	14,829人	B	子育て支援拠点施設の年間利用回数(利用対象年齢児童一人当たり)	5.2回	6.4回	5.3回	B
	乳幼児健康診査受診率	86.90%	100%	92.30%	B	乳幼児健康診査受診率	97.50%	100%	97.80%	B

決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成
特定財源	3,740,108	4,051,036	3,967,064	5,007,586	4,329,960	4,987,226	4,189,730	4,059,653	-	-	B	概ね達成
一般財源	2,268,667	2,272,682	2,295,425	2,272,654	2,128,674	2,094,140	2,043,915	2,151,234	-	-	C	未達成
合計(決算額)	6,008,775	6,323,718	6,262,489	7,280,240	6,458,634	7,081,366	6,233,645	6,210,887	-	-		
												100%以上
												60%以上100%未満
												60%未満

「児童福祉(子育て支援)の充実」										
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
重要度(A)	86.1	85.5	86.4	87.5	83.2	85.6	85.4	87.6	-	-
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-
平均値に対する比率	1.10	1.10	1.11	1.12	1.09	1.09	1.09	1.11	-	-
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
満足度(B)	66.1	65.3	67.6	68.8	65.1	67.2	64.1	64.8	-	-
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-
平均値に対する比率	1.04	1.05	1.05	1.06	1.02	1.04	1.05	1.03	-	-
重要度と満足度の差(A-B)	20.0	20.2	18.8	18.7	18.1	18.4	21.3	22.8		



政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	子育て支援の充実	
	後期計画(R3～R7)	子育て支援の充実	
目指す将来の姿	すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てを支えていくまちになっています。		
前期取り組み方針	人口減少と少子高齢化が同時に進行する中、市民が安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図り、家庭はもとより地域など社会全体が幅広い視野に立った子育て支援を推進します。		
後期取り組み方針	人口減少と少子高齢化が同時に進行する中、子どもの健やかな育ちを視点とした支援と、市民が安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図ります。また、地域など社会全体が幅広い視野に立った子育て支援を推進します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	福祉医療費	決算額(H28～R5)	6,297,056千円
①受給者証の交付・更新等を実施した ②事業実施に必要な事務費及び給付費を支出した ・給付実績額 759,786千円 ・年度末人数 14,344人、給付件数 275,016件			
事業名称	放課後児童健全育成事業	決算額(H28～R5)	1,918,029千円
(対象年齢:全学年、一部1～4年生) 横手16施設、増田2施設、平鹿3施設、雄物川3施設、大森2施設、十文字2施設、山内1施設、大雄1施設 合計30施設			
事業名称	保育支援事業	決算額(H28～R5)	712,317千円
保育支援事業を実施する私立施設へ補助又は委託により実施した ・延長保育事業(私立保育所20、認定こども園4) ・病児保育事業(病児対応型1、病後児対応型1、体調不良児対応型12) ・重度障がい児保育支援事業1 ・障がい児保育事業13 ・一時預かり事業(一般型15、幼稚園型2)			
事業名称	保育所整備助成事業	決算額(H28～R5)	1,974,537千円
(福)白梅保育園に対する白梅保育園園舎改修に係る整備補助を実施した 51,267千円			
事業名称	不妊治療費助成事業	決算額(H28～R5)	38,155千円
不妊治療費(一般・特定・不育症治療費)助成事業を実施 ・一般不妊治療費助成 55件 4,055千円 ・特定不妊治療費助成 23件 869千円 ・不育症治療費助成 1件 5千円			
施策の達成状況			
1. 成果の分析 指標の実績では目標に届かないものもあるが、実施してきた様々な子育て世代に対する支援策は、着実な成果を上げている。さらに目標を達成できるよう、次年度以降を見据え、方向性の協議を始めた年度であった。(放課後児童クラブの整備計画の策定、子育て支援拠点施設の再編等)			
2. 施策の有効性 少子化が進む中、国は「こども未来戦略」を策定し、今後喫緊に「子育て世代の所得向上・経済支援」と「少子化対策」を両輪で進めていく方針を打ち出した。当該施策は、安心して子どもを産み育てられる環境が重要との観点から、必要性、また有効性が高い施策である。			
3. 施策内事業の妥当性 施策内の事業は、既存事業の拡大や新たな事業を実施するなど、多様であり事業の構成も妥当であると考える。			
4. 実施可能な改善内容 明確な事業効果に対する視点を見直しつつ、企業や地域社会における子育て支援の重要性に関する啓発活動、他自治体との差別化について検討が必要。			

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます										
施策	前期計画(H28～R2)	健康な心と体づくりの推進									
1-2	後期計画(R3～R7)	健康な心と体づくりの推進									
目指す将来の姿	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。										
前期取り組み方針	市民の健康づくりの意識を高め、健康診断や保健指導を強化し、生活習慣病の予防を図ります。これにより、医療費の抑制を目指すとともに安定した医療制度の運営を行います。また、基幹病院と地域の医療機関との連携を推進し、質の高い医療や救急医療体制の充実を図ります。										
後期取り組み方針	市民の健康づくりの意識を高め、健康診断や保健指導を強化し、生活習慣病の予防を図ります。これにより、医療費の抑制を目指すとともに安定した医療制度の運営を行います。また、基幹病院と地域の医療機関との連携を推進し、質の高い医療や救急医療体制の充実を図ります。										
施策実現のための主要事業等											
健康の駅事業					医療体制整備事業(病院群輪番制及び在宅当番医制運営事業)						
健康増進事業(健康教育や健康相談、訪問指導の充実など)					市内病院の運営						
健康診査事業及びがん検診事業											
予防接種事業											
医療保険制度の運営(国民健康保険・後期高齢者医療)											
施策の成果指標											
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度	35.6%	増加している	25.9%	B	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度		68.8点	73.6点	66.7点	B
サブ指標	特定健康診査受診率	39.6%	45.0%	28.8%	B	特定健康診査受診率		39.0%	50.0%	42.9%	B
	各種がん検診受診率	36.9%	45.0%	13.7%	C	各種がん検診受診率		20.8%	37.5%	16.7%	C
	「健康の駅」の利用人数	5,190人	6,500人	2,959人	C	「健康の駅」の利用人数		6,632人	9,250人	3,658人	C
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成 100%以上
特定財源	1,191,668	816,778	799,866	774,121	784,385	1,605,691	1,504,646	1,099,861	-	-	B 概ね達成 60%以上100%未満
一般財源	2,591,583	2,910,288	2,798,756	2,793,301	2,709,193	2,774,224	2,839,589	2,869,927	-	-	C 未達成 60%未満
合計(決算額)	3,783,251	3,727,066	3,598,622	3,567,422	3,493,578	4,379,915	4,344,235	3,969,788	-	-	
まちづくりアンケート結果の推移											
「保健活動・健康づくりの推進」											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
重要度(A)	82.7	81.0	82.2	82.4	79.7	81.1	82.1	81.9	-	-	
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-	
平均値に対する比率	1.06	1.05	1.06	1.05	1.04	1.04	1.05	1.04	-	-	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
満足度(B)	67.6	66.6	68.2	68.8	67.4	68.0	66.7	66.7	-	-	
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-	
平均値に対する比率	1.06	1.07	1.06	1.06	1.06	1.05	1.09	1.06	-	-	
重要度と満足度の差(A-B)	15.1	14.4	14.0	13.6	12.3	13.1	15.4	15.2			

「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	82.7	78.2
H29	81.0	77.5
H30	82.2	77.8
R1	82.4	78.3
R2	79.7	76.4
R3	81.1	78.2
R4	82.1	78.0
R5	81.9	78.6

「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	67.6	63.6
H29	66.6	62.3
H30	68.2	64.2
R1	68.8	65.1
R2	67.4	63.7
R3	68.0	64.7
R4	66.7	61.3
R5	66.7	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	15.1
H29	14.4
H30	14.0
R1	13.6
R2	12.3
R3	13.1
R4	15.4
R5	15.2

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます		
施策 1-2	前期計画(H28～R2)	健康な心と体づくりの推進	
	後期計画(R3～R7)	健康な心と体づくりの推進	
目指す将来の姿	市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えています。		
前期取り組み方針	市民の健康づくりの意識を高め、健康診断や保健指導を強化し、生活習慣病の予防を図ります。これにより、医療費の抑制を目指すとともに安定した医療制度の運営を行います。また、基幹病院と地域の医療機関との連携を推進し、質の高い医療や救急医療体制の充実に図ります。		
後期取り組み方針	市民の健康づくりの意識を高め、健康診断や保健指導を強化し、生活習慣病の予防を図ります。これにより、医療費の抑制を目指すとともに安定した医療制度の運営を行います。また、基幹病院と地域の医療機関との連携を推進し、質の高い医療や救急医療体制の充実に図ります。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	健康の駅推進事業	決算額(H28～R5)	157,532千円
生活習慣病予防及び介護予防に有効な運動、こころの健康維持等市民の健康を総合的に継続支援する事業を実施 ・大規模3か所延べ人数16,604人、中規模22か所延べ人数2,938人、小規模67か所延べ人数42,132人、プロジェクト延べ人数計1,317人(地域巡回型健康の駅事業552人、若者支援事業54人、いきいきサロン支援事業45か所507人、子どもの健康づくり事業204人)、高血圧対策事業13人、特定保健指導19人 ・単発的支援実利用者数552人、視察対応2回、学生実習、講義13回、インターンシップ研修受入1回 ・筋トレマシン機器の保守管理			
事業名称	医療体制整備事業	決算額(H28～R5)	437,235千円
・地域救急救命センター運営費補助金交付 平鹿総合病院 22,000千円 ・在宅当番医制運営事業補助金交付 横手市救急医療対策協議会 3,413千円(救急フェア救急のつどい開催、東京都立広尾病院救急救命センター他視察、在宅当番医制運営事業を実施) ・病院群輪番制病院運営事業費補助金交付 平鹿総合病院 20,281千円、市立横手病院 5,733千円、市立大森病院 1,817千円			
事業名称	予防接種事業	決算額(H28～R5)	1,256,627千円
各種定期予防接種事業を実施 ・A類疾患 接種延べ人数 10,008人 ・B類疾患 接種延べ人数 19,690人 ・風しん抗体検査 223人			
事業名称	がん検診事業	決算額(H28～R5)	947,031千円
がん検診事業受診者数 胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・乳がん・子宮がん・婦人科超音波 合計43,434人 がん検診クーポン推進事業受診者数 乳がん・子宮頸がん 合計115人			
事業名称	心の健康づくり事業	決算額(H28～R5)	11,214千円
自殺予防対策として心の健康づくり事業を実施 ・対面型相談支援事業(無料法律相談):45件 ・高齢者うつ訪問:延べ265件 ・フォローアップ研修会:2回開催、参加者9人 ・スキルアップ研修:1回開催、参加者32人 ・普及啓発事業(強化月間及び命の日にのぼり旗の掲示) ・若年層対策事業:児童生徒のSOSを受け止める側研修会開催1回、参加者23人			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
今後これまでの事業をより確実に実施するとともに、新しい社会に対応した事業を進めていく。			
2. 施策の有効性			
誰もがいつまでも健康に暮らせるため、また、医療・介護などの社会負担を軽減できる有効な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
事業内容や実施方法など、更に事業効果を上げるための検討は必要であるが、必要不可欠な事業であり妥当である。			
4. 実施可能な改善内容			
研究結果などを基にした医師の医学的知見やデータが示す根拠を活用し、直接的な成果だけではなく波及的な成果までも視野に事業の組み立てを行う。			

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます												
施策 1-3	前期計画(H28～R2)	健康でいきいきとした高齢社会の推進											
	後期計画(R3～R7)	健康でいきいきとした高齢社会の推進											
目指す将来の姿	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深め、ともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。												
前期取り組み方針	高齢者が寝たきりや認知症にならずに住み慣れた地域で、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』を構築します。												
後期取り組み方針	地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』を推進し、地域共生社会の実現につなげていきます。												
施策実現のための主要事業等													
介護予防・日常生活支援総合事業													
一人暮らし高齢者等雪寄せ雪下ろし支援事業													
老人クラブ活動支援事業													
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設の運営													
介護保険制度の運営(在宅介護・介護連携推進事業など)													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度	29.5%	増加している	18.8%	B	「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度		65.8点	70.6点	63.0点	B		
サブ指標	自立している高齢者の割合	83.6%	84.9%	83.0%	B	在宅での生活が可能な高齢者の割合		82.9%	90.2%	91.5%	A		
	認知症サポーター数(累計)	6,000人	10,200人	11,248人	A	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)		10,814人	14,300人	12,813人	B		
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	187,543	342,544	361,986	179,310	245,366	229,928	389,195	233,124	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	2,843,633	2,299,855	2,231,164	2,212,725	2,349,332	2,383,388	2,402,902	2,389,118	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	3,031,176	2,642,399	2,593,150	2,392,035	2,594,698	2,613,316	2,792,097	2,622,242	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「高齢者福祉の充実」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	84.3	83.7	85.1	84.7	82.6	84.4	83.3	83.4	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.08	1.08	1.09	1.08	1.08	1.08	1.07	1.06	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	63.5	62.5	64.1	65.8	62.9	64.3	60.9	63.0	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	1.00	1.00	1.00	1.01	0.99	0.99	0.99	1.00	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	20.8	21.2	21.0	18.9	19.7	20.1	22.4	20.4					

「高齢者福祉の充実」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	84.3	78.2
H29	83.7	77.5
H30	85.1	77.8
R1	84.7	78.3
R2	82.6	76.4
R3	84.4	78.2
R4	83.3	78.0
R5	83.4	78.6

「高齢者福祉の充実」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	63.5	63.6
H29	62.5	62.3
H30	64.1	64.2
R1	65.8	65.1
R2	62.9	63.7
R3	64.3	64.7
R4	60.9	61.3
R5	63.0	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	20.8
H29	21.2
H30	21.0
R1	18.9
R2	19.7
R3	20.1
R4	22.4
R5	20.4

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます		
施策 1-3	前期計画(H28～R2)	健康でいきいきとした高齢社会の推進	
	後期計画(R3～R7)	健康でいきいきとした高齢社会の推進	
目指す将来の姿	横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深め、ともに支えあい、助けあう地域社会が形成されています。		
前期取り組み方針	高齢者が寝たきりや認知症にならずに住み慣れた地域で、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』を構築します。		
後期取り組み方針	地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される『地域包括ケアシステム』を推進し、地域共生社会の実現につなげていきます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	日常生活支援事業	決算額(H28～R5)	233,692千円
・雪下ろし費用助成事業及び除排雪事業を実施 雪下ろし 利用登録世帯数 1,007世帯 助成額 45,000円 除排雪 利用世帯数 399世帯 助成額 6,503,228円 ・移送サービス事業 年間実利用者43名、延べ利用回数249回 ・交通助成券交付事業 交付1,020名 利用22,866枚 2,286,600円 ・見守り安心事業 設置210件			
事業名称	はり、きゅう、マッサージ助成事業	決算額(H28～R5)	68,911千円
高齢者の健康の保持及び増進を図るため、対象者へはり・きゅうマッサージ券を12枚交付 ・令和5年度より対象者を75歳以上に引き上げ ・対象者18,098人のうち1,126人にはり・きゅうマッサージ券13,512枚を交付(交付率6.2%) ・利用があったのは5,474枚(交付枚数に対する利用率は40.5%)			
事業名称	市民後見推進事業	決算額(H28～R5)	14,397千円
・市民後見人フォローアップ研修の実施 ・成年後見制度定期相談会の開催 ・家庭裁判所への市民後見人候補者推薦 ・市民後見人養成講座を開催 ・市民後見人候補者名簿登録者の増員			
事業名称	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	決算額(H28～R5)	72,164千円
介護現場の生産性向上のための介護ロボット・ICT導入支援(交付上限単価×定員数:補助財源 県100/100)を実施 ・1施設 補助額 3,780千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
指標から見た実績は概ね目標を達成している。			
2. 施策の有効性			
高齢者が自立し生きがいを持って生活していくための施策であり、市民の認知度も高く有効な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
第8期介護保険・高齢者福祉事業計画に基づいた事業であり、妥当である。 市民ニーズを反映した第9期介護保険・高齢者福祉事業計画を策定し、更なる事業見直し・充実を図った。			
4. 実施可能な改善内容			
住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体となった「地域包括ケアシステム」について、地域住民主体の取り組みを中心とした体制強化を検討する。			

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	障がい者(児)福祉の充実										
	後期計画(R3～R7)	障がい者(児)福祉の充実										
目指す将来の姿	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。											
前期取り組み方針	障がい者が必要としているサービスを受けながら、暮らしたい場所で暮らしていけるように、サービスの提供体制を整備します。「障害者総合支援法」の基本理念である共生社会の実現のため、身近な相談体制の整備、地域生活への移行支援体制の構築、障がい者就労支援の推進、サービス提供体制の整備を重点事業とし、さまざまな角度から障がい者を支援し、新たな課題に対応できる体制の整備を行います。											
後期取り組み方針	障がい者が必要としているサービスを受けながら、暮らしたい場所で暮らしていけるように、サービスの提供体制を整備します。「障害者総合支援法」の基本理念である共生社会の実現のため、障がい児を支える取り組みの充実、共生社会を支える生活拠点等の整備の推進を重点事業とし、さまざまな角度から障がい者を支援し、新たな課題に対応できる体制の整備を行います。											
施策実現のための主要事業等												
自立支援給付費												
補装具支給事業												
地域生活支援事業(理解促進研修・啓発事業・相談支援事業など)												
地域生活支援拠点整備事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標 値(R2)	前期実績 値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標 値(R7)	後期実績 値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「障がい者(児)福祉の充実」に対する市民満足度	29.4%	増加している	21.9%	B	「障がい者(児)福祉の充実」に対する市民満足度		67.1点	72.0点	66.0点	B	
サブ指標	地域生活へ移行することに伴う福祉施設の入所者数	248人	233人	219人	A	地域生活へ移行することに伴う福祉施設の入所者数		228人	216人	210人	A	
	日常生活用具給付等事業の利用件数	2,434件	2,600件	2,341件	B	日常生活用具給付等事業の利用件数		2,429件	2,500件	2,234件	B	
	一般就労移行者数	2人	6人	15人	A	一般就労移行者数		10人	10人	2人	C	
	障がい者相談支援事業所数	2か所	3か所	3か所	A							
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	1,476,037	1,568,443	21,617,857	1,649,634	1,681,205	1,758,303	1,819,141	1,888,717	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	614,646	585,488	559,139	620,097	642,890	638,521	611,998	663,457	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	2,090,683	2,153,931	22,176,996	2,269,731	2,324,095	2,396,824	2,431,139	2,552,174	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「障がい者(児)福祉の充実」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	81.4	80.9	81.6	81.9	79.5	81.3	82.3	81.5	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	1.04	1.04	1.05	1.05	1.04	1.04	1.06	1.04	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	64.9	64.6	65.7	67.1	65.5	66.8	63.0	66.0	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	1.02	1.04	1.02	1.03	1.03	1.03	1.03	1.05	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	16.5	16.3	15.9	14.8	14.0	14.5	19.3	15.5				

「障がい者(児)福祉の充実」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	81.4	78.2
H29	80.9	77.5
H30	81.6	77.8
R1	81.9	78.3
R2	79.5	76.4
R3	81.3	78.2
R4	82.3	78.0
R5	81.5	78.6

「障がい者(児)福祉の充実」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	64.9	63.6
H29	64.6	62.3
H30	65.7	64.2
R1	67.1	65.1
R2	65.5	63.7
R3	66.8	64.7
R4	63.0	61.3
R5	66.0	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	16.5
H29	16.3
H30	15.9
R1	14.8
R2	14.0
R3	14.5
R4	19.3
R5	15.5

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます			
施策	前期計画(H28～R2)	障がい者(児)福祉の充実		
	後期計画(R3～R7)	障がい者(児)福祉の充実		
目指す将来の姿	障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしています。			
前期取り組み方針	障がい者が必要としているサービスを受けながら、暮らしたい場所で暮らしていけるように、サービスの提供体制を整備します。「障害者総合支援法」の基本理念である共生社会の実現のため、身近な相談体制の整備、地域生活への移行支援体制の構築、障がい者就労支援の推進、サービス提供体制の整備を重点事業とし、さまざまな角度から障がい者を支援し、新たな課題に対応できる体制の整備を行います。			
後期取り組み方針	障がい者が必要としているサービスを受けながら、暮らしたい場所で暮らしていけるように、サービスの提供体制を整備します。「障害者総合支援法」の基本理念である共生社会の実現のため、障がい児を支える取り組みの充実、共生社会を支える生活拠点等の整備の推進を重点事業とし、さまざまな角度から障がい者を支援し、新たな課題に対応できる体制の整備を行います。			
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)				
事業名称	自立支援給付費		決算額(H28～R5)	16,212,166千円
・障がい者(児)の自立支援を目的とした自立支援給付(介護給付・訓練等給付・相談支援給付)と障害児通所給付を実施 障がい者延べ利用件数 21,238件 障がい児延べ利用件数 3,294件				
事業名称	地域生活支援事業費		決算額(H28～R5)	485,556千円
・障がい者(児)が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、相談支援事業、意思疎通支援事業等を行った ・障がい者相談件数 908件 ・日常生活用具給付件数 2,234件 ・手話通訳者 年間延べ派遣件数 92件 ・手話奉仕員養成講座 入門編修了者 9人/基礎編修了者 8人 ・移動支援事業年間実利用者数 9人 年間実利用時間 406時間 ・地域生活支援拠点の活動支援				
事業名称	特別障がい者手当等給付事業		決算額(H28～R5)	538,683千円
・常時介護を必要とする在宅の重度障がい者に対し、精神的、物質的な負担軽減の一助として手当を支給 特別障害者手当 給付延べ人数 1,591人 障害児福祉手当 給付延べ人数 478人 経過福祉手当 給付延べ人数 24人				
事業名称			決算額(H28～R5)	
事業名称			決算額(H28～R5)	
施策の達成状況				
1. 成果の分析				
障害者総合支援法で義務付けられた事業であり、制度の適正な運用を行っており、着実に事業の成果が出ている。指標の一部の項目については、障がい者数の減少と高齢化から目標値の設定を見直す必要がある。				
2. 施策の有効性				
障がい児者が住み慣れた地域社会で、安全に安心して暮らしながら、豊かで充実した様々な経験を経て自己実現ができるよう支援する上で有効性のある施策である。				
3. 施策内事業の妥当性				
事業の実施方法など更に効果を上げるための検討は必要であるが、法令に基づく必要不可欠な事業であり、妥当性がある。				
4. 実施可能な改善内容				
障がい児が健やかに育つことができるようにきめ細かな支援体制や、障がい者の親亡き後を見据えた生活拠点の整備を強化する。				

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	低所得者福祉の充実										
	後期計画(R3～R7)	低所得者福祉の充実										
目指す将来の姿	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができます。											
前期取り組み方針	生活保護制度の「運営の適正化、自立支援(就労支援の維持)、実施体制の強化」を進めます。低所得の若者や子育て世帯の定住促進や高齢者・障がい者、ひとり親世帯等の住宅確保要配慮者に対する住宅需要への対応施策を展開し、市民が活き活きと暮らせる地域特性を考慮した良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。											
後期取り組み方針	生活保護制度の「運営の適正化、自立支援(就労支援の維持)、実施体制の強化」を進めます。また、生活困窮者の抱える複合的な課題に対応するため、関係機関等と連携しながら、自立相談支援機関による包括的な支援を推進します。低所得の若者や子育て世帯の定住促進や高齢者・障がい者、ひとり親世帯等の住宅確保要配慮者に対する住宅需要への対応施策を展開し、市民が活き活きと暮らせる地域特性を考慮した良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。											
施策実現のための主要事業等												
生活保護制度の運用(運営の適正化、自立支援、実施体制の強化)												
生活困窮者自立支援事業(「くらしの相談窓口」の設置)												
市営住宅の運営と管理												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度	20.5%	増加している	17.4%	B	「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度		64.6点	69.5点	62.5点	B	
サブ指標	市民1,000人当たりの生活保護受給率(千分率)	9.2‰	10.0‰	9.0‰	B	生活保護から就労により自立した世帯数		12世帯	15世帯	2世帯	C	
	生活保護から自立世帯への移行数	13世帯	15世帯	6世帯	C	就労相談・援助による就労達成者数		-	25人	21人	B	
	就労相談・援助による就労達成率	45%	50%	52.3%	A							
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)				
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	1,481,436	1,243,928	1,036,079	1,058,386	1,032,258	1,804,447	2,084,887	2,124,289	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	324,342	426,263	272,829	276,053	265,013	231,761	256,217	419,840	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	1,805,778	1,670,191	1,308,908	1,334,439	1,297,271	2,036,208	2,341,104	2,544,129	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「低所得者福祉の充実」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	77.6	76.3	76.7	78.0	76.0	77.6	77.4	77.2	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	0.99	0.98	0.99	1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	62.0	61.3	63.1	64.6	62.8	64.3	60.1	62.5	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	0.97	0.98	0.98	0.99	0.99	0.99	0.98	0.99	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	15.6	15.0	13.6	13.4	13.2	13.3	17.3	14.7				

「低所得者福祉の充実」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	77.6	78.2
H29	76.3	77.5
H30	76.7	77.8
R1	78.0	78.3
R2	76.0	76.4
R3	77.6	78.2
R4	77.4	78.0
R5	77.2	78.6

「低所得者福祉の充実」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	62.0	63.6
H29	61.3	62.3
H30	63.1	64.2
R1	64.6	65.1
R2	62.8	63.7
R3	64.3	64.7
R4	60.1	61.3
R5	62.5	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	15.6
H29	15.0
H30	13.6
R1	13.4
R2	13.2
R3	13.3
R4	17.3
R5	14.7

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	低所得者福祉の充実	
1-5	後期計画(R3～R7)	低所得者福祉の充実	
目指す将来の姿	住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、すべての市民が自立した生活を確立して、いきいきと暮らすことができます。		
前期取り組み方針	生活保護制度の「運営の適正化、自立支援(就労支援の維持)、実施体制の強化」を進めます。低所得の若者や子育て世帯の定住促進や高齢者・障がい者、ひとり親世帯等の住宅確保要配慮者に対する住宅需要への対応施策を展開し、市民が活き活きと暮らせる地域特性を考慮した良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。		
後期取り組み方針	生活保護制度の「運営の適正化、自立支援(就労支援の維持)、実施体制の強化」を進めます。また、生活困窮者の抱える複合的な課題に対応するため、関係機関等と連携しながら、自立相談支援機関による包括的な支援を推進します。低所得の若者や子育て世帯の定住促進や高齢者・障がい者、ひとり親世帯等の住宅確保要配慮者に対する住宅需要への対応施策を展開し、市民が活き活きと暮らせる地域特性を考慮した良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	生活困窮者自立促進支援事業	決算額(H28～R5)	149,690千円
・生活保護に至る前段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業を実施 ・離職により住居を喪失するおそれのある者について有期で住居確保給付金を支給 ・主として家計管理に課題のある者に対し家計改善支援事業を実施 ・社協特例貸付決定者に対し、生活応援資金を給付 ・新規相談件数204件 支援調整会議開催回数6回 住居確保給付金支給決定件数1件 家計改善支援事業利用件数6件			
事業名称	一般扶助費	決算額(H28～R5)	8,018,612千円
生活保護法に基づいた生活保護費の支給と自立に向けた支援を実施 ・自立相談支援相談窓口や各地域局と連携し生活困窮者からの相談対応 ・保護申請者の受理により保護の要否の調査 ・保護費の支給と生活状況の把握とその改善への支援 ・自立更生に向けた就労活動や他制度活用への支援			
事業名称	公営住宅整備費	決算額(H28～R5)	556,354千円
・西野団地住宅屋内共用部給水管更新工事 7,700千円、設計監理委託69千円 ・山道住宅(1・5・25号棟)解体工事実施設計業務委託330千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
指標の実績では目標に届かないものもあるが、生活保護法等法令にに基づいた事業で、制度の適正な運用により着実に成果は出ている。			
2. 施策の有効性			
憲法が定める健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立した生活ができるよう援助する上で有効性のある施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
事業の実施方法など更に効果を上げるための検討は必要であるが、法令に基づく必要不可欠な事業であり、妥当性がある。			
4. 実施可能な改善内容			
生活に困窮する原因を明確にし、課題解決のために適正な支援プランを提供することで、複雑化・重症化予防につながる。			

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	福祉を支える人材の確保と育成										
1-6	後期計画(R3～R7)	福祉を支える人材の確保と育成										
目指す将来の姿	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。											
前期取り組み方針	「みんなが主役！みんなで作る 人にやさしいまち横手」を基本理念とし、今ある公的なサービスなどを効率的に分配することはもちろん、市民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア団体やNPO、サービス事業所や福祉施設などの事業者、社会福祉協議会、行政が力を合わせて地域の生活課題解決に取り組んでいきます。											
後期取り組み方針	地域の生活課題解決のため、今ある公的なサービスなどを効率的に分配することはもちろん、市民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO、サービス事業所や福祉施設などの事業者、社会福祉協議会、行政が力を合わせて地域福祉活動の活性化に取り組みます。											
施策実現のための主要事業等												
社会福祉協議会、民生児童委員協議会への支援												
民生委員・児童委員費												
生活支援体制整備事業												
避難行動要支援者支援体制の整備												
ひきこもりの若者への支援												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「地域福祉の向上」に対する市民満足度	27.9%	増加している	18.7%	B	「地域福祉の向上」に対する市民満足度		66.2点	71.1点	64.0点	B	
サブ指標	民生児童委員の相談指導件数	7,420件	7,050件	5,440件	B	ボランティア団体への登録団体数		54団体	70団体	42団体	B	
	ボランティア団体の登録団体数	55団体	60団体	54団体	B	避難行動要支援者の登録者名簿への登録率		37%	100%	51.1%	C	
	避難行動要支援者の登録者名簿への登録率	18.6%	100%	41.0%	C							
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)				
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成
特定財源	18,616	18,511	18,420	20,237	19,043	20,052	21,145	28,433	-	-	100%以上	
一般財源	156,229	151,605	166,430	143,705	147,632	159,646	155,709	148,952	-	-	60%以上100%未満	
合計(決算額)	174,845	170,116	184,850	163,942	166,675	179,698	176,854	177,385	-	-	60%未満	
まちづくりアンケート結果の推移												
「地域福祉の向上」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	77.9	77.2	77.9	78.3	75.0	77.1	77.4	78.3	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	1.00	1.00	1.00	1.00	0.98	0.99	0.99	1.00	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	65.9	63.5	64.9	66.2	65.2	66.5	63.1	64.0	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	1.04	1.02	1.01	1.02	1.02	1.03	1.03	1.01	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	12.0	13.7	13.0	12.1	9.8	10.6	14.3	14.3	-	-		

「地域福祉の向上」に対する市民重要度

■ 重要度(A)

● 全体の平均値

「地域福祉の向上」に対する市民満足度

■ 満足度(B)

● 全体の平均値

重要度と満足度の差(A-B)

政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます				
施策 1-6	前期計画(H28～R2)	福祉を支える人材の確保と育成			
	後期計画(R3～R7)	福祉を支える人材の確保と育成			
目指す将来の姿	地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えています。また、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われています。				
前期取り組み方針	「みんなが主役！みんなでつくる 人にやさしいまち横手」を基本理念とし、今ある公的なサービスなどを効率的に分配することはもちろん、市民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア団体やNPO、サービス事業所や福祉施設などの事業者、社会福祉協議会、行政が力を合わせて地域の生活課題解決に取り組んでいきます。				
後期取り組み方針	地域の生活課題解決のため、今ある公的なサービスなどを効率的に分配することはもちろん、市民一人ひとり、自治会・町内会、ボランティア団体、NPO、サービス事業所や福祉施設などの事業者、社会福祉協議会、行政が力を合わせて地域福祉活動の活性化に取り組みます。				
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)					
事業名称	民生委員児童委員費		決算額(H28～R5)	259,888千円	
民生児童委員活動の支援及び民生委員推薦会開催に係る経費 【令和6年3月末現在 民生児童委員定数282名、主任児童委員定数32名】 ・県負担金(民生委員及び地区協議会活動) 2,0315千円					
事業名称	地域福祉計画等策定事業		決算額(H28～R5)	12,903千円	
第4次横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査を実施 ・横手市地域福祉計画・横手市地域福祉活動策定のためのアンケート調査 ・ひきこもり実態調査					
事業名称			決算額(H28～R5)		
事業名称			決算額(H28～R5)		
事業名称			決算額(H28～R5)		
事業名称			決算額(H28～R5)		
施策の達成状況					
1. 成果の分析					
指標から見た実績は目標に達していないものの、適正に取り組んでおり一定の成果が見られる。					
2. 施策の有効性					
高齢化率の高い当市では、公助だけでは地域での生活を維持していくことが非常に難しく、地域における自助、共助を進める上で有効な施策である。					
3. 施策内事業の妥当性					
第3次横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた事業であり、妥当である。					
4. 実施可能な改善内容					
地域での見守りなどの活動を担う人材の確保が困難になってきており、地域や関係機関と連携を図りながら、担い手の育成と確保に取り組んで行く必要がある。 地域実態と市民ニーズを的確に把握し、第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画に反映させる。					

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます												
施策 2-1	前期計画(H28～R2)	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実											
	後期計画(R3～R7)	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実											
目指す将来の姿	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。												
前期取り組み方針	横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。												
後期取り組み方針	横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。												
施策実現のための主要事業等													
ICT活用による授業改善と言語活動の充実による学力向上推進事業							「横手を学ぶ郷土学」推進事業						
学校生活サポート事業													
教育相談・不登校適応指導教室事業、横手市いじめ防止等対策事業													
小中学校要保護及び準要保護就学援助等、奨学金貸付事業													
食育・地産地消推進事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)	現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度			
まちづくり指標	学校が楽しいと思う児童生徒	95.0%	98.0%	94.16%	B	学校が楽しいと思う児童生徒	95.22%	98.0%	94.0%	B			
サブ指標	不登校児童・生徒の出現率	0.73%	0.60%	1.1%	C	「学校教育の充実」に対する市民満足度	67.3点	72.2点	63.5点	B			
	全国学力・学習状況調査において全国平均を上回る平均ポイント数	8.15ポイント	高い水準で上回る	—	—	不登校児童生徒の出現率	0.99%	0.90%	3.3%	C			
	「横手を学ぶ郷土学」の総合テキスト活用完全実施校数	—	23校	23校	A	ICTを使った授業は、よく分かって楽しいと思う児童生徒の割合	—	90.0%	80.0%	B			
	学校給食食材の横手市産使用率	35.4%	45.0%	38.5%	B	授業においてソフトを活用した指導ができる教員	50.0%	90.0%	77.0%	B			
						学校給食食材の横手市産使用率	39.1%	45.0%	25.2%	C			
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	57,718	37,485	28,988	32,141	28,286	31,809	42,772	33,845	—	—	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	214,849	208,212	222,509	224,783	262,563	251,239	244,403	243,955	—	—	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	272,567	245,697	251,497	256,924	290,849	283,048	287,175	277,800	—	—			
まちづくりアンケート結果の推移													
「学校教育の充実」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	83.9	82.2	83.1	83.7	81.1	82.6	83.2	84.4	—	—			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—			
平均値に対する比率	1.07	1.06	1.07	1.07	1.06	1.06	1.07	1.07	—	—			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	66.9	64.6	66.4	67.3	65.7	66.2	61.9	63.5	—	—			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—			
平均値に対する比率	1.05	1.04	1.03	1.03	1.03	1.02	1.01	1.01	—	—			
重要度と満足度の差(A-B)	17.0	17.6	16.7	16.4	15.4	16.4	21.3	20.9					

「学校教育の充実」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	83.9	78.2
H29	82.2	77.5
H30	83.1	77.8
R1	83.7	78.3
R2	81.1	76.4
R3	82.6	78.2
R4	83.2	78.0
R5	84.4	78.6

「学校教育の充実」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	66.9	63.6
H29	64.6	62.3
H30	66.4	64.2
R1	67.3	65.1
R2	65.7	63.7
R3	66.2	64.7
R4	61.9	61.3
R5	63.5	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	17.0
H29	17.6
H30	16.7
R1	16.4
R2	15.4
R3	16.4
R4	21.3
R5	20.9

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます		
施策	前期計画(H28～R2)	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	
	後期計画(R3～R7)	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	
目指す将来の姿	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長しています。		
前期取り組み方針	横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。		
後期取り組み方針	横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	食育・地産地消推進事業	決算額(H28～R5)	18,387千円
①食育推進事業の実施:横手市食育推進協議会の開催 ②食農体験プログラム・枝豆栽培と味噌づくり(大雄小学校)、収穫体験(西地区小中学校) 冬野菜を食べる会・保育園等14か所で実施(食農体験ハウスでのイチゴ収穫体験も実施、同保育所) ③学校給食・小学校調理実習への地場産食材納入事業の実施 ④稲作体験交流事業の実施(増田地域課) ⑤市報(ココテズ・キッチン)・年4回掲載(5月・10月・12月・3月)			
事業名称	学校生活サポート事業	決算額(H28～R5)	583,286千円
・特別支援教育支援員50名(全支援員報酬75,710千円、全支援員期末手当15,092千円) ・日本語指導支援員3名(横手南小、朝倉小、雄物川小)・非常勤看護師1名(吉田小) ・特別支援学級在籍児童生徒数(小学校171名、中学校69名)R6.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している特別支援学級在籍児童生徒数(小学校135名、中学校35名)R6.3.31現在 ・特別支援教育支援員が担当している通常学級在籍児童生徒数(小学校140名、中学校13名)R6.3.31現在			
事業名称	次世代ものづくり人材育成事業	決算額(H28～R5)	1,764千円
・「ものづくり交流会」8/1～8/2 県立大学より講師を招いて実施。技術分野12名、家庭分野14名 合計26名 「小学生職場見学ツアー」8/8開催 プレステージ・アスター 13名 「プログラミング教室」1/12条里南庁舎で開催 トイドローン等を使用したプログラミング体験 20名 ・「職場体験受入事業所(“未来体験”応援団)」の整備			
事業名称	言語活動充実推進事業	決算額(H28～R5)	14,471千円
・公開研究会の実施(平鹿中学校区・十文字中学校区の小学校)11/2実施(研究紀要 550冊発行) ・公開研究会に向けた事前研修の実施 Ⅲ区(平鹿中学校区・十文字中学校区) ・新中学1年生へおすすめの本100選を配付 ・学校図書館をさらに有効に利活用し、読書活動、NIEの推進を強化した ・第7回横手市「みんなde読もう!新聞コンクール」小・中応募総数4,654点 4部門最優秀賞4名、優秀賞20名 ・おすすめの本100選の選考			
事業名称	「横手を学ぶ郷土学」推進事業	決算額(H28～R5)	45,995千円
・よこてを学ぶ郷土学総合テキストを小中学校の総合学習等で活用 ・市内の無形民俗行事等のデジタル映像作成を実施(13行事作成)			
施策の達成状況			
1. 成果の分析 指標については、目標を下回る項目があるものの、概ね達成している。「学校が楽しい」と思う児童生徒は94%と目標に近付いているが、不登校出現率については、小中学校全体で3.3と高く、今後も学校と連携した取組が必要である。ICTの授業活用については、児童生徒アンケート及び教員の指導力調査ともに目標を達成している。学校給食における地場産野菜(15品目)使用率は25.2%(前年比-7.3)となったことを踏まえて、今後も関係課・農家会と連携を図り、地場産使用率の向上に努めていく。			
2. 施策の有効性 本市の児童生徒に対して、学校規模や学習環境、地域性、家庭環境・状況による差が生じないよう、平等かつ公平な教育を保障するとともに、個々のニーズに対応するという観点からも有効性が認められる。今後も各事業の趣旨を踏まえて、相関しながら継続的・計画的に推進すべきものとする。			
3. 施策内事業の妥当性 児童生徒の実態や多様な教育的ニーズに応じた施策が講じられている。各事業の推進に当たっては、社会情勢の激しい変化に柔軟に、かつ迅速に対応していくことが求められる。児童生徒の取り巻く環境の変化を認識しながら、目的を明確にすること、成果と課題をしっかりと検証し、改善の方向や方策を明確にして運営に当たることにより、事業の妥当性は、より高まるものとする。			
4. 実施可能な改善内容 各事業のそれぞれの目的を達成することにより施策全体の成果となって表れることから、継続して実施すべきものとする。学習指導要領を踏まえて、学習内容や教育環境も大きく変化している。情報を取捨選択・精査し、児童生徒が自立的に生き、社会形成に参画するための資質・能力の育成を図る施策を講じていく必要がある。			

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます										
施策	前期計画(H28～R2)	安全で安心して学べる教育環境の整備									
	後期計画(R3～R7)	安全で安心して学べる教育環境の整備									
目指す将来の姿	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。										
前期取り組み方針	安全・安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な配置・管理を図る取り組みが必要です。										
後期取り組み方針	安全・安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な管理を行います。										
施策実現のための主要事業等											
学校施設長寿命化対策(大規模改修)事業											
スクールバス運行事業											
小中学校におけるICT環境整備											
学校給食事業											
学校給食センター施設の維持管理・運営と再編											
施策の成果指標											
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「学校教育の充実」に対する市民満足度	28.1%	増加している	21.9%	B	「教育環境の整備」に対する市民満足度		68.6点	73.4点	65.0点	B
サブ指標	長寿命化対策(大規模改修)を実施した小中学校数(累計)	7校	13校	12校	B	長寿命化対策(大規模改修)を実施した小中学校数(累計)		11校	14校	13校	B
	学校給食の一人あたりの残食量	48.4g	43.0g	46.1%	C						
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成
特定財源	472,506	691,619	1,235,980	2,098,922	4,370,902	1,248,047	885,598	818,145	-	-	100%以上
一般財源	986,486	1,009,871	985,241	1,075,644	1,307,738	1,189,222	1,192,424	1,165,524	-	-	B 概ね達成
合計(決算額)	1,458,992	1,701,490	2,221,221	3,174,566	5,678,640	2,437,269	2,078,022	1,983,669	-	-	C 未達成
まちづくりアンケート結果の推移											
「教育環境の整備」											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
重要度(A)	81.9	80.8	81.6	81.9	79.4	81.0	81.3	83.0	-	-	
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-	
平均値に対する比率	1.05	1.04	1.05	1.05	1.04	1.04	1.04	1.06	-	-	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
満足度(B)	67.6	65.9	67.6	68.6	67.1	67.7	63.5	65.0	-	-	
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-	
平均値に対する比率	1.06	1.06	1.05	1.05	1.05	1.05	1.04	1.03	-	-	
重要度と満足度の差(A-B)	14.3	14.9	14.0	13.3	12.3	13.3	17.8	18.0			

「教育環境の整備」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	81.9	78.2
H29	80.8	77.5
H30	81.6	77.8
R1	81.9	78.3
R2	79.4	76.4
R3	81.0	78.2
R4	81.3	78.0
R5	83.0	78.6

「教育環境の整備」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	67.6	63.6
H29	65.9	62.3
H30	67.6	64.2
R1	68.6	65.1
R2	67.1	63.7
R3	67.7	64.7
R4	63.5	61.3
R5	65.0	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	14.3
H29	14.9
H30	14.0
R1	13.3
R2	12.3
R3	13.3
R4	17.8
R5	18.0

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます		
施策	前期計画(H28～R2)	安全で安心して学べる教育環境の整備	
2-2	後期計画(R3～R7)	安全で安心して学べる教育環境の整備	
目指す将来の姿	児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。		
前期取り組み方針	安全・安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な配置・管理を図る取り組みが必要です。		
後期取り組み方針	安全・安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な管理を行います。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	スクールバス運行事業	決算額(H28～R5)	1,151,720千円
①児童生徒の通学や横手市・教育委員会が主催する行事、社会科見学等の校外学習について、効率的な運行管理を行った ・小学校10校(通年運行9校、冬季運行1校)にて、スクールバス28台を運行 ・中学校6校(通年運行5校、冬季運行1校)にて、スクールバス25台を運行(うち1台レンタル)			
事業名称	学校給食事業	決算額(H28～R5)	4,005,627千円
・滞納者に対する自宅訪問や納付相談、給食費納付書・督促状発送、栄養管理システム保守委託、月2回腸内細菌等検査実施 ・児童生徒・教職員等への給食を提供(小学校14校、中学校6校、各給食センター、年間1,052,733食) 給食費改定に伴う増額分の一部助成に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用 ・平鹿学校給食センター機械設備ほか改修工事実施			
事業名称	小学校長寿命化対策事業	決算額(H28～R5)	1,610,556千円
朝倉小学校大規模改修工事(I期工事)(設計監理) 醍醐小学校大規模改修工事(実施設計)			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
施策については、朝倉小の長寿命化改修工事ほか各小中学校の主に経年劣化に伴う改修工事、スクールバス運行及び車両の更新、給食センターの再編、給食の調理・配送業務の民間委託を着実に実施した。教育に対する市民ニーズの多様化、学校ほか関連施設等の整備状況、業務の持続性などを絶えず意識しながら、引き続き業務を進めなければならない。			
2.施策の有効性			
児童生徒の減少、学校ほか関連施設、設備、備品の老朽化、劣化が進む中で、施設等を適正に維持し、良好な教育環境を維持するために有効な施策である。			
3.施策内事業の妥当性			
小中学校の管理費、長寿命化改修事業、スクールバス運行事業、学校給食事業等、いずれも教育環境の維持、施策の実現に欠かすことのできない事業、さらに充実を図らなければならない事業であり、他の事業とともに妥当な事業構成となっている。			
4.実施可能な改善内容			
施策の実現を目指す一方で、社会や経済の変化、市民意識の変化等、時代の流れを臨機応変に汲みながら、新しい技術や設備、制度を採り入れていなければならない。その際、持続可能性、コスト最適化に留意しながら改善に努める。			

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます												
施策	前期計画(H28～R2)	元気なまちを築く生涯スポーツの促進											
	後期計画(R3～R7)	元気なまちを築く生涯スポーツの促進											
目指す将来の姿	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。												
前期取り組み方針	市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、関係団体と連携しながらスポーツ事業を展開し、時代の要請や利用者のニーズに応じたスポーツ施設の改修や整備を推進します。												
後期取り組み方針	市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、関係団体と連携しながらスポーツ事業を展開し、将来を見据えて利用者のニーズに応じたスポーツ施設の改修や整備を推進します。												
施策実現のための主要事業等													
市民スポーツ振興事業													
横手市スポーツ協会の支援と連携													
スポーツのまちづくり事業													
競技スポーツパワーアップ事業													
横手体育館の建替え整備													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度	24.0%	増加している	21.5%	B	「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度		65.8点	70.7点	62.2点	B		
サブ指標	成人が週1回以上スポーツをする人の割合	50.9%	54.0%	59.6%	A	週1回以上スポーツをする成人の割合		41.5%	50.0%	45.5%	B		
	社会体育施設の利用者数(5年平均)	514,285人	518,000人	413,430人	B	スポーツイベントへの協力団体数		40団体	45団体	46団体	A		
	スポーツ合宿の誘致数	7件	増加している	0件	C								
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	27,083	62,507	17,616	194,064	197,024	271,802	107,904	27,769	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	210,421	267,390	227,306	299,109	254,044	274,060	260,683	300,855	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	237,504	329,897	244,922	493,173	451,068	545,862	368,587	328,624	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「スポーツ・レクリエーションの振興」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	70.3	68.8	69.2	70.3	66.5	69.4	68.3	71.6	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.90	0.89	0.89	0.90	0.87	0.89	0.88	0.91	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	66.2	63.9	65.5	65.8	65.6	65.0	61.4	62.2	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	62.2	-	-			
平均値に対する比率	1.04	1.03	1.02	1.01	1.03	1.00	1.00	0.99	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	4.1	4.9	3.7	4.5	0.9	4.4	6.9	9.4					

「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	70.3	78.2
H29	68.8	77.5
H30	69.2	77.8
R1	70.3	78.3
R2	66.5	76.4
R3	69.4	78.2
R4	68.3	78.0
R5	71.6	78.6

「スポーツ・レクリエーションの振興」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	66.2	63.6
H29	63.9	62.3
H30	65.5	64.2
R1	65.8	65.1
R2	65.6	63.7
R3	65.0	64.7
R4	61.4	61.3
R5	62.2	62.2

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	4.1
H29	4.9
H30	3.7
R1	4.5
R2	0.9
R3	4.4
R4	6.9
R5	9.4

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます		
施策	前期計画(H28～R2)	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	
	後期計画(R3～R7)	元気なまちを築く生涯スポーツの促進	
目指す将来の姿	市民一人ひとりがスポーツを通して、心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っています。		
前期取り組み方針	市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、関係団体と連携しながらスポーツ事業を展開し、時代の要請や利用者のニーズに応じたスポーツ施設の改修や整備を推進します。		
後期取り組み方針	市民が日常的にスポーツに取り組むことができるよう、関係団体と連携しながらスポーツ事業を展開し、将来を見据えて利用者のニーズに応じたスポーツ施設の改修や整備を推進します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	スポーツ振興総務費	決算額(H28～R5)	95,871千円
・横手市スポーツ賞表彰授与86名(特別表彰1名、功労賞2名、競技優秀者賞11名、栄光賞66名、奨励賞6名) ・スポーツ競技大会出場補助金75件 5,379,216円(小学生:51件2,875,514円、中高一般:24件2,503,702円) ・一般財団法人横手市スポーツ協会事業補助金 2,716,000円 ・スポーツ立市よこて10周年記念事業 ・スポーツ推進審議会の開催(3/21開催) ・スポーツ推進員及びスポーツ奨励員による横手市スポーツ事業への協力			
事業名称	市民スポーツ振興事業	決算額(H28～R5)	54,814千円
・市民スポーツフェスティバル 委託料 625,000円(17事業:延べ1,931名参加) ・第8回よこてシティーハーフマラソン 補助金 5,453,948円(9/24開催、エントリー1,023名、完走者812名) ・市民スポーツ振興事業(各地域 26事業)			
事業名称	スポーツのまちづくり事業	決算額(H28～R5)	36,109千円
・チャレンジデー2023inよこて 補助金423,000円(5/31開催、京都府福知山市vs横手市、参加率82.8%) ・ラジオ体操deチャレンジデー(12/8開催、参加者8,077人(142件)) ・楽天野球塾(9/9開催、小学生80名参加、楽天球団より2名の講師を招いた野球教室) ・各大学合宿(7/30～8/3玉川大女子バスケ部34名、8/1～8/11神大硬式野球部39名、8/11～8/23日体硬式野球部100名)※会場 市内スポーツ施設、宿泊 さくら荘、ゆとりおん大雄、雄川荘) ・秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！(10/1開催、由利本荘市開催 横手市は第3位)			
事業名称	屋外体育施設費	決算額(H28～R5)	1,530,357千円
市内にある屋外体育施設の管理運営費 ・グリーンスタジアムよこてスコアボード改修工事設計業務委託 2,453千円 ・十文字陸上競技場第3種公認更新改修工事設計業務委託 2,310千円 ・天下森スキー場ヒュッテ新築工事 機械設備工事前払い金 11,616千円 ・天下森スキー場の指定管理委託 12,540千円(期間:2023年4月～2026年3月)			
事業名称	競技スポーツパワーアップ事業	決算額(H28～R5)	58,618千円
・横手わか杉カップ全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会(7/15～7/17)8チームが出場。補助金2,010千円 ・横手わか杉カップ東日本中学バレーボール大会(11/25～26)男女16チームが出場。補助金2,858千円 ・チャンピオンズカップ横手東北中学校新人バスケットボール大会(1/13～1/14)男女16チームが出場。2,050千円 ・陸上競技クリニック(10/22)市内小・中学校陸上競技部52名参加。講師謝礼等457千円			
施策の達成状況			
1. 成果の分析 週1回以上スポーツをする成人の割合は全県の傾向と同様に年々減少し、目標値を下回った。女性の30代(54.5%)と男女とも60代～70代が他の年代に比べて高くなっている一方で、女性の20代(23.1%)、40代(27.3%)、50代(37.5%)が低くなっており、運動習慣の有無や仕事や家事による余暇時間の不足が大きな要因であると考えられる。スポーツ施設の老朽化等の要因から、施策の分野に関連する市民満足度は62.1と目標値を下回っている。スポーツイベントへの協力団体数は目標達成。			
2. 施策の有効性 スポーツをする人の割合が減少する一方で、体育施設の利用者数はコロナ禍前の水準に回復しつつある。スポーツや運動をよくする人とあまりしない人で、活動量の差が大きくなっていると推察される。オリンピックや国際大会等を契機に、スポーツや健康に対する関心が高まる中で、安全に利用できるスポーツ施設の整備や、スポーツを気軽に、多様な楽しみ方ができるようにする本施策は、交流人口増加や地域経済の活性化の観点を含めて有効である。			
3. 施策内事業の妥当性 現事業は、第7次横手市スポーツ推進計画(事業期間:令和3～7年度)に掲げる「健康」「交流」「協働」「文化」の施策に位置付けたアクションプランに概ね対応している。スポーツ施設の改修工事の進捗や第8次計画の体系を作成する中で、事業内容の整理を検討する。 令和7年度からは新横手体育館にかかる本格的な開館準備業務を予定しており、部活動の地域移行やスポーツによるまちづくりを含め、分かりやすくバランスの取れた事業構成としていきたい。			
4. 実施可能な改善内容 横手市スポーツ推進計画に掲げた施策や事業について、多様な実施主体による総合的な成果の向上を図る必要がある。市民の参画をはじめ、横手市スポーツ協会や関係団体、スポーツ推進委員会等が担う役割や連携の整理を行いながら、変化に対応できる持続可能な取り組みを目指していきたい。			

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます											
施策	前期計画(H28～R2)	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進										
	後期計画(R3～R7)	心を豊かにする生涯学習の推進										
目指す将来の姿	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。											
前期取り組み方針	多様で変化の激しい社会に対応するため、市民のライフステージに応じた学習情報提供と学習相談体制の充実に力を入れるとともに、個人の自立と絆づくり、地域づくりの取り組みを促進するため、学習機会の充実と支援を行います。芸術文化の振興のため、引き続き優れた芸術にふれる機会や体験活動を推進していきます。市民の豊かな教養と文化の向上に資するため、学校等や地域社会と連携・協力し、図書館サービスの展開と、未来に引継ぐべき郷土資料の収集に努めます。											
後期取り組み方針	市民が豊かな教養を身に付けるために、ライフステージに応じた学習機会の充実と支援を行います。また、優れた芸術にふれる機会や体験活動ができるよう将来を見据えた必要な施設の整備を推進します。											
施策実現のための主要事業等												
生涯学習推進事業					市立図書館の管理運営							
秋田大学横手分校事業					読書活動促進事業							
芸術文化推進事業					横手駅東口再開発事業における新公益施設の整備							
自主文化事業委託費					横手市民会館の建替え整備							
マンガ活用推進事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標 値(R2)	前期実績 値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標 値(R7)	後期実績 値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「生涯学習の推進」に対する市民満足度	27.2%	増加している	18.4%	B	「生涯学習の推進」に対する市民満足度		66.6点	71.5点	63.7点	B	
サブ指標	生涯学習講座・教室の参加者数	45,535人	47,000人	17,928人	C	生涯学習講座・教室の参加者数		34,048人	34,500人	27,043人	B	
	社会教育施設の利用者数	604,132人	620,000人	271,558人	C	社会体育施設の利用者数		447,143人	450,000人	479,052人	A	
	市民会館ホールの稼働率	58%	65%	21.7%	C	図書館の入館者数		219,883人	426,000人	174,036人	C	
	図書館の入館者数	228,706人	240,000人	151,415人	B	人口の占める図書館利用登録者数割合		18.8%	19.3%	17.3%	B	
	人口の占める図書館利用カード登録者数割合	15.8%	16.9%	18.2%	B	マンガを生かした特別授業参加者の満足度		—	90%	100%	A	
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成
特定財源	51,165	437,108	221,164	18,528	21,383	12,826	16,187	69,141	—	—	100%以上	
一般財源	299,972	255,335	536,317	432,030	323,817	325,993	362,266	340,290	—	—	概ね達成	
合計(決算額)	351,137	692,443	757,481	450,558	345,200	338,819	378,453	409,431	—	—	60%以上100%未満	
											C	未達成
達成度の基準(実績値/目標値)												
A 達成 100%以上												
B 概ね達成 60%以上100%未満												
C 未達成 60%未満												
まちづくりアンケート結果の推移												
「生涯学習の推進」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	69.8	69.1	68.8	70.9	68.1	70.9	71.4	71.1	—	—		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—		
平均値に対する比率	0.89	0.89	0.88	0.91	0.89	0.91	0.92	0.90	—	—		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	67.1	65.0	66.1	66.6	66.0	65.7	61.3	63.1	—	—		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—		
平均値に対する比率	1.06	1.04	1.03	1.02	1.04	1.02	1.01	1.01	—	—		
重要度と満足度の差(A-B)	2.7	4.1	2.7	4.3	2.1	5.2	9.6	7.4				

「生涯学習の推進」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	69.8	78.2
H29	69.1	77.5
H30	68.8	77.8
R1	70.9	78.3
R2	68.1	76.4
R3	70.9	78.2
R4	71.4	78.0
R5	71.1	78.6

「生涯学習の推進」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	67.1	63.6
H29	65.0	62.3
H30	66.1	64.2
R1	66.6	65.1
R2	66.0	63.7
R3	65.7	64.7
R4	61.3	61.3
R5	63.7	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	2.7
H29	4.1
H30	2.7
R1	4.3
R2	2.1
R3	5.2
R4	9.6
R5	7.4

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます		
施策	前期計画(H28～R2)	活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進	
	後期計画(R3～R7)	心を豊かにする生涯学習の推進	
目指す将来の姿	多様な生涯学習の機会が提供され、市民が「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができます。また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生を楽しんでいます。		
前期取り組み方針	多様で変化の激しい社会に対応するため、市民のライフステージに応じた学習情報提供と学習相談体制の充実に力を入れるとともに、個人の自立と絆づくり、地域づくりの取り組みを促進するため、学習機会の充実と支援を行います。芸術文化の振興のため、引き続き優れた芸術にふれる機会や体験活動を推進していきます。市民の豊かな教養と文化の向上に資するため、学校等や地域社会と連携・協力し、図書館サービスの展開と、未来に引継ぐべき郷土資料の収集に努めます。		
後期取り組み方針	市民が豊かな教養を身に付けるために、ライフステージに応じた学習機会の充実と支援を行います。また、優れた芸術にふれる機会や体験活動ができるよう将来を見据えた必要な施設の整備を推進します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	生涯学習推進事業	決算額(H28～R5)	31,856千円
学校・家庭・地域連携総合推進事業の実施①子ども教室の実施(長期休業中の子ども達に地域住民の参画による様々な体験活動の機会を提供、市内8地域14教室:夏212名、冬192名参加、事業費2,102千円)②協働活動事業(学校と地域住民をつなぐコーディネーターを市内8地区に配置、学校に派遣した地域ボランティア数233名、事業費531千円)③ジュニアリーダー育成事業(定例会5回、事業協力等5回、会員18名、35千円)④厚木市・横手市小学校交流事業(横手市開催、両市小学生39名参加、事業費498千円)			
事業名称	芸術文化推進事業費	決算額(H28～R5)	19,459千円
・市民ステージ祭、交流美術展の開催(11/11～12、29団体282名出演、出展数92作品、来場者752名)・芸術家派遣事業の実施(9/27横手南中492名)・舞台芸術等総合支援事業(旧巡回公演事業)(7/12増田小・増田中合同341名、11/14横手北小418名、10/5雄物川小364名、11/6醍醐小133名、12/12大森小168名)・青少年劇場(7/4小公演:栄小・山内小・大雄小合同332名、9/29演劇公演:旭小・吉田小・浅舞小合同642名)・公共ホール音楽活性化事業おんかつ(12/7～8アクティビティ:朝倉小・横手北中176名、12/9コンサート:かまくら館125名)・美術品収蔵庫の管理			
事業名称	図書館費	決算額(H28～R5)	598,077千円
①資料収集方針による計画的な蔵書構築(図書購入費:42,357千円、13,540冊) ②魅力的な書架構築、開架展示を工夫した ③閲覧、貸出、複写、レファレンスサービスによる図書館サービスを提供した(貸出:268,052冊、複写:2,834枚、レファレンス:2,579件) ④各種イベントの企画立案及び実施 ⑤施設の維持管理 ⑥新横手図書館オープンに伴う図書、備品、消耗品等の購入 ⑦横手図書館創立120周年並びに閉館記念イベントの実施			
事業名称	増田まんが美術館費	決算額(H28～R5)	683,576千円 ※リニューアル費用除く
・増田まんが美術館指定管理【入館者数108,053人、美術館内及び町並み連動特別企画展(8回)、マンガ原画収蔵事業(収蔵数累計182名、484,759点)】・横手市増田まんが美術館を中核とした地域資源活用地域計画に基づく事業【マンガを求心力にしたユニークベニユー事業(11/5宿泊付2名日帰り14名、11/11宿泊客8名日帰り17名)、原画アーカイブシステム更新、案内看板設置事業】・まんが美術館の情報発信【マンガ瓦版の発行(4回)、PRサポーター事業(新規登録6件・計35件)、秋田空港等へPRパネル設置】・マンガ活用推進事業【校外学習受入、横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクト(103名掲載、製本数602頁250冊)・マンガ版ビプリオバトル】			
事業名称	横手駅東口新公益施設整備事業	決算額(H28～R5)	14,728千円 ※建築費用除く
横手駅東口新公益施設運営基本計画策定支援業務委託料(市内図書館6館体制の検討含)			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
生涯学習の講座や教室は参加者が固定化する傾向にあるが、様々な世代を対象とした魅力ある企画を展開することで少しずつ参加者数は増加している。図書館に関する指標は、新施設の開館延期の影響もあったが、入館者数は増加している。マンガを生かした特別授業については満足度が高く、引き続き当市ならではの学習機会の提供に努めている。			
2. 施策の有効性			
市民一人ひとりが生涯を通じて学び続けることのできる学習環境が提供され、優れた芸術文化に親しむ機会や体験を通して、ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓いていく人づくりを実現していくため有効な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
市民の学習意欲やライフステージに応じた学習機会の充実を図り、豊かな教養を身に付け、より満足度の高い生涯学習を推進するために妥当な構成である。また、増田まんが美術館があるからこそできる特別な学びを体験し、その魅力を実感してもらえる有意義な事業である。			
4. 実施可能な改善内容			
学びの成果を地域活動の参画や社会貢献に生かす環境づくりのため、様々な機関と連携・協働を進めていく。社会教育施設等の適正な維持管理を実施し、利便性向上に努める。			

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます											
施策	前期計画(H28～R2)	よこての伝統文化の継承と再発見										
	後期計画(R3～R7)	よこての伝統文化の継承と再発見										
目指す将来の姿	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。											
前期取り組み方針	文化的資産を活かした地域づくりと観光振興を進めるため、市民とともにその把握と周知、保存活用を推進します。 地域の歴史と文化的資産の周知を通じて市民に郷土への愛着と誇りを育みます。											
後期取り組み方針	歴史的資源を生かした地域づくりを進めるため、その把握と周知、保存・活用を推進します。 地域の歴史的資源の周知を通じて市民の郷土への愛着と誇りを育みます。											
施策実現のための主要事業等												
横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づく歴史的資源の把握と地域の特性を生かした保存・活用と情報発信						資料館施設を利用した歴史的資源や地域の魅力の発信強化						
横手市歴史的風致維持向上計画に基づく周辺環境を含めた整備事業												
「横手を学ぶ郷土学」推進事業												
重要伝統的建造物群保存事業												
後三年合戦関連遺跡の調査及び保存活用事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「地域文化の振興」に対する市民満足度	19.5%	増加している	21.0%	A	「地域文化の振興」に対する市民満足度		67.5点	72.4点	65.2点	B	
サブ指標	資料館等の利用者数	8,725人	10,000人	2,613人	C	資料館等の年間利用者数		8,636人	10,000人	4,928人	C	
	シンポジウム・公開講座等年間参加者数	992人	900人	180人	C	各地の歴史文化や文化財に関するシンポジウム・公開講座等の年間参加者数		200人	500人	490人	B	
	国・県・市による指定登録文化財の数(累計)	252件	288件	271件	B	国・県・市による指定登録文化財の数(累計)		265件	275件	276件	A	
	修理修景事業の年間実施件数	6件	4件	5件	A							
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)				
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	61,189	62,249	111,395	124,875	112,904	72,403	81,094	65,580	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	56,020	40,234	42,346	61,540	58,390	64,736	88,475	77,006	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	117,209	102,483	153,741	186,415	171,294	137,139	169,569	142,586	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「地域文化の振興」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	67.1	65.5	65.9	70.4	68.1	69	69.3	69.1	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	0.86	0.85	0.85	0.90	0.89	0.88	0.89	0.88	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	67.3	64.7	66.7	67.5	67.0	66.8	64.0	65.2	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	1.06	1.04	1.04	1.04	1.05	1.03	1.04	1.03	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	-0.2	0.8	-0.8	2.9	1.1	2.2	5.3	3.9				

「地域文化の振興」に対する市民重要度

「地域文化の振興」に対する市民満足度

重要度と満足度の差(A-B)

政策2	学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます		
施策	前期計画(H28～R2)	よこての伝統文化の継承と再発見	
	後期計画(R3～R7)	よこての伝統文化の継承と再発見	
目指す将来の姿	市民が地域の歴史や文化を身近に感じ、横手に誇りを持って暮らしています。		
前期取り組み方針	文化的資産を活かした地域づくりと観光振興を進めるため、市民とともにその把握と周知、保存活用を推進します。 地域の歴史と文化的資産の周知を通じて市民に郷土への愛着と誇りを育みます。		
後期取り組み方針	歴史的資源を生かした地域づくりを進めるため、その把握と周知、保存・活用を推進します。 地域の歴史的資源の周知を通じて市民の郷土への愛着と誇りを育みます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	重要伝統的建造物群保存事業	決算額(H28～R5)	438,512千円
①修理修景事業4件4棟(高橋茶舗主屋、後藤精肉店主屋、山吉肥料店門、桐谷呉服店塀)を実施した ②重伝建選定10周年記念事業を実施した ③保存審議会及び保存地区に関する国・県担当者による現地指導を開催した			
事業名称	歴史まちづくり事業	決算額(H28～R5)	76,938千円
・「横手市歴史文化遺産保存活用地域計画」の計画期間3年目、計画に基づく114措置を実施 ・「横手市歴史的風致向上計画」の計画期間6年目、15事業を実施 ・「横手市歴史文化遺産保存活用推進協議会」を1回、「横手市歴史的風致維持向上協議会」を2回開催し、両計画の進捗評価及び協議を実施 ・旧片野家住宅のトライアル開放(6回)や歴史イベント及びかまくら会場として利用したほか、敷地内に存在する建築物1件の除却工事を実施			
事業名称	後三年合戦保存活用整備事業	決算額(H28～R5)	37,963千円
・後三年合戦沼柵公開講座 令和5年8月20日(日)雄物川コミュニティセンター 参加者130人 講師:東北学院大学大学教授竹井英文氏他3名、当課職員1名 ・後三年合戦金沢柵公開講座 令和5年12月24日(日)美郷町公民館 参加者160人 講師:江戸東京博物館学芸員齋藤慎一氏他3名、当課職員1名 ・大鳥井山遺跡の遺構・遺物再整理 成果品:遺物台帳・図面台帳・市史掲載資料などで、一部は金沢柵公開講座で紙上報告した			
事業名称	埋蔵文化財発掘調査事業	決算額(H28～R5)	318,928千円
・市内分布調査・・・県営ほ場整備事業(下吉田地区・朴田荒処地区、期間11/15～24、面積27.7ha)や開発行為に伴う試掘調査(通年)を実施し、『遺跡詳細分布調査報告書』(40頁100部)を刊行した。・後三年合戦関連遺跡調査・・・金沢城跡北の丸北東地区での発掘調査(期間8/21～11/30、面積218㎡)を実施し、『金沢城跡発掘調査報告書』(72頁200部)を刊行した。・市内本調査事業・・・県営ほ場整備に伴う蟹沢遺跡の発掘調査(期間5/1～8/10、面積2,500㎡)を実施し、前年度調査の『西小泉遺跡・樽見内古館跡・堀田 I 遺跡・浅舞一本杉遺跡発掘調査報告書』(336頁180部)を刊行した。			
事業名称	文化財普及活動費	決算額(H28～R5)	27,748千円
・資料館特別展パンフレット、ポスターを作成(雄物川郷土資料館特別展4回分作成) ・「歴史文化で学ぶ交流宣言」事業を実施(R5.9.30～10.1) ・郷土文化保存伝承事業について、標柱・説明版等の現況調査(343か所)及び文化財探訪(8回)、講話(2回)等を事業委託し実施			
施策の達成状況			
1. 成果の分析 資料館施設来館者数等にコロナ禍の影響が残ったが、シンポジウム等参加者実績は目標には届かなかったものの大きく増加し、指定文化財数では目標を上回った。今後の社会情勢を見ながら目標達成のために事業を推進していく。 今後、国の認定計画である「歴史的風致維持向上計画」や「歴史文化遺産保存活用地域計画」に基づく取り組みを推進し、市内文化財の調査・保存・活用を実施していく。			
2. 施策の有効性 国・県指定重要文化財の維持管理支援や国の史跡指定を目指す後三年合戦関連遺跡の調査の実施等は、市民にとっても地域に誇りを持つことができる文化財の活用や継承につながる事業である。 市内にある多くの文化財を調査して保存し、それを資料館施設等で展示する等により活用することは、地域にとっても有効な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性 これまで重要文化財に消防設備を設置する事業への支援や伝統的建造物群保存地区内での防災対策、無電柱化などの事業を実施してきており、今後も修理修景事業を推進していく必要がある。また、金沢柵推定地の調査を継続中であり、地域にとって特別な歴史文化遺産を調査することは有意義な事業である。 このほかにも文化財の調査、発見並びに保存・周知そして活用のための事業を行っており、それぞれ「横手の伝統文化の継承と再発見」を図るために必要な施策である。			
4. 実施可能な改善内容 少子高齢化への対応として、児童生徒の文化財に対する関心の涵養及び無形民俗文化財の後継者不足の克服を目指し、小中学生を対象とした発掘調査ワークショップの開催及び無形民俗行事のデジタル化計画に基づいた動画制作を実施した。今後も文化財保護を巡る問題への対策を実施しながら、子どもから大人まで幅広い年代の多くの方々から関心を持っていただけるような企画と内容にしていきたい。			

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます																																					
施策	前期計画(H28～R2)	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進																																				
3-1	後期計画(R3～R7)	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進																																				
目指す将来の姿	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。																																					
前期取り組み方針	交通安全や犯罪に関する意識を高める機会、消費者トラブルに関する知識を深める機会を増やすほか、各種相談窓口の周知を図ります。空家の総合的な対策を推進するため、空家の状況を適宜、調査し、より効果的な制度を構築すべく、市民や関係団体との連携を深めます。																																					
後期取り組み方針	交通安全や犯罪に関する意識を高める機会、消費者トラブルに関する知識を深める機会を増やすほか、各種相談窓口の周知を図ります。空き家の総合的な対策を推進するため、空き家の状況を適宜、調査し、より効果的な制度を構築すべく、市民や関係団体との連携を深めます。																																					
施策実現のための主要事業等																																						
交通指導隊及び防犯指導隊の活動の推進																																						
交通安全対策事業・防犯対策事業、交通安全施設整備事業																																						
よこて安全・安心メールの加入促進と配信																																						
老朽危険空き家対策事業																																						
市民相談事業(消費生活相談、無料法律相談、行政相談、人権相談等)																																						
施策の成果指標																																						
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度																											
まちづくり指標	「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度	37.3%	増加している	26.5%	B	「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度		68.4点	73.3点	67.7点	B																											
サブ指標	人口千人あたり年間交通事故死傷者数	2.58人	減少している	1.68人	A	よこて安全・安心メールの登録者数		6,027人	7,827人	7,068人	B																											
	よこて安全・安心メールの登録者数	4,491人	4,940人	6,721人	A	老朽危険空き家の数		26戸	20戸	—	—																											
	市民を対象とした犯罪発生件数	224件	175件	213件	C																																	
	老朽危険空き家の数	34棟	20棟	28棟	C																																	
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)																											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成 100%以上																											
特定財源	3,430	5,580	7,561	3,012	1,978	12,460	5,822	152,152	—	—	B 概ね達成 60%以上100%未満																											
一般財源	64,610	54,820	55,107	52,509	58,290	53,716	62,349	62,708	—	—	C 未達成 60%未満																											
合計(決算額)	68,040	60,400	62,668	55,521	60,268	66,176	68,171	214,860	—	—																												
まちづくりアンケート結果の推移																																						
「交通安全・防犯対策の推進」																																						
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																												
重要度(A)	79.9	78.1	79.9	78.6	76.2	80.1	78.0	79.4	—	—																												
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—																												
平均値に対する比率	1.02	1.01	1.03	1.00	1.00	1.02	1.00	1.01	—	—																												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																												
満足度(B)	68.7	66.4	67.7	68.4	68.1	68.7	66.0	67.7	—	—																												
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—																												
平均値に対する比率	1.08	1.07	1.05	1.05	1.07	1.06	1.08	1.07	—	—																												
重要度と満足度の差(A-B)	11.2	11.7	12.2	10.2	8.1	11.4	12.0	11.7																														
「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民重要度 <table><tr><th>年度</th><th>重要度(A)</th><th>全体の平均値</th></tr><tr><td>H28</td><td>79.9</td><td>78.2</td></tr><tr><td>H29</td><td>78.1</td><td>77.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>79.9</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R1</td><td>78.6</td><td>78.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>76.2</td><td>76.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>80.1</td><td>78.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>78.0</td><td>78.0</td></tr><tr><td>R5</td><td>79.4</td><td>78.6</td></tr></table>												年度	重要度(A)	全体の平均値	H28	79.9	78.2	H29	78.1	77.5	H30	79.9	77.8	R1	78.6	78.3	R2	76.2	76.4	R3	80.1	78.2	R4	78.0	78.0	R5	79.4	78.6
年度	重要度(A)	全体の平均値																																				
H28	79.9	78.2																																				
H29	78.1	77.5																																				
H30	79.9	77.8																																				
R1	78.6	78.3																																				
R2	76.2	76.4																																				
R3	80.1	78.2																																				
R4	78.0	78.0																																				
R5	79.4	78.6																																				
「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度 <table><tr><th>年度</th><th>満足度(B)</th><th>全体の平均値</th></tr><tr><td>H28</td><td>68.7</td><td>63.6</td></tr><tr><td>H29</td><td>66.4</td><td>62.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>67.7</td><td>64.2</td></tr><tr><td>R1</td><td>68.4</td><td>65.1</td></tr><tr><td>R2</td><td>68.1</td><td>63.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>68.7</td><td>64.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>66.0</td><td>61.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>67.7</td><td>63.1</td></tr></table>												年度	満足度(B)	全体の平均値	H28	68.7	63.6	H29	66.4	62.3	H30	67.7	64.2	R1	68.4	65.1	R2	68.1	63.7	R3	68.7	64.7	R4	66.0	61.3	R5	67.7	63.1
年度	満足度(B)	全体の平均値																																				
H28	68.7	63.6																																				
H29	66.4	62.3																																				
H30	67.7	64.2																																				
R1	68.4	65.1																																				
R2	68.1	63.7																																				
R3	68.7	64.7																																				
R4	66.0	61.3																																				
R5	67.7	63.1																																				
重要度と満足度の差(A-B) <table><tr><th>年度</th><th>差(A-B)</th></tr><tr><td>H28</td><td>11.2</td></tr><tr><td>H29</td><td>11.7</td></tr><tr><td>H30</td><td>12.2</td></tr><tr><td>R1</td><td>10.2</td></tr><tr><td>R2</td><td>8.1</td></tr><tr><td>R3</td><td>11.4</td></tr><tr><td>R4</td><td>12.0</td></tr><tr><td>R5</td><td>11.7</td></tr></table>												年度	差(A-B)	H28	11.2	H29	11.7	H30	12.2	R1	10.2	R2	8.1	R3	11.4	R4	12.0	R5	11.7									
年度	差(A-B)																																					
H28	11.2																																					
H29	11.7																																					
H30	12.2																																					
R1	10.2																																					
R2	8.1																																					
R3	11.4																																					
R4	12.0																																					
R5	11.7																																					

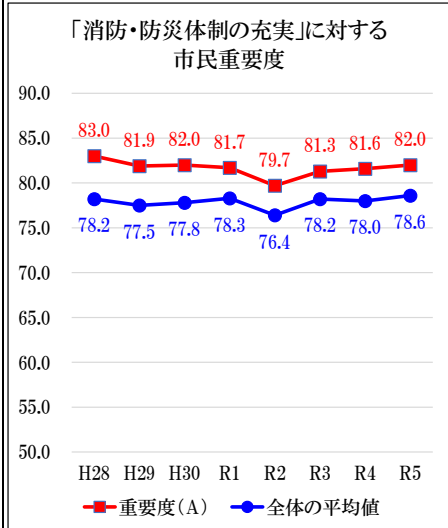
政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	
3-1	後期計画(R3～R7)	安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	
目指す将来の姿	事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送っています。必要な時には専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができます。		
前期取り組み方針	交通安全や犯罪に関する意識を高める機会、消費者トラブルに関する知識を深める機会を増やすほか、各種相談窓口の周知を図ります。空家の総合的な対策を推進するため、空家の状況を適宜、調査し、より効果的な制度を構築すべく、市民や関係団体との連携を深めます。		
後期取り組み方針	交通安全や犯罪に関する意識を高める機会、消費者トラブルに関する知識を深める機会を増やすほか、各種相談窓口の周知を図ります。空き家の総合的な対策を推進するため、空き家の状況を適宜、調査し、より効果的な制度を構築すべく、市民や関係団体との連携を深めます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	交通安全対策事業	決算額(H28～R5)	84,743千円
・横手市交通安全対策会議の書面開催 報酬5名分 30千円 ・交通死亡事故ゼロ日達成表彰(7/21大森地域5,000日、12/24平鹿地域1,000日達成) ・新入学児童に対する黄色い帽子の配付 283千円 ・交通指導員の制服購入(新規・貸与品劣化・破損による交換) 1,104千円 ・ともすけ共済の加入促進PR ・交通安全協会等の各団体へ補助金支出			
事業名称	防犯対策事業費	決算額(H28～R5)	23,730千円
・よこて安全・安心メールの配信業務委託 452千円 ・秋田県被害者支援センター負担金 200千円 ・防犯関係団体に対する補助金交付(横手市防犯協会補助金167千円、横手地区少年保護育成委員会補助金50千円、横手地区暴力追放推進委員会補助金96千円) ・防犯指導員報償費 1,372千円 ・防犯指導員の制服購入(新規・貸与品劣化・破損による交換) 109千円			
事業名称	市民相談事業	決算額(H28～R5)	57,225千円
①人権擁護に関する活動を実施。毎月2回人権相談所開設、年2回各地域で特設人権相談所開設 花の植栽・人権教室 4校839人(横手南小、吉田小、浅舞小、醍醐小) 174千円、人権擁護委員協議会負担金283千円 ②無料法律相談を実施 相談件数57件 弁護士委託料金330千円 ③消費者行政対策を実施 相談件数 新規415件 継続554件 計969件 出前講座20回 361人 ④くらしの相談総務費 総合案内対応件数23,467件 よろず相談対応件数154件 事務費3,448千円			
事業名称	特定空家等対策事業	決算額(H28～R5)	215,233千円
①空家等解体補助事業(その他空家等)33件(横手18件、増田3件、平鹿2件、雄物川3件、大森1件、十文字1件、山内3件、大雄2件) 16,497千円 ②旧ニッセイ電機廃工場の略式代執行(解体工事) 137,500千円 ③旧ニッセイ電機廃工場の略式代執行(設計監理及び工事管理委託) 2,240千円 ④特定空家等の認定 6件 ⑤特定空家等所有者への行政指導 46件 ⑥所有者不明空家等に係る緊急措置 12件(横手10件、十文字2件) 2,226千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・よこて安全・安心メールは、市民への情報伝達手段の一つとして定着しており、事案発生後、迅速に情報提供し注意喚起を促している。 ・空家等の苦情、相談等に対する対応割合は100％であり、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出している。			
2. 施策の有効性			
・交通安全対策や防犯対策、空き家対策、市民相談等は、安全・安心な市民生活の確保のため必要不可欠な事業である。			
3. 施策内事業の妥当性			
・市民の安全・安心を守るために必要な事業であり、妥当と判断される。			
4. 実施可能な改善内容			
・交通指導員や防犯指導員による活動の推進とともに、新規隊員の確保に注力する必要がある。 ・社会情勢の変化等により年々複雑化する相談内容に対応するため、最新の情報収集や啓発活動を行っていく必要がある。			

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	美しい自然環境と快適な生活環境の保全											
	後期計画(R3～R7)	美しい自然環境と快適な生活環境の保全											
目指す将来の姿	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。												
前期取り組み方針	市民や事業所及び環境関係団体と連携し、不法投棄の監視やクリーンアップ等で地域の環境美化を推進します。また、各種公害を監視し、生活環境の保全に努めます。森林や農地を適正に管理し、環境保全機能や水循環機能の維持、向上を図ります。また、下水道等への加入促進や合併浄化槽による生活排水の浄化により河川水の水質保護を図ります。さらに、定期的に河川水の水質を検査し、汚染状況の把握に努めます。												
後期取り組み方針	市民や事業所及び環境関係団体と連携し、不法投棄の監視やクリーンアップ等で地域の環境美化を推進します。各種公害を監視し、生活環境の保全に努めます。森林や農地を適正に管理し、環境保全機能や水循環機能の維持、向上を図ります。また、河川水の水質保護を図りながら、定期的に河川水の水質を検査し、汚染状況の把握に努めます。												
施策実現のための主要事業等													
環境美化推進事業(環境美化推進員の研修や市民クリーンアップなど)						緑化推進事業(アメンロ防除対策など)							
不法投棄場所の把握と監視						水と緑の森づくり事業							
公害防止対策事業						森林病害虫等防除事業(松くい虫防除など)							
河川・湧水の水質監視						西部斎場の改築							
市営墓園・市営斎場・衛生センターの整備と運営管理													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民満足度	22.6%	増加している	19.3%	B	「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民満足度		65.6点	70.5点	65.3点	B		
サブ指標	市内河川4地点のBOD環境基準値の達成率	100%	100%	100%	A	市内河川4地点のBOD環境基準値の達成率		100%	100%	100%	A		
	雪中のpH値	pH5.0	改善している	pH5.5	C	自動車騒音の環境基準達成率		94.8%	98.0%	94.8%	B		
	自動車騒音の環境基準達成率	97.8%	98.0%	94.8%	B	墓地整備率		85.9%	87.0%	86.91%	B		
	「こどもエコクラブ」登録団体の数	0団体	5団体	5団体	A								
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	157,753	147,950	127,125	122,476	187,614	154,527	230,310	696,642	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	174,501	169,841	180,504	195,619	181,622	203,164	244,922	270,163	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	332,254	317,791	307,629	318,095	369,236	357,691	475,232	966,805	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「自然・歴史的環境の保全と活用」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	79.7	77.9	78.6	79.1	77.0	78.7	79.3	79.1	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.02	1.01	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	65.3	63.8	65.6	65.6	64.5	65.8	62.2	65.3	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	1.02	1.01	1.03	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	14.4	14.1	13.0	13.5	12.5	12.9	17.1	13.8					
「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民重要度 「自然・歴史的環境の保全と活用」に対する市民満足度 重要度と満足度の差(A-B)													

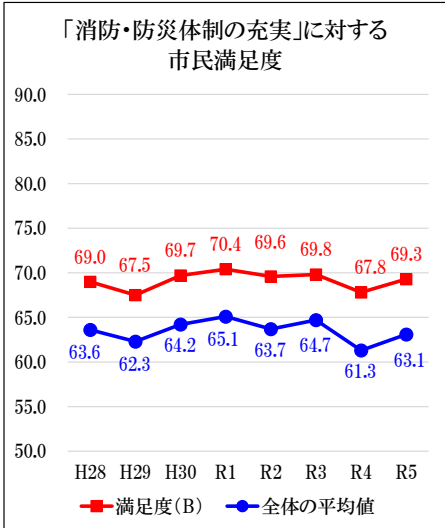
政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます			
施策 3-2	前期計画(H28～R2)	美しい自然環境と快適な生活環境の保全		
	後期計画(R3～R7)	美しい自然環境と快適な生活環境の保全		
目指す将来の姿	水と緑と人が共生し、多様な生態系が保全され希少な生物が生息しています。まちの美観は損なわれることなく、豊かな自然環境が市民にやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できます。			
前期取り組み方針	市民や事業所及び環境関係団体と連携し、不法投棄の監視やクリーンアップ等で地域の環境美化を推進します。また、各種公害を監視し、生活環境の保全に努めます。森林や農地を適正に管理し、環境保全機能や水循環機能の維持、向上を図ります。また、下水道等への加入促進や合併浄化槽による生活排水の浄化により河川水の水質保護を図ります。さらに、定期的に河川水の水質を検査し、汚染状況の把握に努めます。			
後期取り組み方針	市民や事業所及び環境関係団体と連携し、不法投棄の監視やクリーンアップ等で地域の環境美化を推進します。各種公害を監視し、生活環境の保全に努めます。森林や農地を適正に管理し、環境保全機能や水循環機能の維持、向上を図ります。また、河川水の水質保護を図りながら、定期的に河川水の水質を検査し、汚染状況の把握に努めます。			
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)				
事業名称	畜場施設費		決算額(H28～R5)	533,345千円
畜場の運営管理と炉関係の予防保全修繕・工事を実施 畜場運営経費 東部、南部、西部 59,128千円 畜場炉関係工事費 東部、南部 13,030千円				
事業名称	有害鳥獣対策事業		決算額(H28～R5)	21,323千円
・横手市鳥獣被害対策実施隊の隊員への報酬 2,442千円 檻による捕獲活動(61件)、口頭許可による捕獲活動(7件) ・イノシシ及び二ホンジカ捕獲報奨金 50千円 イノシシ3頭、二ホンジカ0頭 ・横手市連合猟友会の運営費の補助金 1,625千円 ・狩猟免許等取得支援事業補助金(6件) 264千円				
事業名称	水と緑の森づくり事業		決算額(H28～R5)	297,271千円
・マツ林・ナラ林等景観向上事業 景観や安全に支障のある枯れたマツ・ナラの伐採(15,807千円) マツ364.80㎡、ナラ420.00㎡ ・緩衝帯等整備事業 下刈り、除伐等による野生動物の出没抑制(8,699千円) 山内いこいの森30.51ha				
事業名称	畜場施設整備事業		決算額(H28～R5)	676,649千円
・設計監理(2年目) 2,640,000円 ・工事監理(2年目) 5,016,000円 ・建築工事(2年目) 560,984,800円 ・解体設計 379,500円 ・什器等備品購入他 4,318,446円				
事業名称	墓園整備費		決算額(H28～R5)	20,495千円
・十文字墓園墓域造成費 規制墓地11区画 4,651千円 ・返還墓地カロート交換				
施策の達成状況				
1. 成果の分析				
指標において市の取り組みだけでは達成できない項目はあるものの、一定の成果が出ている。				
2. 施策の有効性				
市民ニーズの高い分野であり、必要不可欠な施策である。				
3. 施策内事業の妥当性				
事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。				
4. 実施可能な改善内容				
循環型社会形成推進地域計画と横手衛生センター長寿命化総合計画をもとに、横手衛生センター基幹的設備改良事業実施に向け準備を進め、雄物川衛生センターの閉鎖を計画的に進める。				

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	災害に強いまちづくりの推進										
	後期計画(R3～R7)	災害に強いまちづくりの推進										
目指す将来の姿	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。											
前期取り組み方針	災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視します。なお、災害に対しては「自らの命は自ら守る行動(自助)」と「身近な地域コミュニティによる助け合い(共助)」が非常に大切なことから市民への啓蒙や支援に努め、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の措置(公助)」の総合力で対応していきます。											
後期取り組み方針	災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視します。なお、災害に対しては「自らの命は自ら守る行動(自助)」と「身近な地域コミュニティによる助け合い(共助)」が非常に大切なことから市民への啓蒙に努めながら、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の措置(公助)」の総合力で対応していきます。											
施策実現のための主要事業等												
常備消防施設等整備事業						災害対策費						
非常備消防経費						急傾斜地崩壊対策事業						
常備消防経費												
消防施設整備事業												
救急医療体制整備事業(公共施設へのAED設置)												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値(H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値(R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度	32.6%	増加している	30.6%	B	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度		70.4点	75.2点	69.3点	B	
サブ指標	耐震性貯水槽の設置数(累計)	76か所	99か所	97か所	B	耐震性貯水槽の設置数(累計)		93か所	112か所	103か所	B	
	普通救命講習の修了者養成数(累計)	37,860人	49,000人	45,958人	B	普通救命講習の修了者養成数(累計)		45,431人	58,000人	47,586人	B	
	消防団協力事業所の数	55事業所	59事業所	62事業所	A	消防団協力事業所の数		60事業所	64事業所	62事業所	B	
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成
特定財源	116,310	220,433	695,888	882,460	363,816	226,122	197,587	189,895	-	-	100%以上	
一般財源	300,151	406,560	478,597	456,585	382,999	327,517	374,966	384,172	-	-	60%以上100%未満	
合計(決算額)	416,461	626,993	1,174,485	1,339,045	746,815	553,639	572,553	574,067	-	-	60%未満	
まちづくりアンケート結果の推移												
「消防・防災体制の充実」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	83.0	81.9	82.0	81.7	79.7	81.3	81.6	82.0	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	1.06	1.06	1.05	1.04	1.04	1.04	1.05	1.04	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	69.0	67.5	69.7	70.4	69.6	69.8	67.8	69.3	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	1.08	1.08	1.09	1.08	1.09	1.08	1.11	1.10	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	14.0	14.4	12.3	11.3	10.1	11.5	13.8	12.7				

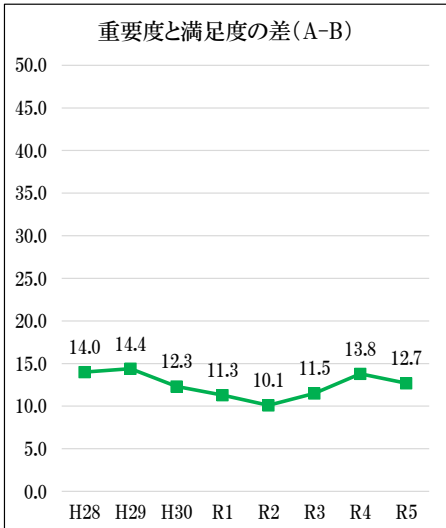
「消防・防災体制の充実」に対する市民重要度



「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度



重要度と満足度の差(A-B)



政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	災害に強いまちづくりの推進	
	後期計画(R3～R7)	災害に強いまちづくりの推進	
目指す将来の姿	消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいます。		
前期取り組み方針	災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とし、たとえば被災したとしても人命が失われないことを最重視します。なお、災害に対しては「自らの命は自ら守る行動(自助)」と「身近な地域コミュニティによる助け合い(共助)」が非常に大切なことから市民への啓蒙や支援に努め、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の措置(公助)」の総合力で対応していきます。		
後期取り組み方針	災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とし、たとえば被災したとしても人命が失われないことを最重視します。なお、災害に対しては「自らの命は自ら守る行動(自助)」と「身近な地域コミュニティによる助け合い(共助)」が非常に大切なことから市民への啓蒙に努めながら、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の措置(公助)」の総合力で対応していきます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	常備消防経費	決算額(H28～R5)	881,948千円
消防車両、庁舎、指令システム等の保守管理、被服及び装備品貸与、消防学校等での教育、救急救命士養成等、消防業務に係る経常経費 ・指令センター保守管理業務委託 ・防火装備更新60着 ・防火長靴更新60足 ・活動服更新42着 ・教育研修 県消防学校26人、消防大学校1人、惨事ストレス研修1人 ・救急救命士養成1人			
事業名称	常備消防施設等整備事業	決算額(H28～R5)	960,132千円
・山内分署高規格救急自動車更新1台 ・高度救命用資器材購入 ・災害情報自動案内システム構築業務委託 ・車両動態端末装置AVM移設業務委託1台 ・補助訓練塔仮設足場掛替え工事及び工事設計、工事監理業務委託1塔 ・災害対応ドローン購入1機 ・高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システム実施設計業務委託			
事業名称	非常備消防経費	決算額(H28～R5)	1,128,012千円
・消防団活動(災害・警戒出動、訓練等)、行事(各種大会、研修等)の実施 ・消防団長報酬 ・物品購入費、消防協会負担金等 ・非常備消防団員等公務災害補償負担金			
事業名称	消防施設整備事業	決算額(H28～R5)	597,936千円
・耐震性貯水槽40㎡型(二次製品)設置2基 ・防火貯水槽撤去2基(内1基は耐震性貯水槽) ・小型動力消防ポンプ付軽積載車購入6台 ・小型動力消防ポンプ購入1台 ・自動車ポンプ置場新築1棟 ・消防ポンプ置場新築2棟 ・ホース乾燥柱移設1本 ・耐震性貯水槽測量設計委託1基			
事業名称	災害対策費	決算額(H28～R5)	225,906千円
・災害対策経費(衛星・防災携帯等通信費、部品修繕、防災訓練費、事務費など) ・防災用システムの維持管理(Jアラート、FM緊急割込装置、防災行政無線などの維持管理) ・防災備蓄品の整備(飲食物品・簡易ベッド等購入、マットレスクリーニング) ・自主防災リーダーの育成(防災士資格取得の支援) ・防災ラジオの購入(500台) ・災害支援の実施(7月大雨、能登半島地震で被災した自治体への支援)			
施策の達成状況			
1. 成果の分析 救命講習会等の開催状況はコロナ前の水準に戻りつつあり、普通救命講習修了者数も前年より増加したものの目標値までには至らなかった。また、消防団協力事業所の数も横ばいで推移していることから、消防団活動の理解が得られるよう事業所へのPR強化が必要である。一方、耐震性を満たす消防水利の整備等、ハード面における事業は着実に進んでいる。			
2. 施策の有効性 全国的に頻発化及び激甚化する自然災害に対し、ソフト・ハード両面における予防対策と発災時の迅速かつ適切な対応への必要性はますます高まっている。また、高齢化の進展に伴う救急需要の増加は今後も続くものと見込まれ、市民が行う応急手当の普及啓発事業を継続していく必要がある。			
3. 施策内事業の妥当性 ハード面における設備や器具等の整備、ソフト面での避難行動要支援者対策、住民の防災意識高揚、知識の習得に向けた研修や災害対応訓練などは平時から取り組まなければならない施策である。また、常備消防力の強化や消防団活動の充実等も安全安心な暮らしに欠かせない施策である。			
4. 実施可能な改善内容 各事業において改善を図りながら継続する。 多様な媒体による防災情報の発信を受け、適切な避難行動へとつながれるよう市民の防災意識の啓発に積極的に取り組み、あわせて市民が行う応急手当の重要性を広く周知していく。			

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます										
施策	前期計画(H28～R2)	循環型社会の一層の推進									
	後期計画(R3～R7)	循環型社会の一層の推進									
目指す将来の姿	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。										
前期取り組み方針	統一分別ルールの周知浸透を図り、環境負荷の低い地域社会の実現を目指します。 生ごみのたい肥化や資源集団回収活動を推奨し、循環型社会の確立を目指します。										
後期取り組み方針	統一分別ルールの周知浸透を図り、環境負荷の低い地域社会の実現を目指します。 生ごみのたい肥化や資源集団回収活動を推奨し、循環型社会の確立を目指します。										
施策実現のための主要事業等											
クリーンプラザよこて費											
ごみ収集費											
3R(リデュース・リユース・リサイクル)の啓発と推進											
地域資源循環施設費											
施策の成果指標											
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度	33.3%	増加している	33.5%	B	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度		71.4点	76.1点	71.5点	B
サブ指標	ごみの総排出量	32,662t	28,877t	29,540t	B	ごみの総排出量		31,169t	26,331t	26,723t	B
	市民1人/1日当たりのごみの排出量	940g	915g	933g	C	市民1人/1日当たりのごみの排出量		953g	890g	891g	B
	ごみの資源化率	15.8%	19.8%	19.1%	B	ごみの資源化率		20.8%	24.0%	19.1%	B
	エコライフ協力団体の数	80団体	90団体	90団体	A						
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成 100%以上
特定財源	324,491	310,159	379,715	981,526	635,624	292,932	321,141	424,967	-	-	B 概ね達成 60%以上100%未満
一般財源	700,782	580,302	557,089	627,561	621,893	804,521	635,069	774,576	-	-	C 未達成 60%未満
合計(決算額)	1,025,273	890,461	936,804	1,609,087	1,257,517	1,097,453	956,210	1,199,543	-	-	
まちづくりアンケート結果の推移											
「環境保全政策の充実」											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
重要度(A)	80.6	79.9	80.7	81.5	79.3	80.9	80.6	81.0	-	-	
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-	
平均値に対する比率	1.03	1.03	1.04	1.04	1.04	1.03	1.03	1.03	-	-	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
満足度(B)	70.4	68.2	70.7	71.4	69.2	71.0	70.1	71.5	-	-	
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-	
平均値に対する比率	1.11	1.09	1.10	1.10	1.09	1.10	1.14	1.13	-	-	
重要度と満足度の差(A-B)	10.2	11.7	10.0	10.1	10.1	9.9	10.5	9.5			

「環境保全政策の充実」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	80.6	78.2
H29	79.9	77.5
H30	80.7	77.8
R1	81.5	78.3
R2	79.3	76.4
R3	80.9	78.2
R4	80.6	78.0
R5	81.0	78.6

—■— 重要度(A) —●— 全体の平均値

「環境保全政策の充実」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	70.4	63.6
H29	68.2	62.3
H30	70.7	64.2
R1	71.4	65.1
R2	69.2	63.7
R3	71.0	64.7
R4	70.1	61.3
R5	71.5	63.1

—■— 満足度(B) —●— 全体の平均値

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	10.2
H29	11.7
H30	10.0
R1	10.1
R2	10.1
R3	9.9
R4	10.5
R5	9.5

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	循環型社会の一層の推進	
3-4	後期計画(R3～R7)	循環型社会の一層の推進	
目指す将来の姿	市民一人ひとりが「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現しています。		
前期取り組み方針	統一分別ルールの周知浸透を図り、環境負荷の低い地域社会の実現を目指します。 生ごみのたい肥化や資源集団回収活動を推奨し、循環型社会の確立を目指します。		
後期取り組み方針	統一分別ルールの周知浸透を図り、環境負荷の低い地域社会の実現を目指します。 生ごみのたい肥化や資源集団回収活動を推奨し、循環型社会の確立を目指します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	ごみ収集費	決算額(H28～R5)	3,034,491千円
①ごみ収集事業(市内集積所及び公共施設からの収集運搬の委託費) 307,793千円 ②ごみ袋作製事業(指定ごみ袋作製委託72,129千円、ごみ袋販売委託6,241千円、保管配送委託費3,924千円) ③ごみ分別アプリ保守委託料396千円 ④ごみ集積所整備及び生ごみ処理容器補助事業(各種補助金)1,995千円・42件 ⑤集団資源回収活動事業奨励金1,475千円・105件 ⑥PCB廃棄物等処理費1,865千円			
事業名称	クリーンプラザよこて費	決算額(H28～R5)	3,135,610千円
①周辺環境測定事業(大気質、水質、土壌、低質調査の検査委託料)2,299千円 ②リサイクル事業(各種品目の処理委託料)12,145千円 ③環境保全事業(委員の報酬)42千円 ④運営維持管理事業(運営維持管理業務委託料)395,098千円 ⑤資源化業務事業(資源化業務委託料)49,743千円			
事業名称	ペットボトル等処理センター整備事業	決算額(H28～R5)	208,419千円
・ペットボトル等処理施設ストックヤード建設 実施設計業務490千円 設計監理業務550千円 工事監理業務660千円 建設工事135,186千円 ・車庫建設 実施設計業務468千円 設計監理業務275千円 工事監理業務330千円 建設工事29,434千円 ・旧ペットボトル処理センター アスベスト調査分析業務699千円 解体工事設計、設計監理業務479千円 解体工事12,462千円 ・ペットボトル等処理施設整備工事発注支援業務委託6,930千円 ・減容器移設改修工事11,495千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
ごみの排出量は、家の片づけごみの持ち込みが増えた時期もあったが、現在は以前に戻りつつある。また、コロナウイルス感染症の影響に伴う飲食店の閉鎖や、社会情勢の変化に伴う不況により、事業系一般廃棄物の持ち込みが減っていることもあり、全体的に見るとごみの排出量は減りつつある。指標の目標は達成しており、成果は上がっていると判断しているものの、ごみの排出量は情勢の変化に伴い増加することもあることから、今後もこれまでと同様に取り組んでいく必要がある。			
2. 施策の有効性			
循環型社会を実現するためには必要不可欠であり、市民ニーズの高い施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。			
4. 実施可能な改善内容			
ごみの分別のほか、減量化や資源化を市民に意識し行動してもらえよう、出前講座などを開催し周知に努める。「プラスチック資源循環法(廃プラ新法)」へ対応するため、循環型社会形成推進地域計画とペットボトル等処理センター施設基本計画に基づき、施設の建設や機器の更新整備で機能強化を図るため、令和9年度稼働を目指し事業に着手する。			

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)		エネルギーの地産地消の推進										
3-5	後期計画(R3～R7)		地球温暖化対策の推進										
目指す将来の姿	地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されています。												
前期取り組み方針	市の公共施設での省エネルギー活動の推進と施設への再生可能エネルギーの導入を促進し、率先して温室効果ガスの排出削減に努めます。また、市民や事業所に対し、省エネルギー活動の啓発と再生可能エネルギーの導入支援を通じて地球温暖化防止活動と呼び掛けます。												
後期取り組み方針	公共施設での省エネルギー活動の推進と施設への再生可能エネルギー利用を継続します。『クリーンプラザよこて』等で発電したグリーン電力を公共施設に導入することにより、エネルギーの地産地消を率先して温室効果ガスの排出削減に努めます。また、市民や事業所に対しては、地球温暖化対策の推進を促す啓発を行います。												
施策実現のための主要事業等													
市の事業における率先行動の実践（公共施設への再生可能エネルギー導入促進事業）													
クールビズやウォームビズ等の啓発と家庭や事業所への取り組み支援													
カーボンオフセット地球温暖化対策事業													
施策の成果指標													
成果指標（前期）			現状値 (H27直近値)	前期目標値 (R2)	前期実績値 (R2)	達成度	成果指標（後期）			現状値 (R1直近値)	後期目標値 (R7)	後期実績値 (R5)	達成度
まちづくり指標		横手市の二酸化炭素排出量	800,000t	減少している		—	「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度			67.3点	72.2点	66.3%	B
サブ指標	市公共施設の再生可能エネルギー発電導容量		2,295kW	2,345kW	1,870kW	B	市公共施設の再生可能エネルギー（地中熱利用）設備導入箇所数			2か所	4か所	-	—
	市公共施設の温室効果ガス排出量		26,802t	24,122t	—	—	市公共施設の温室効果ガス排出量			15,821t	15,700t	16,662t	B
	グリーン電力の地産地消率		—	8,410MWh/年	8,995MWh/年	A	電力の地産地消率			63.0%	64.0%	74.1%	A
決算額の推移（単位：千円）											達成度の基準（実績値/目標値）		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	295,163	11,700	0	0	0	0	0	0	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	32,557	3,748	10,759	1,292	1,673	458	1,406	1,434	-	-	C	未達成	60%未満
合計（決算額）	327,720	15,448	10,759	1,292	1,673	458	1,406	1,434	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「地球温暖化防止活動の推進」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	75.2	74.7	75.5	76.6	74.9	76.8	75.7	74.7	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.96	0.96	0.97	0.98	0.98	0.98	0.97	0.95	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	64.5	67.2	65.2	67	67.3	67.0	63.8	66.3	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	1.01	1.08	1.02	1.03	1.06	1.04	1.04	1.05	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	10.7	7.5	10.3	9.6	7.6	9.8	11.9	8.4					

「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	75.2	78.2
H29	74.7	77.5
H30	75.5	77.8
R1	76.6	78.3
R2	74.9	76.4
R3	76.8	78.2
R4	75.7	78.0
R5	74.7	78.6

「地球温暖化防止活動の推進」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	64.5	63.6
H29	67.2	62.3
H30	65.2	64.2
R1	67	65.1
R2	67.3	63.7
R3	67.0	64.7
R4	63.8	61.3
R5	66.3	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	10.7
H29	7.5
H30	10.3
R1	9.6
R2	7.6
R3	9.8
R4	11.9
R5	8.4

政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます			
施策 3-5	前期計画(H28～R2)	エネルギーの地産地消の推進		
	後期計画(R3～R7)	地球温暖化対策の推進		
目指す将来の姿	地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されています。			
前期取り組み方針	市の公共施設での省エネルギー活動の推進と施設への再生可能エネルギーの導入を促進し、率先して温室効果ガスの排出削減に努めます。また、市民や事業所に対し、省エネルギー活動の啓発と再生可能エネルギーの導入支援を通じて地球温暖化防止活動と呼び掛けます。			
後期取り組み方針	公共施設での省エネルギー活動の推進と施設への再生可能エネルギー利用を継続します。「クリーンプラザよこて」等で発電したグリーン電力を公共施設に導入することにより、エネルギーの地産地消を率先して温室効果ガスの排出削減に努めます。また、市民や事業所に対しては、地球温暖化対策の推進を促す啓発を行います。			
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)				
事業名称	地球温暖化対策事業		決算額(H28～R5)	8,988千円
①地球温暖化対策実行計画(事務事業編)推進事業 エネルギー管理講習(新規)受講料18,000円 ②再生可能エネルギーまたは省エネルギーの設備等の導入促進事業 交付件数6件 交付額1,200,000円 ③COOLCHOICE事業				
事業名称	カーボンオフセット地球温暖化対策事業		決算額(H28～R5)	2,079千円
横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会を通じ、所有する横手J-クレジットを販売。併せて販路拡大にも取り組む				
事業名称			決算額(H28～R5)	
事業名称			決算額(H28～R5)	
事業名称			決算額(H28～R5)	
施策の達成状況				
1. 成果の分析				
指標における実績は概ね目標を達成している。長期的な取り組みにより、その効果・結果が表れるものである。				
2. 施策の有効性				
豊かで美しい自然環境を守るとともに、SDGsの目標や地球温暖化防止への取り組みとして有効な施策である。				
3. 施策内事業の妥当性				
世界規模での対策が取りざたされているなか、当市の事業については今後さらなる工夫が必要である。				
4. 実施可能な改善内容				
世界情勢の変化などにより、電気料の値上がりが今後も継続していくことが予測されることから、再生可能エネルギー設備導入への補助事業が注視され、今後も見直しを行いながら社会ニーズに合った補助対象事業を検討していく。				

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります											
施策	前期計画(H28～R2)	魅力ある農林業の振興										
	後期計画(R3～R7)	魅力ある農林業の振興										
目指す将来の姿	農業の担い手が育ち、地域内で農業を営む仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。											
前期取り組み方針	将来の横手市農業を支える担い手の確保、育成を図るとともに、生産基盤の整備を進め、農家の経営基盤を強化し、地域の特性を生かした作物や特産品の生産拡大に努めることで、地域農業の活性化を目指します。また、農業・農村の維持に向けて、農地や森林の地域資源を最大限に活用し、保全・管理を進めます。											
後期取り組み方針	将来の横手市農業を支える担い手の確保・育成や生産基盤の整備を進め、農業経営の基盤強化を図り、地域の特性を生かした収益性の高い作物の生産や付加価値の高い加工品の創出に努めることで、地域農業の活性化を図り全国に誇れる複合産地を目指します。また、農業・農村の維持に向けて、農地や森林の地域資源を最大限に活用しながら保全・管理に努めます。											
施策実現のための主要事業等												
就農支援事業(農業次世代人材投資事業など)						産地づくり事業						
農業経営支援事業						農業生産基盤整備事業						
よこて農業創生大学事業						多面的機能支払交付金事業・中山間地域等直接支払交付金事業						
作物振興事業						造林事業						
6次産業化応援事業						森林経営管理事業(森林環境譲与税活用事業)						
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「農林業の振興」に対する市民満足度	17.6%	増加している	11.1%	B	「農林業の振興」に対する市民満足度		64.0点	68.9点	62.3点	B	
サブ指標	新規就農者数(年間)	30人	30人	35人	B	新規就農者数(年間)		43人	30人	48人	A	
	農業産出額	251億円	257億円	296億円	A	農業産出額		未確定	320億円	274億円	B	
	農業法人数	93法人	100法人	123法人	A	農業法人数		113法人	130法人	130法人	A	
	担い手への農地集積率	81.0%	85.0%	82.55%	B	担い手への農地集積率		75.2%	85.0%	84.93%	B	
	ほ場整備率(30a以上)	88.8%	93.8%	96.1%	A	ほ場整備率(30a以上)		95.0%	97.6%	97.8%	A	
	6次産業化に向けた商品開発等への取り組み数(年間)	9件	15件	9件	B	横手市6次産業化支援施設を活用した取り組み件数(年間)		10件	150件	333件	A	
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)				
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	1,992,612	2,309,523	2,718,964	2,780,187	2,085,199	3,552,007	2,169,127	2,199,761	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	536,306	981,047	683,096	631,010	641,420	1,069,274	845,489	800,223	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	2,528,918	3,290,570	3,402,060	3,411,197	2,726,619	4,621,281	3,014,616	2,999,984	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「農林業の振興」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	78.8	78.0	78.5	79.7	76.9	78.7	78.8	79.1	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	1.01	1.01	1.01	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	62.2	61.9	63.8	64.0	63.3	64.0	60.3	62.3	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	0.98	0.99	0.99	0.98	0.99	0.99	0.98	0.99	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	16.6	16.1	14.7	15.7	13.6	14.7	18.5	16.8				

「農林業の振興」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	78.8	78.2
H29	78.0	77.5
H30	78.5	77.8
R1	79.7	78.3
R2	76.9	76.4
R3	78.7	78.2
R4	78.8	78.0
R5	79.1	78.6

重要度(A) 全体の平均値

「農林業の振興」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	62.2	63.6
H29	61.9	62.3
H30	63.8	64.2
R1	64.0	65.1
R2	63.3	63.7
R3	64.0	64.7
R4	60.3	61.3
R5	62.3	63.1

満足度(B) 全体の平均値

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	16.6
H29	16.1
H30	14.7
R1	15.7
R2	13.6
R3	14.7
R4	18.5
R5	16.8

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります		
施策	前期計画(H28～R2)	魅力ある農林業の振興	
4-1	後期計画(R3～R7)	魅力ある農林業の振興	
目指す将来の姿	農業の担い手が育ち、地域内で農業を営む仕組みができつつあります。また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加しています。		
前期取り組み方針	将来の横手市農業を支える担い手の確保、育成を図るとともに、生産基盤の整備を進め、農家の経営基盤を強化し、地域の特性を生かした作物や特産品の生産拡大に努めることで、地域農業の活性化を目指します。また、農業・農村の維持に向けて、農地や森林の地域資源を最大限に活用し、保全・管理を進めます。		
後期取り組み方針	将来の横手市農業を支える担い手の確保・育成や生産基盤の整備を進め、農業経営の基盤強化を図り、地域の特性を生かした収益性の高い作物の生産や付加価値の高い加工品の創出に努めることで、地域農業の活性化を図り全国に誇れる複合産地を目指します。また、農業・農村の維持に向けて、農地や森林の地域資源を最大限に活用しながら保全・管理に努めます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	農業経営支援事業	決算額(H28～R5)	5,216,653千円
①農地中間管理事業に係る協力金や補助金の交付(地域集積3地域・経営転換14件) ②人・農地プランに位置付けられた中心経営体等への機械・施設等の導入支援(3件) ③農業者等への融資あっせんの実施(マル農新規借入121件 385,570千円) ④収入保険の加入推進(継続307人、新規40人、計347人) ⑤中山間地域における営農継続支援(条件整備8件、借受7件・借受面積177a) ⑥農業法人の育成・活性化支援(6件)ほか			
	作物振興事業	決算額(H28～R5)	3,564,141千円
・夢ある園芸産地創造事業(16件、補助金29,544千円) ・高収益作物導入推進事業(61件、補助金23,182千円) ・園芸作物規模拡大強化事業(19件、補助金4,969千円) ・輸出農産物販売促進事業(旅費291千円・負担金32千円) ・化学肥料低減機械等導入支援事業(3件、補助金6,136千円) ・農作物等被害被害防止対策事業(42件、補助金2,043千円)			
事業名称	就農支援事業	決算額(H28～R5)	513,403千円
・農業研修生に対する研修奨励金の交付(フロンティア研修生2名、地域で学べ研修生5名) ・新規就農者に対する経営確立のための資金交付(農業次世代人材投資事業19名、経営開始資金10名) ・新規就農者や青年農業者、高校生に対する各種研修等の実施(経営力向上研修25名、高校生研修講話等17回) ・農業人材の確保に向けた取組みの実施(就農相談会出張1回、就農・労働力確保に向けた検討会2回) ・ホップ作業機械・施設等の修繕費用への一部助成(25件)			
事業名称	横手農業ブランド創造事業	決算額(H28～R5)	104,870千円
・食と農からのまちづくりホームページ・ブログの運用、横手食農推進PRラジオ番組制作(年間12番組、24放送)、中央卸売市場でのプロモーション活動の実施 ・6次産業化セミナーの開催(8～2月に計16回、受講者延べ73名)、6次産業化推進支援事業補助金の交付(3件、1,001千円)、6次産業施設整備支援事業補助金の交付(16件、13,469千円) ・地域特産品PR(山内地域課)わらび園整備事業、山内ニンジンやいぶりがっこのイベント支援など ・首都圏での地元農産物のPR販売(十文字地域課)			
事業名称	よこて農業創生大学事業	決算額(H28～R5)	1,279,278千円
【園芸振興拠点センター費27,509千円】①園芸振興拠点センターの適切な管理運営を実施 ②園芸振興推進会議の実施等によりアクションプランを推進 ③センターの認知度向上等に向け食農フェスタを開催 【農業経営者等育成事業7,043千円】①農業技術研修生を9名受入れ担い手の育成を図った ②園芸の取組に関する普及啓発のため市民向け野菜講習会等を実施 【園芸作物栽培実証3,026千円】アスパラガスの施設高畝栽培の実施圃展示や廃菌床入りスーパーコン施用の栽培比較試験など、各種栽培実証試験 【横手市農業持続的発展事業4,046千円】①持続可能なホップ生産推進事業を実施 ②スマート農業理解促進事業を実施			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・農業産出額はコロナ禍以前のレベルまではまだ戻っていないものの、県内では野菜、果実が1位、米、畜産が2位などトータルで9年連続の1位となった。特に果樹は雪害からの復興の取り組みによりほぼ被害前の生産額まで回復している。指標はおおむね目標を達成し順調に推移している。 ・従前からの複合農業の推進施策や就農支援のほか、農業用施設や果樹への雪害復旧支援、小規模農家や中山間地域での営農継続支援などの各種事業の成果が表れているものと判断している。			
2. 施策の有効性			
・大雪被害や資材価格高騰などの影響を受けながらも作付面積は大きく減少せずに営農が継続されている。 ・園芸振興拠点センターを核とした就農支援事業の充実や、県などと連携した経営支援、法人化支援の取り組みにより、将来を担う農業者の育成と確保が図られ、県内一の新規就農者を維持している。 ・大規模圃場や水利施設の整備などの生産基盤整備を推進するとともに、JAなどの関係機関と連携したアクションプランの実行により、高収益作物の振興と複合化の推進による農業所得の向上が図られている。			
3. 施策内事業の妥当性			
・第二次農業振興計画に基づく「多様な経営体の育成」「生産基盤の強化」「地域特性を生かした農業の推進」「ブランド化と産地づくりの推進」「農林業・農村の多面的機能の発揮」の5つの視点からの事業であり、適切な事業構成となっている。 ・指標目標に対する実績はおおむね順調に推移しているが、今後も気象災害や社会情勢による農業経営への影響等を考慮し、事業構成や方向性について適宜検証を行い、見直しを図る必要がある。			
4. 実施可能な改善内容			
・複合農業産地の更なる推進に向けて、社会情勢の変化などを的確に捉えながら県やJA等の関係団体との連携の下、各種支援事業の適宜見直しを図っていく。 ・担い手の確保・育成、労働力確保とともに、作業の効率化や高品質化、労働力確保を支援する事業の充実を図る。また、農業の新たな価値創造、所得確保に向けた6次産業化推進の取り組みへの支援を強化する。 ・森林環境の適正化や森林資源の利活用に向けて、森林環境譲与税の有効活用にも努める。			

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります												
施策	前期計画(H28～R2)	活気ある商業の振興											
	後期計画(R3～R7)	活気ある商業の振興											
目指す将来の姿	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。												
前期取り組み方針	中小商業・サービス業について、個々の事業者の経営強化や商店街等の魅力向上をめざす活動を支援します。また、空き店舗の利活用を促進し、商店街の活性化と地域に根ざした商業の振興に努めます。さらに、横手市創業支援事業計画に基づき、市内商工団体等と連携し地域における創業者を支援することで、開業率の向上を目指し、雇用の確保・地域の活性化を目指します。												
後期取り組み方針	中小商業・サービス業について、個々の事業者の経営強化や商店街等の魅力向上をめざす活動を支援します。また、空き店舗の利活用を促進し、市街地の活性化と地域に根ざした商業の振興に努めます。さらに、横手市創業支援事業計画に基づき、市内商工団体等と連携し地域における創業者を支援することで、開業率の向上を目指し、雇用の確保・地域の活性化を目指します。												
施策実現のための主要事業等													
地域商業活性化事業													
空き店舗利活用支援事業													
起業・創業支援事業													
商工団体連携地域活性化事業													
金融対策事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)			現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)			現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「商業の振興」に対する市民満足度		16.4%	増加している	11.1%	B	「商業の振興」に対する市民満足度		61.0点	66.0点	55.5点	B	
サブ指標	市内事業所数(卸業・小売業)		1,236	1,037	1,325	A	市内事業所数(卸業・小売業)		1,325事業所	1,249事業所	1,325事業所	A	
	起業・創業支援事業等活用による起業家数		5件	8件	11件	A	起業・創業支援事業等活用による起業家数		13件	15件	12件	B	
	商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数		19件	25件	3件	C	商い賑わい創出事業・空き店舗利活用事業の年間活用数		10件	25件	8件	C	
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	702,457	702,055	701,916	701,614	1,366,901	999,071	1,111,745	841,638	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	217,292	214,625	216,978	205,474	174,083	253,379	105,602	119,817	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	919,749	916,680	918,894	907,088	1,540,984	1,252,450	1,217,347	961,455	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「商業の振興」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	77.5	76.4	76.7	77.7	75.6	77.7	78.3	78.7	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	0.99	1.00	1.00	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	57.4	57.6	60.0	61.0	59.5	61.2	55.1	55.5	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.90	0.92	0.93	0.94	0.93	0.95	0.90	0.88	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	20.1	18.8	16.7	16.7	16.1	16.5	23.2	23.2					
「商業の振興」に対する市民重要度 「商業の振興」に対する市民満足度 重要度と満足度の差(A-B)													

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります		
施策	前期計画(H28～R2)	活気ある商業の振興	
4-2	後期計画(R3～R7)	活気ある商業の振興	
目指す将来の姿	地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっています。		
前期取り組み方針	中小商業・サービス業について、個々の事業者の経営強化や商店街等の魅力向上をめざす活動を支援します。また、空き店舗の利活用を促進し、商店街の活性化と地域に根ざした商業の振興に努めます。・さらに、横手市創業支援事業計画に基づき、市内商工団体等と連携し地域における創業者を支援することで、開業率の向上を目指し、雇用の確保・地域の活性化を目指します。		
後期取り組み方針	中小商業・サービス業について、個々の事業者の経営強化や商店街等の魅力向上をめざす活動を支援します。また、空き店舗の利活用を促進し、市街地の活性化と地域に根ざした商業の振興に努めます。さらに、横手市創業支援事業計画に基づき、市内商工団体等と連携し地域における創業者を支援することで、開業率の向上を目指し、雇用の確保・地域の活性化を目指します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	商工総務事務費	決算額(H28～R5)	11,644千円
①各種団体(ジェトロ秋田貿易情報センター等)補助金交付 ②(増田地域、平鹿地域、雄物川地域、山内地域)商工振興事業に係る総務費 ③(十文字地域)十文字地域観光マップ印刷に係る経費 ④横手市商工業振興計画改定のための地域経済分析委託			
事業名称	金融対策費	決算額(H28～R5)	6,618,669千円
・マル横資金預託金(700,000千円) ・マル横資金保証料補給負担金(一般28,970,855円、小口6,989,719円、創業1,325,728円) ・マル横資金利子補給補助金(上期465件 9,363,438円、下期517件 10,539,356円) ・県経営安定資金新型コロナウイルス感染症対策枠保証料補給負担金(4,388,794円) ・県経営安定資金危機対策枠・危機対策特別枠4年目以降利子補給金(上期410件 5,492,310円、下期1,163件 62,562,490円)			
事業名称	起業・創業支援事業	決算額(H28～R5)	156,515千円
①ワンストップ相談事業(相談件数117件、フォローアップ12件) ②起業・創業支援事業補助金(12件採択、5,881千円) ③ビジネス支援セミナー事業(創業機運醸成セミナー等35回・275人)、ハンズオン支援事業(経験共有型成長支援セミナー3回、伴走型経営支援3名) ④Bizサポートよこての運営費 R6年3月末パーソナルオフィスの入居者 4事業者(うちサテライトオフィス利用企業2事業者) シェアオフィスの入居者 1事業者			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・コロナ禍の影響も起因してか、市民満足度は依然として低い状態であった。 ・コロナ禍が明け、徐々に回復傾向となり、起業者数も安定傾向となった。 ・空き店舗利活用事業は、例年通り一定程度の活用実績となった。			
2. 施策の有効性			
・現状に即した商業振興事業の取組が重要であったことから、事業所等の経営安定策の実施や地域経済活性化のための支援策強化を行った。			
3. 施策内事業の妥当性			
・コロナ禍が明け、更なる地域経済回復のため、商工団体や金融機関等関係団体との連携を密にしながら事業を推進することができた。			
4. 実施可能な改善内容			
・経常的な事務経費などの縮小を図りながら、事業の統廃合を検討する。 ・市商工業振興計画にそって着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行い推進する。 ・きめ細かな起業支援を行いながら、起業後の支援(伴走型)事業に重点を置き、活気ある商業の振興を図る。			

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります											
施策	前期計画(H28～R2)	活力ある工業の振興										
	後期計画(R3～R7)	活力ある工業の振興										
目指す将来の姿	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。											
前期取り組み方針	産学官金連携により、専門的な立場からサポートを行い、魅力と活力ある企業集積地の構築と、起業・創業支援に取り組み、持続的な産業振興を図ります。競争力の高い企業育成のため、技術の高付加価値化を推進し、新製品、新技術の開発を支援することにより、地域産業の活性化と雇用創出に取り組みます。											
後期取り組み方針	産学官金連携により、専門的な立場からサポートを行い、魅力と活力ある企業集積地の構築と、起業・創業支援に取り組み、持続的な産業振興を図ります。競争力の高い企業育成のため、企業の生産性の向上と高付加価値化を推進し、新製品、新技術の開発を支援することにより、地域産業の活性化と雇用創出に取り組みます。											
施策実現のための主要事業等												
企業振興・企業立地促進事業												
IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業												
地域ビジネス発掘調査事業												
中小企業活性化支援事業												
各種工業団体支援事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「工業の振興」に対する市民満足度	11.9%	増加している	12.0%	B	「工業の振興」に対する市民満足度		62.0点	66.9点	59.3点	B	
サブ指標	市内の事業所数(製造業)	203	158	183	A	市内の事業所数(製造業)		188事業所	181事業所	未確定	—	
	工業製品出荷額	1,305億円	1,424億円	1,271億円	B	製造品出荷額等		1,435億円	1,765億円	未確定	—	
	ものづくり支援関連事業の年間活用数	3件	2件	—	—							
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)				
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成
特定財源	70,340	26,496	69,924	70,482	77,586	7,274	5,376	2,255	-	-	100%以上	
一般財源	113,832	177,069	98,762	254,261	120,471	99,546	284,716	77,202	-	-	60%以上100%未満	
合計(決算額)	184,172	203,565	168,686	324,743	198,057	106,820	290,092	79,457	-	-	60%未満	
まちづくりアンケート結果の推移												
「工業の振興」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	78.9	78.6	78.1	78.5	76.9	77.7	77.6	79.0	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	1.01	1.01	1.00	1.00	1.01	0.99	0.99	1.01	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	58.4	58.8	61.5	62.0	60.7	63.2	57.7	59.3	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	0.92	0.94	0.96	0.95	0.95	0.98	0.94	0.94	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	20.5	19.8	16.6	16.5	16.2	14.5	19.9	19.7				

「工業の振興」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	78.9	78.2
H29	78.6	77.5
H30	78.1	77.8
R1	78.5	78.3
R2	76.9	76.4
R3	77.7	78.2
R4	77.6	78.0
R5	79.0	78.6

「工業の振興」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	58.4	63.6
H29	58.8	62.3
H30	61.5	64.2
R1	62.0	65.1
R2	60.7	63.7
R3	63.2	64.7
R4	57.7	61.3
R5	59.3	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	20.5
H29	19.8
H30	16.6
R1	16.5
R2	16.2
R3	14.5
R4	19.9
R5	19.7

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります		
施策	前期計画(H28～R2)	活力ある工業の振興	
4-3	後期計画(R3～R7)	活力ある工業の振興	
目指す将来の姿	起業者から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化しています。市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っています。		
前期取り組み方針	産学官金連携により、専門的な立場からサポートを行い、魅力と活力ある企業集積地の構築と、起業・創業支援に取り組み、持続的な産業振興を図ります。競争力の高い企業育成のため、技術の高付加価値化を推進し、新製品、新技術の開発を支援することにより、地域産業の活性化と雇用創出に取り組みます。		
後期取り組み方針	産学官金連携により、専門的な立場からサポートを行い、魅力と活力ある企業集積地の構築と、起業・創業支援に取り組み、持続的な産業振興を図ります。競争力の高い企業育成のため、企業の生産性の向上と高付加価値化を推進し、新製品、新技術の開発を支援することにより、地域産業の活性化と雇用創出に取り組みます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	工業振興費	決算額(H28～R5)	847,995千円
①工業振興に関する各種団体(5団体)への助成 ②条例指定企業への各種奨励金交付 ・雇用奨励金11社 13,500千円 ・雪対策奨励金16社 21,302千円 ・環境整備推進奨励金0社 ・用地取得助成金2社 16,119千円 合計50,921千円			
事業名称	新製品・新技術開発支援事業	決算額(H28～R5)	82,180千円
①企業支援アドバイザーと東北大学との連携による起業支援訪問延べ件数50件 ②産学連携の取り組み強化による市内事業者の課題解決支援 実績なし			
事業名称	中小企業活性化支援事業	決算額(H28～R5)	84,058千円
①中小企業者が行う生産性向上や事業拡大目的の設備投資費用への助成 17件 18,603千円 ②従業員の資格取得等経費を負担している市内企業への助成 19社27件 2,144千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・まちづくりアンケートによる結果から、重要度に対し依然として満足度が低い状態である。 ・市内事業所数(製造業)は増加傾向であるが、製造品出荷額等については目標値に届かなかった。			
2. 施策の有効性			
・市内事業者が抱える課題解決に向けた支援と生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策を積極的に展開することができた。(横手市企業振興条例に基づく各種支援や企業支援アドバイザーによる技術指導等)			
3. 施策内事業の妥当性			
・輸送用機械器具製造業をはじめとする製造業や、ITソフトウェア関連産業は市内総生産額や雇用規模が大きく、本市経済のけん引役産業であることから、更なる成長を促進する支援が必要。			
4. 実施可能な改善内容			
・生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策の展開が必要。 ・国、県等の助成制度や各種セミナーの開催など、有益な情報の積極的な提供が必要。 ・企業支援アドバイザーや大学等との連携による商品開発や取引先マッチングなど伴走型深堀支援が必要。			

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります											
施策	前期計画(H28～R2)	観光・物産資源の発掘と発信										
4-4	後期計画(R3～R7)	観光・物産資源の発掘と発信										
目指す将来の姿	国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信が行われ、おもてなしの心が市民一人ひとりに根差しています。観光・物産施策による経済効果で雇用が生まれ、所得も上がり市民生活が潤っています。											
前期取り組み方針	魅力ある地域資源の発掘とそれらを活かした国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信や誘客を推進します。											
後期取り組み方針	魅力ある地域資源の発掘とそれらを生かした国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信や誘客を推進します。											
施策実現のための主要事業等												
観光誘客推進事業												
よこて観光地域づくり推進事業												
応援人口拡大事業												
横手産品販路拡大事業												
観光施設等の運営												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「観光の振興」に対する市民満足度	26.6%	増加している	13.0%	C	「観光の振興」に対する市民満足度		61.8点	66.7点	58.8点	B	
サブ指標	「新たな地域産業の振興」に対する市民満足度	17.6%	増加している	11.1%	B	市内の年間のべ宿泊者数		248千人	265千人	228千人	B	
	市内の年間延べ宿泊客数	234千人	265千人	165千人	B	市内の年間観光入込客数		3,666千人	4,000千人	2,854千人	B	
	市内の年間観光入込客数	3,798千人	4,000千人	2,731千人	B	よこてfun通信読者数		9,388人	13,000人	11,538人	B	
	観光施設(公共施設)の利用者数	2,560千人	2,650千人	1,767千人	B							
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	28,135	25,047	219,094	100,840	119,512	169,953	55,919	15,085	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	615,642	552,971	387,128	559,833	451,455	518,013	503,512	471,456	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	643,777	578,018	606,222	660,673	570,967	687,966	559,431	486,541	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「観光の振興」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	77.7	77.7	77.3	77.7	75.6	78.4	77.8	78.1	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	0.99	1.00	0.99	0.99	0.99	1.00	1.00	0.99	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	60.2	58.9	62.1	61.8	61.1	62.2	58.6	58.8	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	0.95	0.95	0.97	0.95	0.96	0.96	0.96	0.93	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	17.5	18.8	15.2	15.9	14.5	16.2	19.2	19.3				

「観光の振興」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	77.7	78.2
H29	77.7	77.5
H30	77.3	77.8
R1	77.7	78.3
R2	75.6	76.4
R3	78.4	78.2
R4	77.8	78.0
R5	78.1	78.6

「観光の振興」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	60.2	63.6
H29	58.9	62.3
H30	62.1	64.2
R1	61.8	65.1
R2	61.1	63.7
R3	62.2	64.7
R4	58.6	61.3
R5	58.8	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	17.5
H29	18.8
H30	15.2
R1	15.9
R2	14.5
R3	16.2
R4	19.2
R5	19.3

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります		
施策	前期計画(H28～R2)	観光・物産資源の発掘と発信	
	後期計画(R3～R7)	観光・物産資源の発掘と発信	
目指す将来の姿	国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信が行われ、おもてなしの心が市民一人ひとりに根差しています。観光・物産施策による経済効果で雇用が生まれ、所得も上がり市民生活が潤っています。		
前期取り組み方針	魅力ある地域資源の発掘とそれらを活かした国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信や誘客を推進します。		
後期取り組み方針	魅力ある地域資源の発掘とそれらを生かした国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信や誘客を推進します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	横手産品販路拡大事業	決算額(H28～R5)	63,232千円
・首都圏・仙台圏の小売店舗における販促・PR活動の実施 ・首都圏バイヤーや卸業者への商品提案や商談機会創出による横手産品の販路拡大支援 ・外食産業への横手産食材の提案、横手産食材使用メニュー開発と提供 ・マカオ向け継続取引のための輸出支援 ・新規販路開拓としてマレーシアを訪問し現地関係者との商談の実施 ・販売促進のためのスキルアップセミナーの開催			
事業名称	観光誘客推進事業	決算額(H28～R5)	269,024千円
・各種パンフレット増刷、商談会やキャンペーンによる各種PRを実施。 ・関東・関西圏に向けた横手の冬まつりPR(6箇所)の実施 ・台湾大同大学との交流事業、繁体字ガイドブック作成、多言語ホームページによる情報発信等を実施 ・地域通訳案内士の育成 ・公衆無線LANの運用、観光デジタルサイネージの運用 ・大阪関西万博開催に向けた事業実施			
事業名称	応援人口拡大事業	決算額(H28～R5)	88,936千円
・市の情報や首都圏で開催のイベント情報、ふるさと会情報を掲載し、横手市を身近に感じてもらえる交流情報紙よこてfun通信を年4回(6・9・12・3)発行。定期読者数はR5.2末11,043人からR6.2末11,538人に増加した ・市外への転出者や市内高校3年生へのチラシ配布、SNS発信等、新規読者獲得に向けた取り組みを行った ・横手応援拠点と連携したPR(トルよこてin東京など)の実施、サンプル送付事業の実施(取引1件成立) ・横手応援拠点の登録推進(R5.3末11事業者からR6.3末18事業者へ増加)及び候補店舗情報収集を実施した			
事業名称	よこて観光地域づくり推進事業	決算額(H28～R5)	31,424千円
(一社)横手市観光推進機構への事業費補助 1,240千円 ①横手エキスポ推進事業 ②横手駅前賑わい創出事業			
事業名称	横手の物産活性化事業	決算額(H28～R5)	21,293千円
・横手市物産品のPRとして、昨年度に引き続き東京の武蔵小山商店街を会場にしたほか、仙台駅東西自由通路を会場にトルよこてを開催した(売上:東京2,466,800円、仙台1,512,051円) ・横手市物産団体連絡協議会をはじめとした市内事業者へ各種物産展の紹介 ・友好都市である那珂市、厚木市をはじめ、県内外で行われる物販を伴うイベントに市内事業者と共に参加し、物産活性化に努めた(売上:17,067,325円)			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・新型コロナウイルス感染症が5類に移行、消費行動も回復する中において、コロナ前並みの宿泊客数の確保、イベントの通常開催を行った。コロナ禍での継続策も含め、官民が連携してきた成果と捉えている。 ・物産展等の復活、応援拠点登録店も順調に増加するなど、対面でのファン獲得の基盤を整備することができ、物産振興はもとより、横手市の顧客獲得とパイプ確保に成果を上げている。			
2. 施策の有効性			
・「対外的なまちの顔」＝横手らしさを表現していくためにも、地域の民俗行事やイベントは非常に重要な存在である。次の世代も活用できるよう、観光まちづくりの視点で持続可能な形を探っていく必要がある。 ・「横手産品を買っていただく」ことは、その先の「訪れてみたい」「応援したい」「住んでみたい」につながる横手への入口となる。魅力を存分に伝え、お客様の心をつなぎとめることが重要となる。			
3. 施策内事業の妥当性			
・地域資源を活用し、地域と地域経済の活性化につなげるための事業であり、適切な事業構成となっている。なお、観光や物産事業を取り巻く消費環境が刻々と変化しているため、情報収集を行いながら市内団体、企業との一層の連携が必要である。			
4. 実施可能な改善内容			
・データ収集・分析により、市内関連団体、企業とともに戦略を共有、第3次観光振興計画の具現化を目指していく。 ・東北全体に言えることであるが、インバウンド客層の取り込みに注力する必要がある。 ・観光客、消費者の情報収集ツールがスマホであることへの各種対応。			

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります												
施策	前期計画(H28～R2)	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策											
4-5	後期計画(R3～R7)	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策											
目指す将来の姿	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。												
前期取り組み方針	横手市内に雇用の場を創出するため、秋田県や地元企業等と連携しながら新規企業を誘致するとともに、既存立地企業の事業拡大を目指します。特に若者の地元定着のため、多様な職場の確保と雇用環境の整備に向けた取り組みを一層強化します。												
後期取り組み方針	横手市内に雇用の場を創出するため、秋田県や地元企業等と連携しながら新規企業を誘致するとともに、既存立地企業の事業拡大を目指します。特に若者の地元定着のため、多様な職場の確保と働き方改革の推進に取り組みます。												
施策実現のための主要事業等													
企業誘致対策事業						就職面接会の開催、内職相談の実施							
産業誘致対策事業						勤労者福祉施設(サンサン横手等)の管理							
IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業													
起業・創業支援事業													
若年者等人材育成・地元定着支援事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	操業中の誘致企業数	55社	60社	57社	B	「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度		57.6点	62.5点	56.2点	B		
サブ指標	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職希望者率	57.0%	65.0%	59.2%	B	操業中の誘致企業数		58社	63社	59社	B		
	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職内定率	97.0%	100.0%	100.0%	A	横手管内新卒者(高卒者)の県内就職希望者率		61.3%	65.0%	64.3%	B		
						横手管内新卒者(高卒者)の県内就職内定率		100%	100%	100%	A		
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	336,688	81,328	80,766	106,791	115,217	188,782	78,271	77,212	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	64,191	59,689	56,828	60,119	64,387	80,219	131,901	338,439	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	400,879	141,017	137,594	166,910	179,604	269,001	210,172	415,651	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「企業誘致の推進と雇用対策」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	85.3	84.2	83.7	83.1	82.9	82.8	81.5	83.0	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.09	1.09	1.08	1.06	1.09	1.06	1.04	1.06	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	52.5	52.7	56.6	57.6	55.4	58.5	54.5	56.2	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.83	0.85	0.88	0.88	0.87	0.90	0.89	0.89	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	32.8	31.5	27.1	25.5	27.5	24.3	27.0	26.8	-	-			

「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	85.3	78.2
H29	84.2	77.5
H30	83.7	77.8
R1	83.1	78.3
R2	82.9	76.4
R3	82.8	78.2
R4	81.5	78.0
R5	83.0	78.6

「企業誘致の推進と雇用対策」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	52.5	63.6
H29	52.7	62.3
H30	56.6	64.2
R1	57.6	65.1
R2	55.4	63.7
R3	58.5	64.7
R4	54.5	61.3
R5	56.2	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	32.8
H29	31.5
H30	27.1
R1	25.5
R2	27.5
R3	24.3
R4	27.0
R5	26.8

政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります		
施策	前期計画(H28～R2)	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	
	後期計画(R3～R7)	企業誘致の推進、企業留置と雇用対策	
目指す将来の姿	企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍しています。		
前期取り組み方針	横手市内に雇用の場を創出するため、秋田県や地元企業等と連携しながら新規企業を誘致するとともに、既存立地企業の事業拡大を目指します。特に若者の地元定着のため、多様な職場の確保と雇用環境の整備に向けた取り組みを一層強化します。		
後期取り組み方針	横手市内に雇用の場を創出するため、秋田県や地元企業等と連携しながら新規企業を誘致するとともに、既存立地企業の事業拡大を目指します。特に若者の地元定着のため、多様な職場の確保と働き方改革の推進に取り組みます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	若年者等人財育成・地元定着支援事業	決算額(H28～R5)	51,592千円
①ジョブナビサイトの運営(サイト公開事業者数:2,144件、閲覧ユーザー数:延べ56,106人) ②横手市内企業でインターンシップを実施した学生への補助金(26件 802,000円) ③県内大学等へインターンシップ開拓訪問2校、東北圏(岩手・青森)の大学等へインターンシップ開拓訪問6校			
事業名称	企業誘致対策費	決算額(H28～R5)	23,977千円
・企業訪問 訪問企業数110社、企業訪問延べ248件実施、市内外企業へ訪問し情報収集や立地環境の紹介を実施 ・3社誘致認定(内、工場増改築及び事業拡大による誘致認定1社、市外より横手市に移転、事業拡大による誘致認定1社) ・秋田県企業誘致推進協議会事業へ参加し横手市の紹介と企業との意見交換を行った ・横手第二工業団地に進出する企業でサテライトオフィスに入居した2社に補助金を交付 ・首都圏、東海圏、関西圏のIT企業等、約900社へのサテライトオフィスマーケティング調査を実施			
事業名称	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	決算額(H28～R5)	149,950千円
・事業の紹介や説明、新規の問合せ企業へ訪問 ・既存認定企業3社に補助金を交付			
事業名称	工業団地整備事業	決算額(H28～R5)	309,112千円
・関係機関との協議 ・用地買収及び物件移転補償 ・各種業務委託(水理検討及び実施設計業務委託、管渠実施設計業務委託、耐震性貯水槽設計業務委託) ・文化財詳細分布調査(試掘調査) ・許認可申請業務(農地転用許可、開発行為許可)			
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・少子高齢化により新規高卒者数も年々減少してきている状況下、県内就職者数(率)も減少となった。 ・企業立地の進行により働く場が増加傾向にあり、大学生等の市内就職にも期待している。 ・横手第二工業団地への企業誘致が進み、誘致企業数の総数としては増となった。			
2. 施策の有効性			
・雇用の場の確保は進んでいるものの、働き手となる労働人口の確保対策を再検討する必要がある。 ・企業誘致や既存企業を支援することで、若者に選んでもらえる職場を創出することが重要である。 ・新たに誘致した企業と市内企業との連携した事業展開が期待できる。			
3. 施策内事業の妥当性			
・人口減少、少子高齢化による生産年齢人口減少社会において、若者の地元定着に結びつけるためには魅力アップのため、更なるPRや事業展開が必要。			
4. 実施可能な改善内容			
・インターンシップ活動への支援については、進学が多い大学等に絞った積極的な活用促進による地元回帰を目指すことが重要。 ・若者等の地元定着のため、県やハローワーク、商工団体等関係者と更なる連携が必要。 ・市内で今後操業予定にある県外企業のPRに力を入れ、スムーズに操業開始できるよう企業が求めるスキルを持った人材の確保をサポートしていく。			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	雪国の快適な暮らしの実現											
	後期計画(R3～R7)	雪国の快適な暮らしの実現											
目指す将来の姿	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働により安全で快適な生活環境が実現されています。												
前期取り組み方針	雪対策については限られた財源の中で効率を重視するとともに、総合雪対策基本計画に基づき市民の安全で快適な冬季間のくらしを実現するための各種施策を展開します。また、市民との協働の視点に留意し、行政のみでは解決できない課題の解決に取り組みます。												
後期取り組み方針	雪対策については限られた財源の中で効率を重視するとともに、総合雪対策基本計画に基づき市民の安全で快適な冬期間のくらしを実現するための各種施策を展開します。また、市民との協働の視点に留意し、行政のみでは解決できない課題の解決に取り組みます。												
施策実現のための主要事業等													
道路等の除雪費						木造住宅耐震改修等事業							
雪よせや落雪などに関する雪国の生活マナーの啓発						町内会等除雪活動団体への支援							
除雪機械購入(計画的な更新)													
克雪施設(流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等)の適正な管理													
雪国よこて安全安心住宅普及促進事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「市の雪対策(道路除排雪事業)」に対する市民満足度	22.3%	増加している	14.9%	B	「市の雪対策(道路除排雪事業)」に対する市民満足度		60.5点	65.3点	60.2点	B		
サブ指標	道路除雪に関する1早朝出動日あたりの苦情件数	3件	0件	13.29件	C	道路除雪に関する早朝出動日あたりの苦情件数		6.83件	0件	10.4件	C		
	除雪活動団体の数	325団体	345団体	301団体	B	除雪活動団体数(補助金交付団体数)		300団体	300団体	296団体	B		
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	78,119	332,619	164,090	225,101	628,880	639,831	589,455	150,622	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	1,103,147	1,653,551	1,430,130	870,964	2,342,566	2,279,070	1,918,257	1,569,943	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	1,181,266	1,986,170	1,594,220	1,096,065	2,971,446	2,918,901	2,507,712	1,720,565	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「雪対策の充実」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	88.2	89.9	89.4	87.9	90.6	90.8	90.7	90.1	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.13	1.16	1.15	1.12	1.19	1.16	1.16	1.15	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	58.1	55.3	57.8	60.5	54.4	56.8	54.1	60.2	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.91	0.89	0.90	0.93	0.85	0.88	0.88	0.95	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	30.1	34.6	31.6	27.4	36.2	34.0	36.6	29.9					

「雪対策の充実」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	88.2	78.2
H29	89.9	77.5
H30	89.4	77.8
R1	87.9	78.3
R2	90.6	76.4
R3	90.8	78.2
R4	90.7	78.0
R5	90.1	78.6

「雪対策の充実」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	58.1	63.6
H29	55.3	62.3
H30	57.8	64.2
R1	60.5	65.1
R2	54.4	63.7
R3	56.8	64.7
R4	54.1	61.3
R5	60.2	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	30.1
H29	34.6
H30	31.6
R1	27.4
R2	36.2
R3	34.0
R4	36.6
R5	29.9

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	雪国の快適な暮らしの実現	
	後期計画(R3～R7)	雪国の快適な暮らしの実現	
目指す将来の姿	道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働により安全で快適な生活環境が実現されています。		
前期取り組み方針	雪対策については限られた財源の中で効率を重視するとともに、総合雪対策基本計画に基づき市民の安全で快適な冬季間の暮らしを実現するための各種施策を展開します。また、市民との協働の視点に留意し、行政のみでは解決できない課題の解決に取り組みます。		
後期取り組み方針	雪対策については限られた財源の中で効率を重視するとともに、総合雪対策基本計画に基づき市民の安全で快適な冬期間の暮らしを実現するための各種施策を展開します。また、市民との協働の視点に留意し、行政のみでは解決できない課題の解決に取り組みます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	道路等除雪費	決算額(H28～R5)	13,399,123千円
・除雪総務費(除雪出動に関するシステム経費・除雪講習会負担金、除雪管理システム運用経費等)2,610千円(システム更新・保守・賃借料ほか) ・道路等除排雪費(直営道路除排雪に係る会計年度任用職員人件費・燃料費・借上料、除雪業者委託費等)1,214,108千円 ・雪捨て対策費(除雪専用雪捨て場3地域(横手、十文字、山内))57,784千円			
事業名称	除雪機械購入費	決算額(H28～R5)	1,119,936千円
・除雪機械購入費 105,986千円 計6台 除雪ドーザ11t級(SAブラウ)1台(大森) 除雪ドーザ14t級(マルチブラウ)1台(増田) 除雪ドーザ5t級(SAブラウ)1台(十文字) 小型ロータリ除雪車1.3m級(1.5m)1台(横手) 除雪ドーザ5t級(SAブラウ)【R4緑越】1台(横手) 除雪ドーザ5t級(アングリングブラウ)【R4緑越】1台(山内)			
事業名称	克雪施設(流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等)管理費	決算額(H28～R5)	762,603千円
・道路交通確保のための克雪施設(流雪溝・消雪パイプ等)の維持管理・更新 克雪施設管理費 93,015千円 横手地域:44,056千円 増田地域:1,418千円 平鹿地域:7,467千円 雄物川地域:1,056千円 大森地域:3,667千円 十文字地域:26,046千円 山内地域:6,054千円 大雄地域:3,251千円			
事業名称	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業	決算額(H28～R5)	177,995千円
雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 ・安全で快適な住宅の普及を促進するため、住宅の改修工事に係る費用の一部を補助			
事業名称	雪捨て場用地取得事業	決算額(H28～R5)	277,368千円
雪捨て場用地取得事業(大沢字山下地区、前郷字元山地区)に係る契約印紙代、分筆登記手数料、測量設計業務委託料、工事請負費、土地購入費を支出 ・消耗品費47,000円「収入印紙代」、手数料103,180円「分筆登記手数料」、委託料462,000円「測量設計業務委託料」、工事請負費60,318,500円「前郷字元山地区」69,386,900円「大沢字山下地区」、土地購入費80,844,900円「大沢字山下地区39筆20名」			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・例年と比較し雪は少なかったが、計画的に除排雪作業を実施し、概ね目標を達成した。			
2. 施策の有効性			
・冬期間における歩行者や車両等の安全な通行を確保するとともに、住民の快適な生活環境を実現するために有効な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
・市民生活と産業を支える道路交通の確保と安全安心な雪国の暮らしの支援のため、必要不可欠な事業であると考える。			
4. 実施可能な改善内容			
「総合雪対策基本計画」のアクションプログラムを着実に実現していく。			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます																																																																																		
施策	前期計画(H28～R2)	快適な移動空間の実現																																																																																	
	後期計画(R3～R7)	快適な移動空間の実現																																																																																	
目指す将来の姿	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。																																																																																		
前期取り組み方針	道路・橋梁などのインフラ資産については、安全な交通を確保するためにも定期点検を実施し施設の状況把握を行いながら適正な維持修繕や施設の更新を計画的に実施します。今後到来する厳しい財政状況においても維持修繕に重点を置きながらも新規道路整備やスマートインターチェンジなどの交通体系整備を計画的に実施します。																																																																																		
後期取り組み方針	道路・橋梁などのインフラ資産については、安全な交通を確保するためにも定期点検を実施し施設の状況把握を行いながら適正な維持修繕や施設の更新を計画的に実施します。今後到来する厳しい財政状況においても維持修繕に重点を置きながらも必要な道路整備やスマートインターチェンジなどの交通体系整備を計画的に実施します。																																																																																		
施策実現のための主要事業等																																																																																			
道路や橋りょうの維持管理																																																																																			
街路灯・防犯等管理費																																																																																			
道路新設改良事業																																																																																			
道路メンテナンス補助事業(橋梁の維持補修整備と定期点検(義務))																																																																																			
街路事業(八幡根岸線)																																																																																			
施策の成果指標																																																																																			
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度																																																																								
まちづくり指標	「道路網の整備」に対する市民満足度	25.8%	増加している	17.8%	B	「道路網の整備」に対する市民満足度		63.5点	68.4点	62.3点	B																																																																								
サブ指標	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数	6件	0件	6件	C	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数		5件	0件	3件	C																																																																								
	1日あたりの横手北スマートインターチェンジ利用台数	—	970台	730台	B	横手インターチェンジ及び横手北スマートインターチェンジの1日あたりの平均利用台数		6,280台	6,470台	5,918台	B																																																																								
	道路改良率(幹線市道)	97.66%	97.76%	97.75%	B	幹線市道路面状況調査の実施率		0%	100%	77.73%	B																																																																								
	橋りょう点検の実施率	0%	100%	46.24%	C																																																																														
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)																																																																											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成 100%以上																																																																								
特定財源	1,194,647	972,843	920,520	1,238,050	749,806	776,244	978,036	1,150,047	—	—	B 概ね達成 60%以上100%未満																																																																								
一般財源	430,544	737,756	704,283	680,933	525,029	521,568	526,651	653,253	—	—	C 未達成 60%未満																																																																								
合計(決算額)	1,625,191	1,710,599	1,624,803	1,918,983	1,274,835	1,297,812	1,504,687	1,803,300	—	—																																																																									
まちづくりアンケート結果の推移																																																																																			
「道路網の整備」																																																																																			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																																																																									
重要度(A)	78.7	78.7	78.6	78.8	77.5	79.7	79.2	79.3	—	—																																																																									
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—																																																																									
平均値に対する比率	1.01	1.02	1.01	1.01	1.01	1.02	1.02	1.01	—	—																																																																									
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																																																																									
満足度(B)	62.3	59.9	62.3	63.5	61.1	61.8	58.0	62.3	—	—																																																																									
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—																																																																									
平均値に対する比率	0.98	0.96	0.97	0.98	0.96	0.95	0.99	—	—	—																																																																									
重要度と満足度の差(A-B)	16.4	18.8	16.3	15.3	16.4	17.9	21.2	17.0																																																																											
「道路網の整備」に対する市民重要度 <table><tr><th>年度</th><th>重要度(A)</th><th>全体の平均値</th></tr><tr><td>H28</td><td>78.7</td><td>78.2</td></tr><tr><td>H29</td><td>78.7</td><td>77.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>78.6</td><td>77.8</td></tr><tr><td>R1</td><td>78.8</td><td>78.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>77.5</td><td>76.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>79.7</td><td>78.2</td></tr><tr><td>R4</td><td>79.2</td><td>78.0</td></tr><tr><td>R5</td><td>79.3</td><td>78.6</td></tr></table> 「道路網の整備」に対する市民満足度 <table><tr><th>年度</th><th>満足度(B)</th><th>全体の平均値</th></tr><tr><td>H28</td><td>62.3</td><td>63.6</td></tr><tr><td>H29</td><td>59.9</td><td>62.3</td></tr><tr><td>H30</td><td>62.3</td><td>64.2</td></tr><tr><td>R1</td><td>63.5</td><td>65.1</td></tr><tr><td>R2</td><td>61.1</td><td>63.7</td></tr><tr><td>R3</td><td>61.8</td><td>64.7</td></tr><tr><td>R4</td><td>58.0</td><td>61.3</td></tr><tr><td>R5</td><td>62.3</td><td>63.1</td></tr></table> 重要度と満足度の差(A-B) <table><tr><th>年度</th><th>差(A-B)</th></tr><tr><td>H28</td><td>16.4</td></tr><tr><td>H29</td><td>18.8</td></tr><tr><td>H30</td><td>16.3</td></tr><tr><td>R1</td><td>15.3</td></tr><tr><td>R2</td><td>16.4</td></tr><tr><td>R3</td><td>17.9</td></tr><tr><td>R4</td><td>21.2</td></tr><tr><td>R5</td><td>17.0</td></tr></table>												年度	重要度(A)	全体の平均値	H28	78.7	78.2	H29	78.7	77.5	H30	78.6	77.8	R1	78.8	78.3	R2	77.5	76.4	R3	79.7	78.2	R4	79.2	78.0	R5	79.3	78.6	年度	満足度(B)	全体の平均値	H28	62.3	63.6	H29	59.9	62.3	H30	62.3	64.2	R1	63.5	65.1	R2	61.1	63.7	R3	61.8	64.7	R4	58.0	61.3	R5	62.3	63.1	年度	差(A-B)	H28	16.4	H29	18.8	H30	16.3	R1	15.3	R2	16.4	R3	17.9	R4	21.2	R5	17.0
年度	重要度(A)	全体の平均値																																																																																	
H28	78.7	78.2																																																																																	
H29	78.7	77.5																																																																																	
H30	78.6	77.8																																																																																	
R1	78.8	78.3																																																																																	
R2	77.5	76.4																																																																																	
R3	79.7	78.2																																																																																	
R4	79.2	78.0																																																																																	
R5	79.3	78.6																																																																																	
年度	満足度(B)	全体の平均値																																																																																	
H28	62.3	63.6																																																																																	
H29	59.9	62.3																																																																																	
H30	62.3	64.2																																																																																	
R1	63.5	65.1																																																																																	
R2	61.1	63.7																																																																																	
R3	61.8	64.7																																																																																	
R4	58.0	61.3																																																																																	
R5	62.3	63.1																																																																																	
年度	差(A-B)																																																																																		
H28	16.4																																																																																		
H29	18.8																																																																																		
H30	16.3																																																																																		
R1	15.3																																																																																		
R2	16.4																																																																																		
R3	17.9																																																																																		
R4	21.2																																																																																		
R5	17.0																																																																																		

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	快適な移動空間の実現	
	後期計画(R3～R7)	快適な移動空間の実現	
目指す将来の姿	誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できています。		
前期取り組み方針	道路・橋梁などのインフラ資産については、安全な交通を確保するためにも定期点検を実施し施設の状況把握を行いながら適正な維持修繕や施設の更新を計画的に実施します。今後到来する厳しい財政状況においても維持修繕に重点を置きながらも新規道路整備やスマートインターチェンジなどの交通体系整備を計画的に実施します。		
後期取り組み方針	道路・橋梁などのインフラ資産については、安全な交通を確保するためにも定期点検を実施し施設の状況把握を行いながら適正な維持修繕や施設の更新を計画的に実施します。今後到来する厳しい財政状況においても維持修繕に重点を置きながらも必要な道路整備やスマートインターチェンジなどの交通体系整備を計画的に実施します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	道路維持管理費	決算額(H28～R5)	1,713,680千円
・道路維持管理費 127,254千円(各地域課における市道等の補修・維持管理) ・道路維持管理費(建設) 47,715千円(トンネル照明・雪庇防止版設計、公用車購入、法面・ブロック積工事) ・道路施設等補修臨時対応事業 44,884千円(老朽化の著しい道路施設の補修) ・道路舗装延命事業 19,997千円(市道の舗装を延命する補修) ・道路維持管理費(横手第二工業団地) 23,231千円(横手第二工業団地周辺の道路維持管理)			
事業名称	道路新設改良単独事業	決算額(H28～R5)	2,703,456千円
令和4年度繰越 42,727千円 起債(過疎債)【道路改良】梨木古内線 令和5年度 384,338千円 ・起債(過疎債):【道路改良】下高田上田村線ほか3路線 ・起債(緊自債):【側溝】湯ノ島寺内線【法面】羽場菅生線ほか2路線【舗装】前郷南1号線ほか7路線【排水対策】旭川地区ほか1地区 ・単独:【舗装】婦気郷土館線【道路改良】折橋四津屋線ほか2路線【水路】沖田荻ノ目線ほか1路線【照明灯】堤新藤線【増田地域課】天下森スキー場接続道路			
事業名称	社会資本整備総合交付金事業(道路)	決算額(H28～R5)	3,628,123千円
令和4年度繰越 57,906千円【道路改良】町田昼川線 令和5年度 501,540千円 【舗装補修】堤新藤線ほか11路線 【道路改良】町田昼川線 【防雪柵】睦合造山線 【委託】測量設計(田屋本線・田屋学校通線)、路面性状調査			
事業名称	道路メンテナンス補助事業(橋りょう維持)	決算額(H28～R5)	1,433,928千円
令和5年度 191,250千円 ・橋梁補修工事(新城橋、戸波橋)【令和4年度繰越含む】 ・橋梁補修設計業務委託(二本松橋)【令和4年度繰越】 ・道路橋定期点検業務委託(117橋)			
事業名称	地方道路整備事業	決算額(H28～R5)	70,810千円
県事業負担金 県事業 104,384千円×6%=6,264千円(R4繰) +市道歩道設置分の用地買収と補償費 1,018千円(R5現107千円+R4繰911千円) 市単独事業 移転補償金(前払金)5,858千円×2件=11,716千円+建物再算定110千円			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・目標値に達していない項目はあるものの、概ね着実な成果が出ているものと判断できる。			
2. 施策の有効性			
・安全安心で快適な市民生活の確保と社会経済活動の推進のため、道路や橋りょうなど社会インフラの整備と維持管理は有効かつ重要な施策であるとする。			
3. 施策内事業の妥当性			
・インフラ施設は安全安心で快適な市民生活や社会経済活動を支える重要な基盤であり、その整備と維持管理については妥当な事業と判断される。			
4. 実施可能な改善内容			
・インフラの老朽化による不具合の発生は、人命を失う重大事故や生活に支障をきたす大きな問題に発展する可能性があることから、適切かつ効率的なメンテナンスの実施を加速させる必要がある。			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	市民が利用しやすい公共交通の充実											
	後期計画(R3～R7)	市民が利用しやすい公共交通の充実											
目指す将来の姿	市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されています。												
前期取り組み方針	地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域ぐるみによる利用促進を図り、高齢化に対応したモビリティの確保や将来にわたって持続可能な公共交通システムの構築を目指します。												
後期取り組み方針	地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域の足である公共交通の確保・維持を図るとともに、AI、IoTなどを活用した先端的な取り組みにも目を向け、人口減少社会においても持続可能な公共交通システムの構築を目指します。												
施策実現のための主要事業等													
生活バス路線運行費補助事業													
地域公共交通活性化事業													
代替運行事業													
鉄道整備・地域開発促進事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度	25.1%	増加している	12.9%	C	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度		59.6点	64.5点	56.0点	B		
サブ指標	民間路線バスの年間利用者数	726,924人	700,000人	403,462人	C	民間路線バスの年間利用者数		492,418人	436,100人	335,395人	B		
	循環バスの年間利用人数	27,952人	41,500人	30,086人	B	循環バスの年間利用人数		43,711人	43,700人	41,435人	B		
	デマンド交通の年間利用人数	42,104人	48,200人	35,645人	B	デマンド交通の年間利用人数		39,740人	39,700人	36,501人	B		
決算額の推移(単位:千円)								達成度の基準(実績値/目標値)					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	40,488	59,967	49,815	27,532	45,657	51,387	34,692	19,796	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	112,984	105,245	112,040	112,192	89,198	105,283	134,246	163,950	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	153,472	165,212	161,855	139,724	134,855	156,670	168,938	183,746	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「公共交通機関の利便性の向上」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	81.0	80.5	82.3	80.9	78.8	78.5	81.6	81.5	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.04	1.04	1.06	1.03	1.03	1.00	1.05	1.04	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	57.5	56.9	57.2	59.6	58.8	59.3	53.0	56.0	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.90	0.91	0.89	0.92	0.92	0.92	0.86	0.89	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	23.5	23.6	25.1	21.3	20.0	19.2	28.6	25.5					

「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	81.0	78.2
H29	80.5	77.5
H30	82.3	77.8
R1	80.9	78.3
R2	78.8	76.4
R3	78.5	78.2
R4	81.6	78.0
R5	81.5	78.6

—■—重要度(A) —●—全体の平均値

「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	57.5	63.6
H29	56.9	62.3
H30	57.2	64.2
R1	59.6	65.1
R2	58.8	63.7
R3	59.3	64.7
R4	53.0	61.3
R5	56.0	63.1

—■—満足度(B) —●—全体の平均値

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	23.5
H29	23.6
H30	25.1
R1	21.3
R2	20.0
R3	19.2
R4	28.6
R5	25.5

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	市民が利用しやすい公共交通の充実	
5-3	後期計画(R3～R7)	市民が利用しやすい公共交通の充実	
目指す将来の姿	市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されています。		
前期取り組み方針	地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域ぐるみによる利用促進を図り、高齢化に対応したモビリティの確保や将来にわたって持続可能な公共交通システムの構築を目指します。		
後期取り組み方針	地域住民や行政、交通事業者などの多様な関係者が協働・連携しながら、地域の足である公共交通の確保・維持を図るとともに、AI、IoTなどを活用した先端的な取り組みにも目を向け、人口減少社会においても持続可能な公共交通システムの構築を目指します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	鉄道整備・地域開発促進事業	決算額(H28～R5)	1,385千円
①JR北上線利用促進協議会・・・会長及び事務局:西和賀町 【利用促進に係る事業】グループ助成(実績151人)、月極駐車場助成事業(実績2件) ②秋田県奥羽・羽後新幹線整備促進期成同盟会(総会書面開催) ③奥羽本線全線複線化早期完成期成同盟会(理事会・総会ともに書面開催) ④北上横手地域開発促進協議会・・・会長及び事務局:横手市 6/12総会・平和街道サミットを北上市で開催、2/6JR盛岡支社への要望活動を3市町の首長・議長参加で実施			
事業名称	地域公共交通費	決算額(H28～R5)	1,229,203千円
・生活バス路線の運行維持に必要な経費の一部を乗合バス事業者へ補助 国県補助対象分76,907千円、市単独8,134千円、十文字待合所維持費43千円 ・地域公共交通活性化協議会が行う事業の負担金支出(57,020千円)、地域公共交通計画の策定(12,980千円) デマンド交通利用者36,501人、循環バス利用者41,435人、免許証自主返納(回数券交付決定)257人 ・バス廃止路線における代替交通(乗合タクシー)4路線、自家用有償旅客運送2路線の運行(24,007千円) ・大森シャトルバス運行(冬期間のみ)(512千円)、JR十文字駅の乗車券類販売等業務の受託(3,927千円)			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
路線バスについては、右肩下がりの傾向となっているが、デマンド交通や循環バス、自家用有償旅客運送などの複数の選択肢によって、一定の市民ニーズには対応できているものと考えている。持続的な成果を得るためには、利用ニーズの変化なども分析しつつ、継続的な利用促進を図ることが重要と考える。			
2. 施策の有効性			
住民のモビリティ確保のため、地域公共交通の維持及び利便性の向上は重要な施策である。特に、可住面積が広い当市では、多様な交通ニーズが存在しているため、きめ細かな交通網の構築が必要である。			
3. 施策内事業の妥当性			
地理的な特性などによる多様なニーズに対して、複数の交通モードにより対応することが必要である。鉄道や路線バスなど民間事業者の経営状況などにも考慮しつつ、交通体系全体のバランスを維持しながら事業を継続する必要がある。			
4. 実施可能な改善内容			
現状だけではなく将来も見据え、交通手段のあり方を改善し続ける必要がある。その一方で、安易な改革の実施により公共交通全体のバランスが崩れる懸念もあることから、まずは各交通モードにおいて利用促進や利便性向上に向けた取り組みを進めることが重要と考える。			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます										
施策	前期計画(H28～R2)	地域拠点整備による市街地の活性化									
	後期計画(R3～R7)	地域拠点整備による市街地の活性化									
目指す将来の姿	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を生かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。										
前期取り組み方針	人口減少社会の進展を見据え、コンパクトシティや小さな拠点という考え方にもとづき、宅地造成などの開発行為の適正な指導や誘導を図ります。また、本市の代表的な地域資源である「増田の町並み」を活かしたまちづくりを推進するため、町並みの環境整備を行うとともに、景観計画や屋外広告物条例に基づいた景観行政の着実な推進を図ります。										
後期取り組み方針	人口減少社会の進展を見据え、コンパクトシティや立地適正化という考え方にに基づき、郊外部における宅地造成などの土地利用の適正な指導や誘導を図るとともに、市街地整備事業による拠点整備を進めます。また、景観計画や屋外広告物条例に基づく規制誘導により、横手らしい自然豊かな美しい景観を保全し、うるおいのあるまちづくりを進めます。										
施策実現のための主要事業等											
都市再生整備計画事業の推進											
三枚橋地区土地区画整理事業の着実な推進											
横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の推進											
景観・屋外広告物対策事業											
十文字第一小学校跡地周辺エリアの利活用											
施策の成果指標											
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「各拠点地区の整備」に対する市民満足度	19.9%	増加している	16.6%	B	「各拠点地区の整備」に対する市民満足度		64.0点	69.2点	62.3点	B
サブ指標	増田エリア内の観光客数	210,000人	360,000人	146,100人	C	横手駅東口周辺における、賑わい再生を見据えた歩行者の増加率		—	10%	—	—
	三枚橋地区土地区画整理事業の進捗率	83.4%	100%	97.0%	B	三枚橋地区土地区画整理事業の進捗率		97.0%	100%	99.9%	B
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成 100%以上
特定財源	160,609	116,292	289,059	413,153	155,788	1,635,530	1,794,206	175,402	—	—	B 概ね達成 60%以上100%未満
一般財源	55,539	102,525	189,161	229,736	87,546	107,795	97,242	37,111	—	—	C 未達成 60%未満
合計(決算額)	216,148	218,817	478,220	642,889	243,334	1,743,325	1,891,448	212,513	—	—	
まちづくりアンケート結果の推移											
「各拠点地区の整備」											
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
重要度(A)	72.9	71.9	71.8	73.2	70.5	72.2	72.7	71.9	—	—	
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—	
平均値に対する比率	0.93	0.93	0.92	0.93	0.92	0.92	0.93	0.91	—	—	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
満足度(B)	64.6	61.1	63.9	64.3	63.7	64.7	61.7	62.3	—	—	
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—	
平均値に対する比率	1.02	0.98	1.00	0.99	1.00	1.00	1.01	0.99	—	—	
重要度と満足度の差(A-B)	8.3	10.8	7.9	8.9	6.8	7.5	11.0	9.6			

「各拠点地区の整備」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	72.9	78.2
H29	71.9	77.5
H30	71.8	77.8
R1	73.2	78.3
R2	70.5	76.4
R3	72.2	78.2
R4	72.7	78.0
R5	71.9	78.6

「各拠点地区の整備」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	64.6	63.6
H29	62.3	62.3
H30	63.9	64.2
R1	64.3	65.1
R2	63.7	63.7
R3	64.7	64.7
R4	61.7	61.3
R5	62.3	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	8.3
H29	10.8
H30	7.9
R1	8.9
R2	6.8
R3	7.5
R4	11.0
R5	9.6

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	地域拠点整備による市街地の活性化	
	後期計画(R3～R7)	地域拠点整備による市街地の活性化	
目指す将来の姿	市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源を生かしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されています。		
前期取り組み方針	人口減少社会の進展を見据え、コンパクトシティや小さな拠点という考え方にもとづき、宅地造成などの開発行為の適正な指導や誘導を図ります。また、本市の代表的な地域資源である「増田の町並み」を活かしたまちづくりを推進するため、町並みの環境整備を行うとともに、景観計画や屋外広告物条例に基づいた景観行政の着実な推進を図ります。		
後期取り組み方針	人口減少社会の進展を見据え、コンパクトシティや立地適正化という考え方にに基づき、郊外部における宅地造成などの土地利用の適正な指導や誘導を図るとともに、市街地整備事業による拠点整備を進めます。また、景観計画や屋外広告物条例に基づく規制誘導により、横手らしい自然豊かな美しい景観を保全し、うるおいのあるまちづくりを進めます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	まちなか再生推進事業	決算額(H28～R5)	3,371,814千円
・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の実施に対する支援 運営支援:総会3回、理事会14回、三役会議2回、通常定例会議7回、総合定例会議10回、A街区定例会議16回、A街区FFE会議11回、その他各種工事等会議52回 事業支援:補償、除却工事、建築工事 ・再開発組合が実施する事業に対する補助金交付(令和6年度へ明許繰越) ・関係機関等との事業調整:庁内関係課室所4回 国・件5回 インフラ関係7回			
事業名称	都市再生整備事業	決算額(H28～R5)	728,071千円
電線共同溝整備、歩道詳細設計業務委託、歩道改良工事、まちづくり組織設立調査研究業務委託等			
事業名称	土地区画整理費	決算額(H28～R5)	331,234千円
三枚橋地区土地区画整理事業の清算金徴収交付事務、駅西線無散水消雪施設維持管理、市所有地維持管理、その他委託(駅西線無散水消雪施設5,246千円、補償金(三枚橋地区土地区画整理)47,743千円、駅西線無散水消雪施設点検口設置工事 N=6箇所 工事費10,864千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
横手駅東口で実施中の市街地再開発事業の建築工事で施工不良があり、関連事業を含め工事等に遅延が発生したが、目標達成に向け確実に進捗している。			
2. 施策の有効性			
市街地の活性化と持続可能で魅力ある都市形成のために必要不可欠な施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
安全で快適な暮らしを支える都市基盤整備を進めるための手段としての事業構成である。			
4. 実施可能な改善内容			
市街地開発事業など、今後数年で事業終期を迎える事業が複数あることから、施策を推進するための誘導事業の検討が必要になる。			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正管理											
	後期計画(R3～R7)	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正管理											
目指す将来の姿	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。 生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。												
前期取り組み方針	【上水道】健全な水道経営を目指し、安全で良質な水道水を安定供給するため、水質の監視及び計画的な老朽管の更新と耐震化を図ります。 【下水道】効率的かつ持続可能な生活排水処理事業の推進と、水洗化の向上を図ります。												
後期取り組み方針	【上水道】健全な水道経営を目指し、安全で良質な水道水を安定供給するため、水質の監視及び計画的な老朽管の更新と耐震化を図ります。 【下水道】効率的かつ持続可能な生活排水処理事業の推進と、水洗化の向上を図ります。												
施策実現のための主要事業等													
【上水道】						【下水道】							
老朽管路の更新及び耐震化の推進						生活排水処理構想に基づく事業実施							
水源開発施設整備						未普及地域における公共下水道事業の推進							
水道施設等の計画的な統廃合						災害時業務継続計画(BCP)の定期的見直し及びストックマネジメントの導入							
施策の成果指標													
成果指標(前期)			現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)			現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「上水道の整備」に対する市民満足度		35.4%	増加している	24.4%	B	「上水道の整備」に対する市民満足度		68.0点	72.8点	67.7点	B	
	「下水道等の整備」に対する市民満足度		28.7%	増加している	20.9%	B	「下水道等の整備」に対する市民満足度		65.6点	70.4点	66.5点	B	
サブ指標	水道水がおいしく飲める水質の達成率		90.0%	92%	94.4%	A	水道水がおいしく飲める水質の達成率		80.3%	92.0%	97.5%	A	
	水道配水管等の事故件数		25件	21件	27件	C	下水道水洗化率		81.6%	88.0%	84.0%	B	
	水洗化率		76.4%	84%	82.3%	B	水洗化人口		56,885人	60,064人	55,753人	B	
	水洗化人口		54,029人	59,663人	56,578人	B							
決算額の推移(単位:千円)										達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	48,172	64,212	71,021	74,082	73,669	59,698	77,077	136,431	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	1,749,750	1,721,646	1,685,959	1,634,554	1,659,403	1,493,043	1,503,529	1,305,831	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	1,797,922	1,785,858	1,756,980	1,708,636	1,733,072	1,552,741	1,580,606	1,442,262	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
「上水道の整備」重要度(A)	83.4	83	83.5	84.1	82.1	82.9	84.4	84.7	-	-			
「下水道等の整備」重要度(A')	81.1	80.1	80.6	81.9	79.8	80.7	82.1	82.6	-	-			
全体の平均値(B)	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率(A/B)	1.07	1.07	1.07	1.07	1.07	1.06	1.08	1.08	-	-			
平均値に対する比率(A'/B)	1.04	1.03	1.04	1.05	1.04	1.03	1.05	1.05	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
「上水道の整備」満足度(C)	65.6	65.7	67.4	68.0	66.6	67.2	65.8	67.7	-	-			
「下水道等の整備」満足度(C')	64.1	62.9	64.5	65.6	64.3	65.5	64.5	66.5	-	-			
全体の平均値(D)	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	63.1	66.1	-	-			
平均値に対する比率(C/D)	1.03	1.05	1.05	1.04	1.05	1.04	1.07	1.07	-	-			
平均値に対する比率(C'/D)	1.01	1.01	1.00	1.01	1.01	1.01	1.05	1.05	-	-			
重要度と満足度の差(A-C)	17.8	17.3	16.1	16.1	15.5	15.7	18.6	17.0					
重要度と満足度の差(A'-C')	17.0	17.2	16.1	16.3	15.5	15.2	17.6	16.1					

「上水道の整備」「下水道等の整備」に対する市民重要度

年度	「上水道の整備」重要度(A)	「下水道等の整備」重要度(A')	全体の平均値(B)
H28	83.4	81.1	78.2
H29	83	80.1	77.5
H30	83.5	80.6	77.8
R1	84.1	81.9	78.3
R2	82.1	79.8	76.4
R3	82.9	80.7	78.2
R4	84.4	82.1	78.0
R5	84.7	82.6	78.6

「上水道の整備」「下水道等の整備」に対する市民満足度

年度	「上水道の整備」満足度(C)	「下水道等の整備」満足度(C')	全体の平均値(D)
H28	65.6	64.1	63.6
H29	65.7	62.9	62.3
H30	67.4	64.5	64.2
R1	68.0	65.6	65.1
R2	66.6	64.3	63.7
R3	67.2	65.5	64.7
R4	65.8	64.5	63.1
R5	67.7	66.5	66.1

重要度と満足度の差

年度	重要度と満足度の差(A-C)	重要度と満足度の差(A'-C')
H28	17.8	17.0
H29	17.3	17.2
H30	16.1	16.1
R1	16.1	16.3
R2	15.5	15.5
R3	15.7	15.2
R4	18.6	17.6
R5	17.0	16.1

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正管理	
	後期計画(R3～R7)	安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正管理	
目指す将来の姿	安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使っています。 生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されています。		
前期取り組み方針	【上水道】 健全な水道経営を目指し、安全で良質な水道水を安定供給するため、水質の監視及び計画的な老朽管の更新と耐震化を図ります。 【下水道】 効率的かつ持続可能な生活排水処理事業の推進と、水洗化の向上を図ります。		
後期取り組み方針	【上水道】 健全な水道経営を目指し、安全で良質な水道水を安定供給するため、水質の監視及び計画的な老朽管の更新と耐震化を図ります。 【下水道】 効率的かつ持続可能な生活排水処理事業の推進と、水洗化の向上を図ります。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	浄化槽設置整備事業	決算額(H28～R5)	534,699千円
補助事業	①合併浄化槽本体:5人槽76基、7人槽4基、10人槽0基 計80基 ②単独槽撤去費:0基 ③汲取槽撤去費:18基 ④単独槽及び汲取槽転換配管費:49基		
単独事業	①合併浄化槽本体:5人槽1基、7人槽1基 ②上乗せ補助:82基 合計82基		
事業名称	都市下水路管理費	決算額(H28～R5)	111,860千円
・維持管理、保守点検 ・都市下水路浚渫工事 下夕町都市下水路浚渫工事 L=82m ・都市下水路整備 十文字地域都市下水路整備 L=111.03m			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
成果指標のうち、水洗化人口については人口減少の影響により目標値は下回っている。水洗化率についても公共下水道については概成が近づいていることもあり数値の上昇幅は減少しているものの概ね成果は出ていると判断できる。			
2. 施策の有効性			
本施策は市民生活・社会活動の上で欠かせない安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的かつ安定的に維持するためのものであり、人口減少の局面にあっても継続的なサービスの維持・提供が必要である。そうしたことから施策の有効性は極めて高い。			
3. 施策内事業の妥当性			
手段としての事業の構成は、安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的に維持していくために必要な事業のみであり妥当性は高い。非公営水道における水環境については巡回による技術的指導・水質検査助成により安全な利用に資する事業を実施、都市下水路管理については市街地における雨水の排水に資する事業執行ができている。また、企業会計により実施している水道事業・下水道事業に対する繰出金についても年次計画の範囲内のもので過大ではない。いずれの施策内事業も妥当性に問題はない。			
4. 実施可能な改善内容			
特に水道事業・下水道事業における人口減少に合わせたサービスの供給体制(設備の維持更新・統廃合・他事業体との広域連携、コスト縮減に資する事業経営の効率化など)			

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	市民がくつろげる公共空間の整備										
	後期計画(R3～R7)	市民がくつろげる公共空間の整備										
目指す将来の姿	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。											
前期取り組み方針	安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を進め、市民の声を反映した公園整備を目指します。											
後期取り組み方針	安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を進め、市民の声を反映した公園整備を目指します。											
施策実現のための主要事業等												
公園施設長寿命化事業(施設のバリアフリー化含む)												
都市公園整備事業												
公園遊具定期点検業務委託												
公共施設サポーター制度事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度	21.7%	増加している	17.6%	B	「公園・緑地の整備」に対する市民満足度		64.3点	69.1点	61.5点	B	
サブ指標	公園・緑地・遊具・街路樹の維持管理に関する要望・苦情の件数	56件	40件	45件	B	都市公園・遊具の維持管理に関する要望・苦情への対応率		—	100%	100%	A	
	市民協働により管理する公園数	50か所	60か所	49か所	B	市民協働により管理する公園数		50か所	55か所	48か所	B	
	整備計画に対する市営墓地整備率	84.0%	89.1%	85.9%	B							
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	44,793	40,136	63,817	36,177	33,269	35,704	31,416	42,454	—	—	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	91,888	157,076	134,149	112,356	120,491	126,508	148,399	139,476	—	—	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	136,681	197,212	197,966	148,533	153,760	162,212	179,815	181,930	—	—		
まちづくりアンケート結果の推移												
「公園・緑地の整備」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	73.7	74	73.4	74.7	72.5	73.8	75.1	76.1	—	—		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	—	—		
平均値に対する比率	0.94	0.95	0.94	0.95	0.95	0.94	0.96	0.97	—	—		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	64.1	62.7	64	64.3	63.3	63.3	59.7	61.5	—	—		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	—	—		
平均値に対する比率	1.01	1.01	1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.97	—	—		
重要度と満足度の差(A-B)	9.6	11.3	9.4	10.4	9.2	10.5	15.4	14.6				

「公園・緑地の整備」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	73.7	78.2
H29	74	77.5
H30	73.4	77.8
R1	74.7	78.3
R2	72.5	76.4
R3	73.8	78.2
R4	75.1	78.0
R5	76.1	78.6

「公園・緑地の整備」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	63.6	64.1
H29	62.3	62.7
H30	64	64.2
R1	64.3	65.1
R2	63.3	63.7
R3	63.3	64.7
R4	59.7	61.3
R5	61.5	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	9.6
H29	11.3
H30	9.4
R1	10.4
R2	9.2
R3	10.5
R4	15.4
R5	14.6

政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	市民がくつろげる公共空間の整備	
5-6	後期計画(R3～R7)	市民がくつろげる公共空間の整備	
目指す将来の姿	多くの市民が、憩いの場や遊び場として公園や緑地を利用し、市民との協働により管理が行われています。		
前期取り組み方針	安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を進め、市民の声を反映した公園整備を目指します。		
後期取り組み方針	安全で快適に利用できるよう適切な維持管理を進め、市民の声を反映した公園整備を目指します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	児童遊園地維持管理事業	決算額(H28～R5)	19,532千円
①定期点検(平鹿・雄物川・十文字地域)及び修繕・撤去の実施 737千円(点検495千円、撤去242千円) ②遊具点検から、危険性が高く使用不可となった遊具の修繕・撤去工事を実施 526千円			
事業名称	社会資本総合整備事業	決算額(H28～R5)	321,404千円
横手公園桜維持保全樹勢回復業務委託2,354千円 [R4繰越]中央児童公園遊具改修工事13,048千円、光明寺街区公園遊具改修工事18,820千円、追廻第二児童公園遊具改修工事7,642千円、八王寺公園遊具改修工事2,750千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
目標に向かい着実に進捗している。			
2. 施策の有効性			
市民の誰もがくつろげる憩いの場として、また、災害時等の避難場所として、整備ならびに維持補修を続けていく必要性は高い。			
3. 施策内事業の妥当性			
施設の長寿命化計画に基づき、老朽化施設等の計画的な改修や更新、適正な維持管理を実施するために必要な事業である。			
4. 実施可能な改善内容			
公園内の遊具や四阿などのほか、橋りょうについても長寿命化計画に記載し、公園全体の総合的な長寿命化を目指している。			

政策6	やさしさと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます											
施策	前期計画(H28～R2)	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実										
	後期計画(R3～R7)	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実										
目指す将来の姿	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。											
前期取り組み方針	市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、市民活動の活性化を図るとともに、地域に関わるすべての方々の参画と協働によるまちづくりを進めます。将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、新たな地域コミュニティ体系の構築を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を活かした特色あるまちづくりを推進します。また、中高生を中心とした若い世代が本市の良さと価値を認識することは、人口減少社会が進む本市にとって大変重要です。若い世代が本市のまちづくりに関わる実感を持てるよう取り組みを進めます。											
後期取り組み方針	市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、市民活動の活性化を図るとともに、地域に関わるすべての方々の参画と協働によるまちづくりを進めます。将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、新たな地域コミュニティ体系の構築を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を生かした特色あるまちづくりを推進します。また、中高生を含めた若い世代が本市の良さと価値を認識することは、人口減少社会が進む本市にとって大変重要です。若い世代が楽しいと感じ、興味を持って本市のまちづくりに関わろうと思える取り組みを進めます。											
施策実現のための主要事業等												
横手市交流センター「Y²ぶらざ」の運営						町内会館等建設補助事業						
地区会議運営支援事業												
地域運営組織形成支援事業												
地域づくり市民活動補助事業												
町内会活動補助事業												
施策の成果指標												
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度	
まちづくり指標	「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度	17.7%	増加している	16.2%	B	「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度		64.3点	69.2点	62.8点	B	
サブ指標	共助組織の団体数	9団体	19団体	10団体	C	自主運営組織数		17団体	28団体	23団体	B	
	Y²ぶらざ市民活動センター利用者数	79,041人	80,400人	42,186人	C	Y²ぶらざ年間来訪者数		295,283人	300,000人	230,963人	B	
決算額の推移(単位:千円)											達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A 達成	100%以上
特定財源	361,662	615,075	70,786	361,330	772,508	146,253	30,307	37,068	-	-	B 概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	316,326	364,215	290,289	294,407	353,999	396,069	344,153	525,674	-	-	C 未達成	60%未満
合計(決算額)	677,988	979,290	361,075	655,737	1,126,507	542,322	374,460	562,742	-	-		
まちづくりアンケート結果の推移												
「市民との協働・活動支援」												
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
重要度(A)	71.7	71.5	71.0	72.0	68.9	71.2	69.5	70.1	-	-		
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-		
平均値に対する比率	0.92	0.92	0.91	0.92	0.90	0.91	0.89	0.89	-	-		
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
満足度(B)	62.4	62.0	63.8	64.3	63.8	64.8	61.0	62.8	-	-		
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-		
平均値に対する比率	0.98	1.00	0.99	0.99	1.00	1.00	1.00	1.00	-	-		
重要度と満足度の差(A-B)	9.3	9.5	7.2	7.7	5.1	6.4	8.5	7.3				

「市民との協働・活動支援」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	71.7	78.2
H29	71.5	77.5
H30	71.0	77.8
R1	72.0	78.3
R2	68.9	76.4
R3	71.2	78.2
R4	69.5	78.0
R5	70.1	78.6

「市民との協働・活動支援」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	62.4	63.6
H29	62.0	62.3
H30	63.8	64.2
R1	64.3	65.1
R2	63.8	63.7
R3	64.8	64.7
R4	61.0	61.3
R5	62.8	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	9.3
H29	9.5
H30	7.2
R1	7.7
R2	5.1
R3	6.4
R4	8.5
R5	7.3

政策6	やさしさと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	
6-1	後期計画(R3～R7)	市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	
目指す将来の姿	市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められています。		
前期取り組み方針	市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、市民活動の活性化を図るとともに、地域に関わるすべての方々の参画と協働によるまちづくりを進めます。将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、新たな地域コミュニティ体系の構築を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を活かした特色あるまちづくりを推進します。また、中高生を中心とした若い世代が本市の良さと価値を認識することは、人口減少社会が進む本市にとって大変重要です。若い世代が本市のまちづくりに関わる実感を持てるよう取り組みを進めます。		
後期取り組み方針	市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、市民活動の活性化を図るとともに、地域に関わるすべての方々の参画と協働によるまちづくりを進めます。将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、新たな地域コミュニティ体系の構築を図るため、地域住民による自主的な活動を支援するとともに、地域資源を生かした特色あるまちづくりを推進します。また、中高生を含めた若い世代が本市の良さと価値を認識することは、人口減少社会が進む本市にとって大変重要です。若い世代が楽しいと感じ、興味を持って本市のまちづくりに関わろうと思える取り組みを進めます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	町内会館等建設補助事業	決算額(H28～R5)	38,790千円
・交付件数20件 交付実績額 3,270千円 (内訳)改修 19件 交付実績額 3,123千円 新築 1件 交付実績額 147千円 ・町内会館等整備補助事業(亀田地区7自治会)			
事業名称	地域づくり支援事業	決算額(H28～R5)	135,361千円
・組織形成に向けた支援①十文字(4～11月:3回開催、アンケート調査9月、回答数825票) ②浅舞(7～3月:5回開催) ・各種研修の実施①地区交流センター職員、運営協議会委員向け研修(6～1月:4回開催、延べ75名) ②センター事務補助員研修(11月:参加者23名) ・地区交流センター大交流会開催(開催日:2月1日、参加者:約160人) ・地域の特性を活かした事業の実施(旧元気事業からの移行経費)			
事業名称	地域づくり市民活動補助事業	決算額(H28～R5)	106,994千円
・補助金交付件数74件 交付実績額 19,160千円 ・自主運営組織、地区会議事業 交付件数45件 交付実績額 9,128千円 ・非営利団体 イベント型事業 交付件数 7件 交付実績額 2,177千円 ・地区交流センター、地区会議等への制度説明、PR ・非営利団体 地域課題解決型事業 交付件数 6件 交付実績額 1,034千円 ・旧元気のり地域づくり事業 交付件数16件 交付実績額 6,821千円			
事業名称	町内会活動補助事業	決算額(H28～R5)	25,195千円
・地域活動補助金 交付件数 51件 交付実績額 2,143千円 (横手 7件394千円、増田 10件401千円、平鹿 11件340千円、雄物川 2件88千円、大森 4件199千円、十文字 6件261千円、山内 4件205千円、大雄 7件255千円) ・備品整備補助金 交付件数 22件 交付実績額 3,030千円			
事業名称	地域おこし協力隊活用事業	決算額(H28～R5)	35,833千円
・都市部における地域おこし協力隊の募集、PR活動に要する経費 【広告料】154,000円(新聞広告、Web広告) 【その他委託料】2,045,846円(求人情報サイト掲載費、SNS記事掲載費、募集ランディングページ作成委託料) R5年度末で4名の隊員が活躍中(R5年度の募集により4/1付2名、7/1付1名が着任)			
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・R5年4月に横手市地区交流センター設置条例を制定し、市内28公民館の名称を地区交流センターに変更した。R6年3月に十文字地区において地域運営組織が設立され、23地区において運営協議会による事業運営が行われている。 ・Y2ぶらざ利用者数は徐々に回復傾向にあり、コミュニティ施設として多くの個人や企業に利用されている。			
2. 施策の有効性			
・市民の主体的な地域活動と生涯学習を奨励し、市民協働による総合的な地域づくり活動を推進する事業であり、人口減少・少子高齢化の進展への対応や地域コミュニティの醸成を図ることにより、市全体に公益をもたらす事業である。			
3. 施策内事業の妥当性			
・地域コミュニティの維持向上を図り、地域資源を活かした特色ある地域づくりを推進するために欠かせない事業である。			
4. 実施可能な改善内容			
・設立済地区への伴走型支援と未設立地区への立上げ支援を効果的に進める必要がある。 ・市民が主体となった地域づくり活動を支援するため、各種補助金制度を広く周知し活用を促す。			

政策6	やさしさと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます												
施策 6-2	前期計画(H28～R2)	男女が尊重し合う社会づくり											
	後期計画(R3～R7)	男女が尊重し合う社会づくり											
目指す将来の姿	男女が互いを尊重しあいながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されています。												
前期取り組み方針	「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」を実現するため、市民・事業者・行政が一体となって、男女共同参画社会の推進を目指します。☐												
後期取り組み方針	「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」を実現するため、市民、各種団体、企業及び行政などのすべての人々や組織が、共通認識の下に丸となって男女共同参画社会の推進を目指します。												
施策実現のための主要事業等													
第4次横手市男女共同参画行動計画の着実な推進													
男女共同参画社会推進事業													
女性の社会参画、活躍促進のための研修機会や情報の提供													
ワークライフバランス推進事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)				現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度			16.7%	増加している	13.0%	B	「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度		63.7点	68.6点	64.7点	B
サブ指標	社会(横手市)全体として男女共同参画社会になってきていると感じている市民の割合			29.1%	増加している	54.9%	A	社会全体として男女共同参画社会になってきていると感じている市民の割合		60.5%	65.0%	57.0%	B
	男女イキイキ職場宣言を行った事業所数			33社	38社	62社	A	家族経営協定を締結した農家世帯		119組	130組	129組	B
	家族経営協定を締結した農家世帯			100組	120組	120組	A						
決算額の推移(単位:千円)										達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	1,861	823	584	869	1,374	1,219	1,246	718	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	1,861	823	584	869	1,374	1,219	1,246	718	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「男女共同参画社会づくりの推進」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	72.2	73	72.1	73.4	71.7	73.5	71.3	71.5	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.92	0.94	0.93	0.94	0.94	0.94	0.91	0.91	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	62.3	61.0	63.2	63.7	62.5	63.8	60.8	64.7	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.99	0.99	1.03	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	9.9	12.0	8.9	9.7	9.2	9.7	10.5	6.8					

「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	72.2	78.2
H29	73	77.5
H30	72.1	77.8
R1	73.4	78.3
R2	71.7	76.4
R3	73.5	78.2
R4	71.3	78.0
R5	71.5	78.6

「男女共同参画社会づくりの推進」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	62.3	63.6
H29	61.0	62.3
H30	63.2	64.2
R1	63.7	65.1
R2	62.5	63.7
R3	63.8	64.7
R4	60.8	61.3
R5	64.7	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	9.9
H29	12.0
H30	8.9
R1	9.7
R2	9.2
R3	9.7
R4	10.5
R5	6.8

政策6	やさしさと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	男女が尊重し合う社会づくり	
6-2	後期計画(R3～R7)	男女が尊重し合う社会づくり	
目指す将来の姿	男女が互いを尊重しあいながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されています。		
前期取り組み方針	「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」を実現するため、市民・事業者・行政が一体となって、男女共同参画社会の推進を目指します。・		
後期取り組み方針	「一人ひとりが輝き、自分らしく生きられるまち」を実現するため、市民、各種団体、企業及び行政などのすべての人々や組織が、共通認識の下に丸となって男女共同参画社会の推進を目指します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	男女共同参画社会推進事業	決算額(H28～R5)	2,602千円
・横手市男女共同参画推進協議会(6/27・11/14開催) 事業費(委員への報酬金等)78千円 ・横手市男女共同参画フェスティバル(2/24開催)「まるごと！ダイバーシティ～多様性ってなんだろう～」 来場者:472人 事業費(講師謝礼・司会委託料等):299千円			
事業名称	ワークライフバランス推進事業	決算額(H28～R5)	6,092千円
・ワークスタイル研修の実施 研修参加者:1回目38名、2回目29名 事業費(講師謝礼等):151千円 ・ワーク・ライフ・バランス講演会の実施 講演会参加者:14名 事業費(講演委託費等):110千円			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
・市役所における男性職員の育児休業取得の実績は、8人、32.0%と大幅に増加した。 ・男女共同参画フェスティバルやワークライフバランス研修などの開催により、地域社会においても徐々に男女共同参画とワークライフバランスの意識向上が伺えるが、地道な活動の継続が求められる。			
2. 施策の有効性			
・男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会を実現するために欠かせない事業である。			
3. 施策内事業の妥当性			
・男女が互いにその人権を尊重しつつ、性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会を実現するために欠かせない事業である。			
4. 実施可能な改善内容			
・男女共同参画は、日常生活や職場での意識づけ、理解の積み重ねにより推進されるものであり、全市民・企業・団体等の協力を得ながら取り組む必要がある。 ・ワークライフバランス研修やワークスタイル研修のテーマについて、多くの市民が興味を持ち参加したくなるようなテーマを設定する必要がある。			

政策6	やささと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます												
施策 6-3	前期計画(H28～R2)	情報を共有する環境の整備											
	後期計画(R3～R7)	情報を共有する環境の整備											
目指す将来の姿	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。												
前期取り組み方針	市政の信頼を高めるとともに、市民と市政の現状や課題を共有化するため、市民へタイムリーな市政情報の提供を推進し、市民の利便性向上につながるICTを用いたサービスの導入を目指します。												
後期取り組み方針	市政の信頼を高めるとともに、市民と市政の現状や課題を共有化するため、市民へタイムリーな市政情報を提供します。												
施策実現のための主要事業等													
広報誌発行事業(市政協力員事業含む)													
コミュニティFM活用行政情報発信事業													
横手市情報発信戦略プロジェクト事業													
公文書館運営事業													
マイナンバー制度を活用した市独自サービスの提供の検討と実施													
施策の成果指標													
成果指標(前期)			現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)			現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度		27.4%	増加している	17.9%	B	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度			65.6点	70.5点	65.0点	B
サブ指標	市の情報を主に市のホームページから得ている市民の割合		3.4%	増加している	21.3%	A	横手市公式SNSの登録者数			17,100件	18,900件	23,621人	A
	市の情報を主にコミュニティFMから得ている市民の割合		2.6%	増加している	13.2%	A	増田・山内地区ブロードバンド加入率			43%	50%	44%	B
	市役所Facebookページの登録数		3,479件	7,000件	10,242件	A							
	増田・山内地区ブロードバンド加入率		25%	35%	44%	A							
決算額の推移(単位:千円)										達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	34,681	25,778	289,010	127,770	24,282	19,381	74,686	17,684	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	98,219	93,819	134,512	100,067	96,533	100,569	150,854	100,761	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	132,900	119,597	423,522	227,837	120,815	119,950	225,540	118,445	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「広報・広聴の推進」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	73.1	73.5	72.3	73.6	72.0	73.5	72.4	73.5	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.93	0.95	0.93	0.94	0.94	0.94	0.93	0.94	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	1.01	1.02	1.02	1.01	1.03	1.02	1.02	1.03	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	8.7	9.8	6.6	8.0	6.6	7.5	9.7	8.5	-	-			

「広報・広聴の推進」に対する
市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	73.1	78.2
H29	73.5	77.5
H30	72.3	77.8
R1	73.6	78.3
R2	72.0	76.4
R3	73.5	78.2
R4	72.4	78.0
R5	73.5	78.6

「広報・広聴の推進」に対する
市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	63.6	63.6
H29	62.3	62.3
H30	64.2	64.2
R1	65.1	65.1
R2	63.7	63.7
R3	64.7	64.7
R4	61.3	61.3
R5	63.1	63.1

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	8.7
H29	9.8
H30	6.6
R1	8.0
R2	6.6
R3	7.5
R4	9.7
R5	8.5

政策6	やさしさと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	情報を共有する環境の整備	
6-3	後期計画(R3～R7)	情報を共有する環境の整備	
目指す将来の姿	市民と行政との情報共有が図られ、市政への関心が高まっています。		
前期取り組み方針	市政の信頼を高めるとともに、市民と市政の現状や課題を共有化するため、市民へタイムリーな市政情報の提供を推進し、市民の利便性向上につながるICTを用いたサービスの導入を目指します。		
後期取り組み方針	市政の信頼を高めるとともに、市民と市政の現状や課題を共有化するため、市民へタイムリーな市政情報を提供します。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	行政情報発信事業	決算額(H28～R5)	298,868千円
・市報よこてを毎月1日の月1回、年間12回発行 ・市報で、特集またはミニ特集を実施(11件・47ページ) ・市民がシティプロモーター事業(市報折込はがき)を年1回実施 ・市報への折り込みアンケートを実施(回答数304通) ・コミュニティFMを活用し、行政情報を発信(年間放送原稿件数294件)			
事業名称	地域情報通信網管理運営費	決算額(H28～R5)	207,341千円
①西部地区及び山内・増田地区IRU事業の維持管理 ②テレビ共同受信施設の維持管理 ③移動通信用鉄塔施設の維持管理 ④西部地区テレビ共同受信施設機器更新 ○地域情報通信ケーブル移設等:西部地区20件、山内・増田地区2件 ○西部地区テレビ共同受信施設機器更新の実施			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
各情報発信媒体の特性に応じた情報発信を行っているが、市民の高いニーズに応じきれていない側面がある。市民が求める情報を分析し、発信媒体を有機的に結びつけることで、満足度を高める必要がある。			
2. 施策の有効性			
市民への行政情報・災害情報の発信・提供という側面からも必要度の高い事業が多く、広報広聴活動は今後も質的な充実を図っていく必要がある分野である。本施策は有効である。			
3. 施策内事業の妥当性			
事業の構成自体には、問題点はないものとする。			
4. 実施可能な改善内容			
市報のあり方やホームページ・SNSでの情報発信内容の検討など、正確で理解しやすく、より早い情報周知やPRについて、不断の改善を図っていく必要がある。			

政策6	やささと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます												
施策	前期計画(H28～R2)		市内外との交流連携の推進										
	後期計画(R3～R7)		市内外との交流連携の推進										
目指す将来の姿	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。												
前期取り組み方針	他地域との交流は、新たな発想や体験、情報などを得る機会をもたらすものであり、いろいろな分野での交流や連携を推進し、地域の魅力発信や活性化につなげます。人口の社会減少抑制と地域コミュニティの活性化などを図るため、関係団体との連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、首都圏等県外在住者の移住や交流を促進します。												
後期取り組み方針	他地域との交流は、新たな発想や体験、情報などを得る機会をもたらすものであり、いろいろな分野での交流や連携を推進し、地域の魅力発信や活性化につなげます。人口の社会減少抑制と地域コミュニティの活性化などを図るため、関係団体との連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、首都圏等県外在住者の移住や交流を促進します。												
施策実現のための主要事業等													
移住定住促進事業													
ふるさと会支援事業・ふるさと会交流促進事業													
友好都市との交流事業													
国際交流推進事業													
応援人口との関係深化事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)			現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)			現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「他の自治体との連携・交流の促進」に対する市民満足度		19.7%	増加している	13.3%	B	「他の自治体との連携・交流の促進」に対する市民満足度			64.7点	69.6点	62.7点	B
サブ指標	移住・定住希望者への提供情報件数		30件	110件	9件	C	移住イベント等の参加・出展回数			4件	5件	3件	B
	各ふるさと会会員数に対する総会出席者の割合		80%	増加している	0%	C	各ふるさと会会員数に対する総会出席者の割合			35.5%	40.0%	38%	B
	国際交流事業の実施		4件	9件	1件	C							
決算額の推移(単位:千円)										達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	157	397	1,997	7,565	657	1,700	2,375	3,675	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	76,758	326,785	500,034	168,274	203,360	191,480	198,652	265,904	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	76,915	327,182	502,031	175,839	204,017	193,180	201,027	269,579	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「他の自治体との連携・交流の促進」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	68.3	67.3	66.9	68.4	68.5	71.3	69.5	71.8	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	0.87	0.87	0.86	0.87	0.90	0.91	0.89	0.91	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	64.4	63.8	64.9	64.7	63.4	64.7	61.5	63.1	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	62.7	-	-			
平均値に対する比率	1.01	1.02	1.01	0.99	1.00	1.00	1.00	0.99	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	3.9	3.5	2.0	3.7	5.1	6.6	8.0	9.1					

「他の自治体との連携・交流の促進」に対する市民重要度

年度	重要度(A)	全体の平均値
H28	68.3	78.2
H29	67.3	77.5
H30	66.9	77.8
R1	68.4	78.3
R2	68.5	76.4
R3	71.3	78.2
R4	69.5	78.0
R5	71.8	78.6

「他の自治体との連携・交流の促進」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	64.4	63.6
H29	63.8	62.3
H30	64.9	64.2
R1	64.7	65.1
R2	63.4	63.7
R3	64.7	64.7
R4	61.5	61.3
R5	63.1	62.7

重要度と満足度の差(A-B)

年度	差(A-B)
H28	3.9
H29	3.5
H30	2.0
R1	3.7
R2	5.1
R3	6.6
R4	8.0
R5	9.1

政策6	やささと笑顔がおふれる市民が主役の地域づくりを進めます			
施策 6-4	前期計画(H28～R2)	市内外との交流連携の推進		
	後期計画(R3～R7)	市内外との交流連携の推進		
目指す将来の姿	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市の内外で活発に交流・連携の取り組みが行われることによって、地域に賑わいや活気が生み出されています。			
前期取り組み方針	他地域との交流は、新たな発想や体験、情報などを得る機会をもたらすものであり、いろいろな分野での交流や連携を推進し、地域の魅力発信や活性化につなげます。人口の社会減少抑制と地域コミュニティの活性化などを図るため、関係団体との連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、首都圏等県外在住者の移住や交流を促進します。			
後期取り組み方針	他地域との交流は、新たな発想や体験、情報などを得る機会をもたらすものであり、いろいろな分野での交流や連携を推進し、地域の魅力発信や活性化につなげます。人口の社会減少抑制と地域コミュニティの活性化などを図るため、関係団体との連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、首都圏等県外在住者の移住や交流を促進します。			
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)				
事業名称	移住定住促進事業		決算額(H28～R5)	33,121千円
・移住コンシェルジュ1名 報償金600千円、移住アドバイザー1名 委託料396千円 ・移住マッチングWebサービスの利用 使用料297千円 ・相談対応件数16件(窓口1件、電話3件、ほか12件)移住者実績:23世帯、51人 ・首都圏移住相談会等への出展(Aターンフェア2回)旅費79千円 ・定住促進パンフレットの作成400部 印刷製本費47千円 ・移住支援金の支給(世帯100万円*2、子育て加算30万円*3、子育て加算100万円*2)補助金4,900千円				
事業名称	ふるさと納税PR事業		決算額(H28～R5)	1,822,188千円
・新聞、電子公告等を活用し、幅広い層へのPRを実施 ・ふるさと納税セミナーの実施、ヒアリング(訪問または架電)の実施 ・事業者及び返礼品の拡充(事業者数・返礼品数＝H30年度末68・280 → H31年度末71・350 → R2年度末 70・417 → R3年度末 74・490 → R4年度末 99・972 → R5年度末 100・1,332) ・R5年度寄附金受領実績 33,599件/514,025,000円 ・ふるさと納税管理システムの導入による複数の申込サイトの一元管理の推進				
事業名称	ふるさと会支援事業		決算額(H28～R5)	42,034千円
・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会 役員会2回に参加 ・首都圏横手市ふるさと会連絡協議会補助金 200千円 ・各ふるさと会支援事業の実施(横手地域630千円、増田地域270千円、平鹿地域391千円、雄物川地域250千円、大森地域280千円、十文字地域500千円、山内地域260千円、大雄地域180千円)				
事業名称	応援人口との関係深化事業		決算額(H28～R5)	6,476千円
・横手応援市民学校「なべっこ遠足in仙台」R5年10月22日 仙台開催 参加者42名 旅費140千円 消耗品費273千円 通信運搬費1千円 手数料15千円 使用料389千円 委託料409千円 ・「Utlよこてin仙台」R5年11月10～12日 旅費46千円 ・関係人口スキルアップセミナー 旅費84千円、負担金22千円				
事業名称	奨学金返還支援事業		決算額(H28～R5)	6,292千円
補助交付決定者56人(一般分54人 2,963千円、未来創生分2人 80千円))				
施策の達成状況				
1. 成果の分析				
・友好都市での物産販売やPRを通じて、友好都市交流を市民レベルで深めている ・留学生のホームステイや日本語教室を通じ、市民に国際交流の機会を提供している ・移住世帯数目標12世帯に対し実績23世帯 ・ふるさと納税寄附金額目標5億2千万を概ね達成 ・奨学金返還支援により、若者の地元就職のきっかけや経済的不安の低減を図っている ・各地域ふるさと会総会やふるさと探訪ツアーの実施により、交流が活発に行われた				
2. 施策の有効性				
・他自治体との連携や交流、国際交流は、市のPRやふるさとに対する誇りの醸成、多文化への理解促進、交流人口の増加に期待できる ・移住定住施策は人口の社会減少抑制と地域の活性化のために有効である ・奨学金返還支援など若者の経済的不安の軽減施策は、次世代を担う人材の確保や市内定住を推進している ・ふるさと会の活発な活動は、様々な形で関係人口の増加に期待できる				
3. 施策内事業の妥当性				
・横手暮らし体験事業や移住支援金など多様な事業により、移住定住につなげる必要である ・若者が市内定住するためにも、奨学金返還事業等の支援が必要である ・地域の活性化のためには、友好都市交流事業や多文化共生事業、ふるさと会支援事業など交流連携事業の展開と継続が必要である				
4. 実施可能な改善内容				
・市民の自発的な交流になるよう、友好都市交流や国際交流などの交流事業の周知を強化する ・奨学金返還支援制度、横手暮らし体験など各種事業について、成果を検証し効果的な制度とする ・ふるさと納税寄附金額の増加に向け、返礼品の掘り起こしと磨き上げの他、使い道の周知や寄附者へ感謝を伝える取り組みなどを強化				

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立											
	後期計画(R3～R7)	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進											
目指す将来の姿	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCAサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。												
前期取り組み方針	行政評価制度を活用して総合計画を機軸とした行財政システムを構築し、政策の重点化、施策の選択と集中、事業効果の明確化を推進し、成果重視の行政経営に取り組みます。												
後期取り組み方針	行政評価制度を活用して総合計画を機軸とした行財政システムを構築し、政策の重点化、施策の選択と集中、事業効果の明確化を推進し、成果重視の行政運営に取り組みます。												
施策実現のための主要事業等													
行財政システムの運用													
行政改革推進事業													
行政経営品質向上推進事業													
施策の成果指標													
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標 値(R2)	前期実績 値(R2)	達成度	成果指標(後期)		現状値 (R1直近値)	後期目標 値(R7)	後期実績 値(R5)	達成度		
まちづくり指標	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度	74.7%	増加している	62.3%	B	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度		63.6点	68.6点	60.2%	B		
サブ指標	施策の成果指標の達成率	0%	100%	27.5%	C	施策の成果指標の達成率		54.5%	100%	23.80%	C		
	実施計画事業の各指標の達成率	0%	100%	47.1%	C								
決算額の推移(単位:千円)												達成度の基準(実績値/目標値)	
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	179,816	128,773	116,078	352,036	9,458,913	235,644	641,617	173,755	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	1,342,994	981,968	998,394	1,144,910	1,054,458	1,149,288	1,126,566	1,154,903	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	1,522,810	1,110,741	1,114,472	1,496,946	10,513,371	1,384,932	1,768,183	1,328,658	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「横手市の取り組み全体」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	61.3	60.2	62.1	63.6	62.3	63.7	61.4	60.2	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.96	0.97	0.97	0.98	0.98	0.98	1.00	0.95	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度

年度	満足度(B)	全体の平均値
H28	61.3	63.6
H29	60.2	62.3
H30	62.1	64.2
R1	63.6	65.1
R2	62.3	63.7
R3	63.7	64.7
R4	61.4	61.3
R5	60.2	63.1

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立	
7-1	後期計画(R3～R7)	市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進	
目指す将来の姿	行政評価制度の活用や行政改革の推進などにより、PDCAサイクルに基づいた成果志向の施策や事業が計画、執行され、最少の経費で最大の効果を上げられる、市民満足度の高い行政運営が行われています。		
前期取り組み方針	行政評価制度を活用して総合計画を機軸とした行財政システムを構築し、政策の重点化、施策の選択と集中、事業効果の明確化を推進し、成果重視の行政経営に取り組みます。		
後期取り組み方針	行政評価制度を活用して総合計画を機軸とした行財政システムを構築し、政策の重点化、施策の選択と集中、事業効果の明確化を推進し、成果重視の行政運営に取り組みます。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	庁舎管理費(本庁舎)	決算額(H28～R5)	883,479千円
本庁舎及び来客用駐車場の維持管理事業 ・本庁舎施設の建物や付属設備の保守点検、電気・水道・冷暖房の運転管理、設備の補修、施設の清掃・警備 ・本庁舎来客用駐車場(3ヶ所)の管理、冬期間の排雪 ・本庁舎照明LED化改修工事実施設計業務委託、本庁舎ハロゲン化物消火設備選択弁改修工事 ※H26光熱水費(燃料費含む)基準額34,429,923円に対し、R05実績額42,781,665円(+24.3%)			
事業名称	総合計画策定事業	決算額(H28～R5)	12,223千円
・行政評価の実施、実施計画ローリングの実施 ・まちづくりアンケートの実施(無作為抽出3,000人、回答数1,031人(うちWeb139人)、回答率34.4%(うちWeb4.63%))1,026千円			
事業名称	個人番号カード等交付事務費	決算額(H28～R5)	202,959千円
・個人番号カードに関する事務の適正かつ迅速な実施 ・個人番号カードの利便性の周知と企業や商業施設等での出張交付申請の実施 ・個人番号カード交付実績(令和6年3月31日) 人口81,616人 交付枚数67,721枚 交付率82.98%			
事業名称	証明書等コンビニ交付費	決算額(H28～R5)	72,907千円
・コンビニ交付の利便性の周知 ・令和5年度証明書等コンビニ交付実績(令和6年3月31日現在) 交付件数 16,464件			
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
行政経営という視点から、施策全体の達成状況为目标値として設定しているが、全体的な傾向として目標の達成率が低い状況にある。それぞれの指標が、達成度を測る指標となっているか、また、成果を判断できる目標値となっているかなど、次期総合計画の策定に向けて、指標設定の考え方を再考する必要がある。			
2. 施策の有効性			
分野別の施策の着実な推進に向けて、成果重視の視点は不可欠である。より効率的で効果的な行政経営を実現するため、俯瞰的な位置づけとなる当該施策の推進は不可欠である。			
3. 施策内事業の妥当性			
庁舎管理費や経常的な事務費など、行政経営の基盤となる事業で構成されている。事業内容や事業コストについては継続した改善が必要と考える。			
4. 実施可能な改善内容			
行政経営の基盤となる経常的な要素が大きいため、他の施策も勘案しながら事業手法や投入コストなど全体的な見直しにつなげる必要がある。			

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます														
施策 7-2	前期計画(H28～R2)	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進													
	後期計画(R3～R7)	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進													
目指す将来の姿	限られた経営資源(ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源))を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。														
前期取り組み方針	限られた財源の中で、最大限の効果を生み出す財政運営を目指します。横手市財産経営推進計画による公共施設の適正な配置と計画的な維持管理で経費の適正化を図ります。														
後期取り組み方針	限られた財源の中で、最大限の効果を生み出す財政運営を目指します。横手市財産経営推進計画の一層の推進と、ローリング方式による計画の見直しを行いながら公共施設の適正な再配置と計画的な維持管理で経費の適正化を図ります。														
施策実現のための主要事業等															
総合計画に基づく政策、施策及び実施計画と行政評価と連動させた予算編成を行う財政マネジメントシステムの推進															
地方公会計を整備し、それを活用した財政指標の設定や資産管理、事業別・施策別のセグメント分析に結び付ける。ひいては行政評価との連携、予算編成への活用も図る															
施策の成果指標															
成果指標(前期)		現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)	現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度					
まちづくり指標	横手市財産経営推進計画の達成率	—	100%	100%	A	横手市財産経営推進計画の達成率	100%	100%	87%	B					
サブ指標	経常収支比率	88.9%	90.0%以下	92.1%	C	将来負担比率	15.9%	100%未満	未確定	—					
	実質公債費比率	9.7%	9.3%以下	7.0%	A	実質公債費比率	7.0%	9.0%	8.1%	B					
	市税の収納率	93.21%	93.24%	94.48%	A	市税の収納率	95.02%	95.03%	95.14%	B					
決算額の推移(単位:千円)							達成度の基準(実績値/目標値) A 達成 100%以上 B 概ね達成 60%以上100%未満 C 未達成 60%未満								
	H28	H29	H30	R1	R2	R3						R4	R5	R6	R7
特定財源	284,717	323,843	606,592	527,713	987,811	511,505						712,391	1,753,002	-	-
一般財源	8,947,957	8,025,030	8,061,938	7,728,975	7,971,369	8,417,536						8,553,257	9,291,672	-	-
合計(決算額)	9,232,674	8,348,873	8,668,530	8,256,688	8,959,180	8,929,041	9,265,648	11,044,674	-	-					
まちづくりアンケート結果の推移															
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7					
重要度(A)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
全体の平均値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
平均値に対する比率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7					
満足度(B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
全体の平均値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
平均値に対する比率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
重要度と満足度の差(A-B)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます			
施策	前期計画(H28～R2)	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進		
	後期計画(R3～R7)	財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進		
目指す将来の姿	限られた経営資源(ヒト(人材)・モノ(施設等)・カネ(財源))を効果的、有効的に活用する継続的に安定した行財政運営が図られています。			
前期取り組み方針	限られた財源の中で、最大限の効果を生み出す財政運営を目指します。横手市財産経営推進計画による公共施設の適正な配置と計画的な維持管理で経費の適正化を図ります。			
後期取り組み方針	限られた財源の中で、最大限の効果を生み出す財政運営を目指します。横手市財産経営推進計画の一層の推進と、ローリング方式による計画の見直しを行いながら公共施設の適正な再配置と計画的な維持管理で経費の適正化を図ります。			
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)				
事業名称	財産管理費		決算額(H28～R5)	703,760千円
・公用財産建物、土地の適正な維持管理　・職員駐車場土地借上げ及び管理(除排雪委託等) ・建物総合損害共済、自動車損害共済、道路賠償責任保険の加入と支払請求処理 ・公有財産台帳GIS保守業務委託 ・不要物品売却(官公庁オークション) ・駅西公共用地、旧山内中プール用地購入　46,385千円				
事業名称	財産経営推進計画実施事業		決算額(H28～R5)	2,375,754千円
・解体工事:旧市史編さん室、旧横手公園スキー場、旧平鹿球場、旧里見高花児童館、旧旭町児童館、旧中村児童館、旧馬場・下川原児童館、旧雄物川テニスコート、旧十文字文化センター(R6継続)、旧山内歯科診療所、旧山内中学校プール、旧大雄堆肥供給公社 ・アスベスト調査、解体実施設計:昭和通町内会館、旧ひらか荘、旧雄南のびる館ほか ・旧十文字第二小学校多目的施設改修工事(R6継続) ・公共施設マネジメント研修会(3/4かまくら館、講師:合同会社まちみらい　寺沢弘樹氏、職員50名参加)				
事業名称	大型公共施設整備事業		決算額(H28～R5)	1,587,191千円
【横手体育館】管理運営計画の策定、実施設計、造成工事、建築工事、設計監理、工事監理、地中熱利用設備導入調査 【横手市民会館】管理運営計画の考え方の策定、実施設計、造成工事、耐震性防火貯水槽新設、既存施設解体工事、既存施設移転補償				
事業名称			決算額(H28～R5)	
事業名称			決算額(H28～R5)	
施策の達成状況				
1. 成果の分析				
・横手市財産経営推進計画において、再配置方針が「譲渡」とされている施設を対象に、FM推進小会議を開催した。指定管理者等の譲渡交渉相手方との譲渡に向けた協議結果等をローリングに反映させていくこととする。 ・実質公債費比率は8.1％であり、比率上は安全圏にある。しかしながら、大型公共施設整備が本格化したことで、当該比率も上昇していくことから、指標の推移に留意しつつ財政運営を図っていく必要がある。				
2. 施策の有効性				
・公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、長寿命化に対する有利な財源の確保、公共施設の有効活用による自主財源の確保、そのほか市民サービスの安定的な供給のため、有利な財源の確保や独自財源の確保に知恵を絞る必要がある。その取り組みの一つとして、令和6年9月14日開館予定のAo-na「スタジオ」「ティーンズエリア」において、ネーミングライツパートナーが決定している。				
3. 施策内事業の妥当性				
・税をはじめとする基本的な歳入の確保、標準財政規模に見合う適正かつ効率的な財政運営と財産推進計画の推進、基金の効果的な活用など、本施策内事業実施の妥当性・重要性はより一層高まるものと考ええる。				
4. 実施可能な改善内容				
・公共施設の在り方、適正配置について協議を行い、施設保有量の最適化に向けた取り組みを継続する。 ・一般財源の減少を前提とした事業のビルド＆スクラップの取り組みを強化する。 ・自主財源の確保に対する取り組みを推進し、財政基盤の強化につなげる。				

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます												
施策	前期計画(H28～R2)	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実											
7-3	後期計画(R3～R7)	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実											
目指す将来の姿	職員一人ひとりが、市民(お客様)の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。												
前期取り組み方針	市では、これまで職員数のスリム化を図る一方、研修等を通じて職員の資質や公務能力の向上に努めてきましたが、行政に対する市民ニーズは年々高まると同時に多様化しており、今後、市役所全体の資質、能力レベルの底上げが求められます。職員一人ひとりが市民満足度の向上を常に意識し、柔軟な発想とスピード感を持って実践できるよう、接遇マナーや階層別等の職員研修を計画的に受講させることにより、個々の資質向上、能力開発、そして職員全体のレベルの底上げを図ります。												
後期取り組み方針	市では、これまで職員数のスリム化を図る一方、研修等を通じて職員の資質や公務能力の向上に努めてきましたが、行政に対する市民ニーズは年々高まると同時に多様化しており、今後、市役所全体の資質、能力レベルの底上げが求められます。職員一人ひとりが市民満足度の向上を常に意識し、柔軟な発想とスピード感を持って実践できるようさまざまな技術を持った職員が内部講師を務める階層別、目的別等の職員研修を計画的に受講させることで、個々の資質向上、能力開発、そして職員全体のレベルの底上げを図ります。												
施策実現のための主要事業等													
職員研修及び厚生費						職員の能力に応じた職員研修の充実・拡充							
育成型人事評価制度の実施						時差出勤・リモートワークの導入・推進							
昇任昇格制度の実施													
育成型ジョブローテーションの実施													
複線型人事制度の導入													
施策の成果指標													
成果指標(前期)			現状値 (H27直近値)	前期目標値(R2)	前期実績値(R2)	達成度	成果指標(後期)			現状値 (R1直近値)	後期目標値(R7)	後期実績値(R5)	達成度
まちづくり指標	「市職員の資質向上」に対する市民満足度		17.7%	増加している	16.8%	B	「市職員の資質向上」に対する市民満足度		60.2点	65.1点	57.7点	B	
サブ指標	外部研修受講経験職員比率		38.2%	45.0%	52.6%	A	職員研修実施のための内部講師数		45人	58人	55人	B	
	職員研修実施のための内部講師数		16人	21人	47人	A	女性の課長級昇任昇格試験受験率		25.0%	40.0%	27.30%	B	
	女性の管理職級昇任昇格試験受験率		33.3%	40.0%	47.1%	A	年次休暇の平均取得日数の増加		11.4日	14.0日	11.8日	B	
決算額の推移(単位:千円)										達成度の基準(実績値/目標値)			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	A	達成	100%以上
特定財源	610,314	635,939	551,535	720,205	694,279	578,096	434,866	347,727	-	-	B	概ね達成	60%以上100%未満
一般財源	8,096,363	7,363,635	7,445,536	7,207,777	7,103,775	7,019,722	7,011,943	7,090,315	-	-	C	未達成	60%未満
合計(決算額)	8,706,677	7,999,574	7,997,071	7,927,982	7,798,054	7,597,818	7,446,809	7,438,042	-	-			
まちづくりアンケート結果の推移													
「市職員の資質向上」													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
重要度(A)	79.8	80.5	79.8	75.1	78.6	81.1	78.7	79.5	-	-			
全体の平均値	78.2	77.5	77.8	78.3	76.4	78.2	78.0	78.6	-	-			
平均値に対する比率	1.02	1.04	1.03	0.96	1.03	1.04	1.01	1.01	-	-			
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
満足度(B)	57.2	56.9	58.3	60.2	60.4	59.0	57.1	57.7	-	-			
全体の平均値	63.6	62.3	64.2	65.1	63.7	64.7	61.3	63.1	-	-			
平均値に対する比率	0.90	0.91	0.91	0.92	0.95	0.91	0.93	0.91	-	-			
重要度と満足度の差(A-B)	22.6	23.6	21.5	14.9	18.2	22.1	21.6	21.8					
重要度と満足度の差(A-B)													
「市職員の資質向上」に対する市民重要度													
「市職員の資質向上」に対する市民満足度													
重要度と満足度の差(A-B)													

政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます		
施策	前期計画(H28～R2)	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	
7-3	後期計画(R3～R7)	戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実	
目指す将来の姿	職員一人ひとりが、市民(お客様)の立場で考え、柔軟な発想や創意工夫、実践力向上を図り、市民ニーズに対応しています。		
前期取り組み方針	市では、これまで職員数のスリム化を図る一方、研修等を通じて職員の資質や公務能力の向上に努めてきましたが、行政に対する市民ニーズは年々高まると同時に多様化しており、今後、市役所全体の資質、能力レベルの底上げが求められます。職員一人ひとりが市民満足度の向上を常に意識し、柔軟な発想とスピード感を持って実践できるよう、接遇マナーや階層別等の職員研修を計画的に受講させることにより、個々の資質向上、能力開発、そして職員全体のレベルの底上げを図ります。		
後期取り組み方針	市では、これまで職員数のスリム化を図る一方、研修等を通じて職員の資質や公務能力の向上に努めてきましたが、行政に対する市民ニーズは年々高まると同時に多様化しており、今後、市役所全体の資質、能力レベルの底上げが求められます。職員一人ひとりが市民満足度の向上を常に意識し、柔軟な発想とスピード感を持って実践できるようさまざまな技術を持った職員が内部講師を務める階層別、目的別等の職員研修を計画的に受講させることで、個々の資質向上、能力開発、そして職員全体のレベルの底上げを図ります。		
(参考)主要事業の取り組み内容(令和5年度)			
事業名称	職員研修及び厚生費	決算額(H28～R5)	184,639千円
①内部研修の企画運営(新規採用職員研修、採用2年目研修、職階別研修) ②外部研修(研修先・東北自治研修所、秋田県自治研修所、県市長会) ③職員・会計年度任用職員健康診断実施(職員623人・会計年度773人)、夜間勤務従事者47人 ④ストレスチェック実施(726人)、高ストレス者医師面接指導の実施 ⑤長時間労働者医師面接指導の実施			
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
事業名称		決算額(H28～R5)	
施策の達成状況			
1. 成果の分析			
「職員の資質向上に関する取組」に対する市民満足度は毎年度低い傾向にあるため、一義的にはその向上を図る必要はあるが、本質的には本施策の成果にゴールはなく、時宜に即した効果的な職員研修を展開しながら職員一人ひとりの資質向上を通じた政策・施策の実現組織の構築を目指し続ける必要がある。 なお、不祥事等の発生根絶に向けては、公務員としての根本に関わる事項として引き続き粘り強く取り組んでいく必要がある。			
2. 施策の有効性			
人口減少を始めとした山積する行政課題を解決し、時代に即した行政サービスを提供し続けるために要となるリソースである人材を育成する施策であり、市民満足度の向上を図り続けるためにも永続的に取り組むべき施策である。			
3. 施策内事業の妥当性			
職員研修については不断の見直しをしながら継続し内容を充実させていく必要がある。また女性職員の管理職登用などの女性活躍や職員の心身の健康管理にも重点的に取り組む必要がある。			
4. 実施可能な改善内容			
研修キャリアパス制度の導入や女性職員の管理職チャレンジ促進策、不祥事等の発生防止に向けたより効果的な研修などを検討する必要がある。			